

THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友 11

2017
NOVEMBER
VOL.65 NO.11



私たちの目標

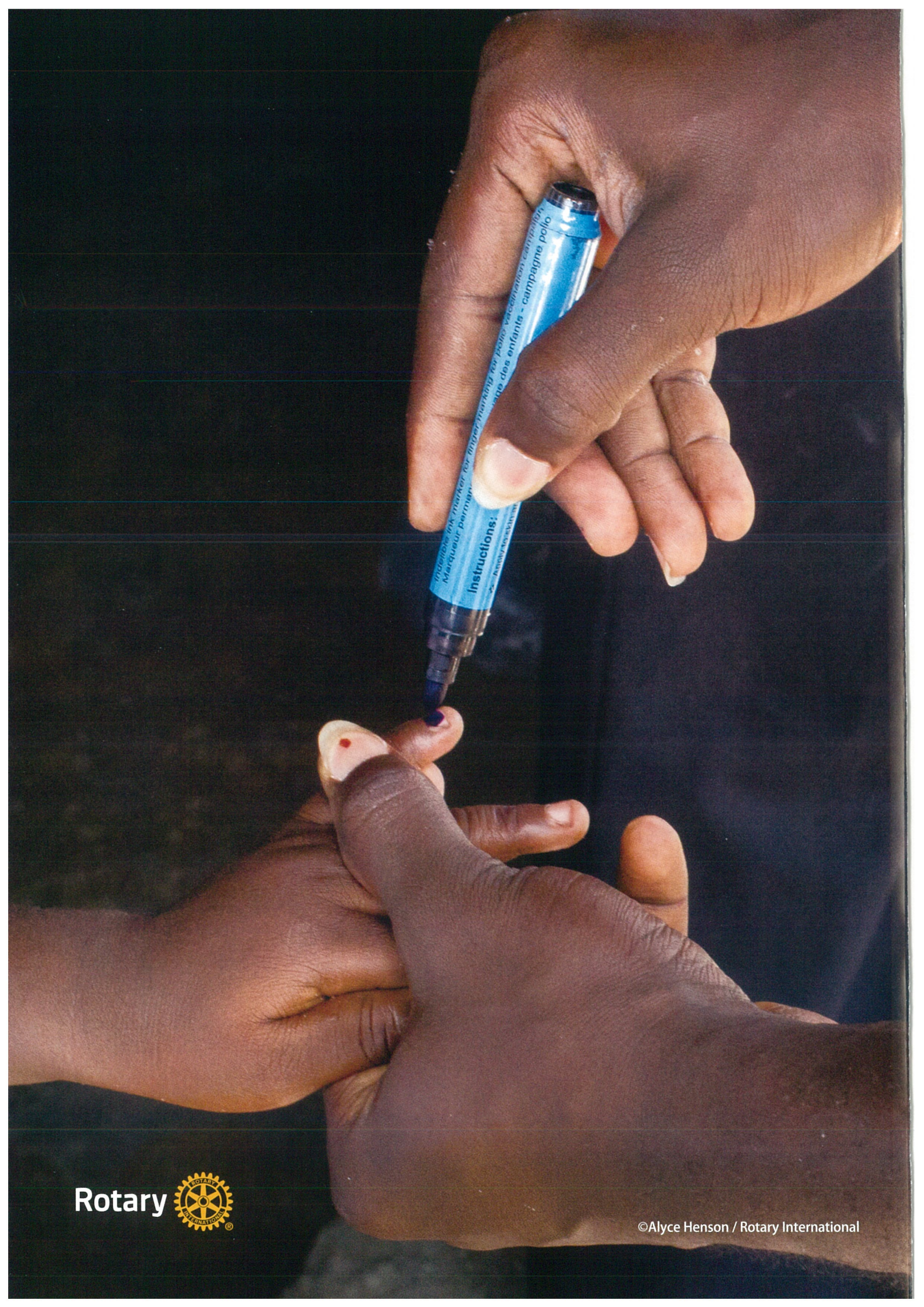
ポリオのない世界

世界インターアクト週間

インターアクターと連携する

Rotary





私たちの奉仕の成果である財団

親愛なるロータリアンの皆さま、ロータリー財団は、クラブにとっては多くの点で見えない存在です。財団は、私たちがクラブや地区で毎週行っているほとんどのことに直接関わってはいません。しかし、クラブにとって財団の存在が見えないのは、建物の中にいる時にその建物の土台が見えないのと同じことです。見えないからといってクラブを支えてくれないわけではないのです。

ロータリーのポリオ撲滅への挑戦を可能にした財団は、多くの点において、ロータリーの奉仕の土台です。26 ドル 50 セントの最初の寄付以来 100 年間、財団はロータリーの奉仕を支え、強化し、私たちの大きな望みを実現可能にしてきました。今日、ロータリーがこのような組織でいられるのも、財団があればこそです。財団のおかげでロータリアンは大きな望みを持ち、その実現のために努力すれば不可能なことはほとんどない、と確信できます。

ロータリーが築いたこのモデルは、他の団体には類を見ない、非常に効果的なものです。ロータリーは完全に地域社会に根差していると同時に、完全にグローバルでもあります。つまり世界中のほとんど全ての国には 3 万 5,000 を超えるクラブがあり、それぞれの地域社会で人材、人脈、知識を有しています。ロータリーは透明性、効力、優れたビジネス慣習に定評があります。なぜならば私たちはボランティアであるだけでなく、高い技能を持った職業人でもあるため、他団体の追従を許さない効率性を実現しているからです。

平たく言えば、ロータリー財団に 1 ドル寄付すれば、他の慈善団体に寄付するよりもずっと大きな成果が得られるのです。「世界でよいこと」をするために 1 ドル出すのであれば、そのお金を預けるべきはロータリー財団をおいて他にありません。これは何も身びいきでそう言っているのではなく、客観的に証明された事実であり、第三者団体による評価でも裏付けされています。

財団 100 周年を迎えた昨年度の寄付額は目標の 3 億ドルを上回りました。もし皆さまがこの達成に参加していたのなら、皆さまは、極めて尊いものの一部分になっているということです。世界のどこか、おそらく行ったこともないような所で、一生出会うこともない人々が、皆さまのおかげでより良い暮らしを手に入れているのです。私たちは変化をもたらすことができ、そうする義務があります。そして、可能な限り効率よく協力して活動していくことが、真に長く続く変化をもたらす唯一の方法です。究極的には、私たちの核となる信念に基づいて、よいことができるのも、ロータリー財団のおかげなのです。



Ian H. S. Riseley
2017-18 年度 国際ロータリー (R I) 会長



ロータリー:
変化をもたらす



ロータリーの友
Home Page

www.rotary-no-tomo.jp

原文 (英語) はこちらから

RI 会長メッセージ 3

RI 私たちの奉仕の成果である財団

RI 会長 イアン H. S. ライズリー

特集

世界インターアクト週間

**インターアクターと
連携する** 7

広島安佐 RC × 崇徳中学・高校 I AC

広島安佐 RC 岡本忠文／

崇徳中学・高校 I AC 顧問 泊里卓哉

山形 RC × 山本学園高校 I AC

山形 RC 榎森 啓／山本学園高校 I AC 顧問 松田栄子

飯田東 RC × 下伊那農業高校 I AC

飯田東 RC 後藤高一／

下伊那農業高校 I AC 顧問 塩澤直美

延岡中央 RC × 聖心ウルスラ学園 I AC

延岡中央 RC 甲斐寛人／

聖心ウルスラ学園 I AC 顧問 富高友美

6 ● ロータリーとは

34 ● パズル de ロータリー／8 月号の答え

36 ● エバンストン便り

38 ● 財団管理委員長の思い **RI**39 ● お知らせ 新クラブ／ロータリー衛星クラブ／『友』誌ご購入
読数変更についてのご願い／地区別クラブ数・会員数一覧表／
『友』12 月号主要記事予定

40 ● 投稿規定（『友』に投稿しませんか）

41 ● 日本ロータリー分布図／奥付

特集

ロータリー財団月間

**私たちの目標：
ポリオのない世界** 12

文 Jay Wenger／Steve Almond

THE ROTARIAN 10 月号から

**難民にシェルターを、日本の
教育現場に難民についての教材を** 20

国連 UNHCR 協会広報渉外グループ団体・学校統括

中村 恵

京都迎賓館体験型参観

「菊花彩る重陽のおもてなし」に協力 22

京都南 RC 高橋拓児

よねやまだより 24

米山記念奨学事業 50 年のあゆみ ①

—— 前史 ——

World Roundup 26

世界のロータリーニュース THE ROTARIAN 11 月号から

**日本のロータリー 100 周年実行委員会
アンケート調査結果報告** 28**NEW GENERATION** 33

元青少年交換学生 森原 遥／

米山奨学生 スヌワル・ディペントラ

CLUB INNOVATION 35

新会員のためのグループが心から歓迎

THE ROTARIAN 11 月号から

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp (本誌の内容・ご投稿)

経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp (購読・注文)

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

●本誌中のRCはロータリークラブ、RIは国際ロータリーの略です。
●縦組みの目次は、反対側の表紙を開いたページにあります。●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

11月はロータリー財団月間です
11月5～11日は世界インターアクト週間です



長野県の下伊那農業高校IACはロータリアンと連携して、水源の森で枝打ちなどの作業を実施（関連記事P7～11）

ロータリーの友 委員会

委員長 清水 良夫（横浜）
副委員長 片山 主水（名古屋東南）
RI理事 斎藤 直美（豊田）
RI理事 石黒 慶一（鶴岡西）

特別顧問 神崎 正陳（茅ヶ崎湘南）
上野 孝（横浜）
安平 和彦（姫路）
片岡 信彦（土浦南）
橋本 長平（京都東）

顧問 田中 政春（長岡西）
岡部 一輝（南砺）
庄司 尚史（境港）
松坂 順一（東京葛飾東）
服部 陽子（東京広尾）

地区 代表委員

2500 松井 丈（網走）
2510 藤井 方雄（函館）
2520 笹光光壽郎（仙台）
2530 渡邊 宗徹（白河）
2540 村越 正道（能代）
2550 加藤 勝朗（宇都宮東）
2560 木村 廉平（新潟万代）
2570 大澤 衛（新潟キャロット）
2770 星野 時夫（大宮中央）
2790 根本 健一（柏）
2800 若月 仁（寒河江）
2820 神生 恭利（石岡）

2830 折居 祐二（十和田）
2840 小野 幸広（沼田中央）
2580 石川彌八郎（東京福生）
2590 山本 邦近（横浜西）
2600 林 武雄（長野）
2610 大和 謙市（加賀）
2620 多々良 匡（焼津）
2630 戸上 宗賢（上野東）
2750 井村 廣巳（東京日野）
2760 尾本 和弘（名古屋東南）
2780 伊与田あさ子（横須賀北）
2640 井手 良明（和歌山城南）

2650 室 公博（京都東）
2660 藤田 弘道（大阪東）
2670 三浦 聖人（観音寺）
2680 村野 利昭（神戸西）
2690 横田 直樹（倉敷南）
2700 高山 卓也（宗像）
2710 宮本 民子（岩国中央）
2720 山田 哲大（熊本）
2730 菅沼 龍夫（宮崎北）
2740 北島 恭一（佐賀南）
編集長 野崎 恭子

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語って、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,727、会員総数1,220,185人（2017年8月31日R I公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,261、会員数89,214人（2017年8月末現在）となっています。

2017 - 18 年度 R I テーマ



ロータリー：
変化をもたらす

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

インター アクター と 連携する

11月5日を含む1週間は、世界インターアクト週間です。インターアクトクラブを支援することは、単にボランティア活動の機会を与えたり、リーダーシップを養成するだけではなく、若者と交流することによってロータリークラブにも新しい発想や活力をもたらすことができる、青少年奉仕プログラムです。

では、実際にロータリークラブはどのようにインターアクトクラブと関わればよいのでしょうか。そして、顧問の先生は、どのような思いで生徒を指導しているのでしょうか。ロータリーがインターアクターとうまく連携するポイントとは――



Interact
ロータリー提唱クラブ



広島安佐RC × 崇徳中学・高校 IAC

広島安佐ロータリークラブ(RC)では、奉仕活動の中で、連携が可能な活動にインターアクターに協同参画してもらうとともに、崇徳中学・高校インターアクトクラブ(IAC)の活動に、当クラブの会員も参加することになっています。

具体的には、広島安佐RC、インターアクター、障害児発達支援センター・ひゅーるぼんとの三者一体と

なった天皇盃全国都道府県対抗男子駅伝での応援活動や新年餅つき大会、比治山公園清掃活動、韓国への海外研修、韓国のインターアクターとの交流などです。

年度始めの例会は必ず、崇徳中学・高等学校IAC新会長の年間活動報告とあいさつから始まります。奉仕活動以外にも当クラブのクリスマス例会などに参加してもらっています。回数にするとメイン事業で5回程度、それ以外にも、インターアクトの例会を含め適宜、交流を持つようにしています。



崇徳中学・高校IAC顧問 泊里 卓哉先生

インターアクトクラブの活動には、一定の枠組みを与えてその活動を定着化させる必要があると考えています。本来の理念からすると、インターアクターの自主的な運営を大きく期待してしまいがちですが、事業家ではない子どもたちは、同じ活動サイクルを反復する中でようやく自主性が出せる気がします。

一方で、ロータリアンの活動には事業家としての洗

日頃からのコミュニケーションが大事

広島安佐RCインターアクト委員長 岡本 忠文



活動の際、顧問の先生との打ち合わせは必要不可欠で、インターアクターに活動内容を打診する前にはその取り組みについて理解、納得してもらえよう、IAC会長、幹事も交えて議論します。主体性を持って活動してもらうためには必須だと思います。

学校にロータリークラブへの理解を深めてもらうことも必要で、先生に当クラブの例会へゲストとして出席してもらい、交流を深めながら、例会や活動の場にはインターアクト旗の掲示、奉仕活動の際にはインターアクトの腕章着用の徹底をお願いしています。また、学校での講話や講演会を実施し、意識の共有化を図り、学校側の理解を推進しています。

一緒に活動する際は、インターアクターからの要望とディスカッションを特に大事にしています。彼らの士気を高めるには、日頃のコミュニケーションが大事であると痛感しています。インターアクター全員に同じレベルで理解し行動してもらうため、事前の打ち合わせと準備を大切にしています。

生徒とのコラボレーションになりますから、学校行事との日程調整も早めに行うことが重要ですが、次世代を

練された活動サイクルが存在しており、インターアクターはそれを観察することで、いわば自分たちのそれへの「答え合わせ」ができるはずで

とはいえ、両者の活動レベルには当然、質量ともに大きなギャップがあります。両者が活動の枠組みを「共有」というイメージを持ち、何よりもまず十分に楽しんで、交流・活動を続けていくことが大切だと感じます。

担う彼らの活動には活気があり、提唱クラブとしては充実感もひとしお！ ひゅーるぽんとの餅つき大会を実施した際には、えびす様の格好で餅まきならぬ菓子まきを

行うなど、若者ならではのユーモアあふれる取り組み方も。勉強になると同時に活動が「共有」できた喜びが生まれました。
(第2710地区 広島県)

山形RC × 山本学園高校 IAC

山形RCは山本学園高校IACのスポンサーを務めて40年目を迎えました。これまでは年に1度の早朝清掃活動、年忘れ家族会、例会や地区大会への参加が主な交流の機会でした。日頃は顧問の先生による指導が中心で、なかなか共に行動することもできず、またインターアクトクラブが社会に知られる機会が少ない実情がありました。

地区大会でも、インターアクターなど若者の参加がなくなる傾向にありました。「インターアクトクラブを創りっぱなしではダメだ、もっと連携しないと」。そこで、昨年度の地区大会を大会ホストクラブとして「一緒に奉仕をする良机機会」と考えました。

第1に、地区ロータリアン全員で若者を評価、称賛、応援をする場が重要と考え、県内全てのインターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、青少年交換学生、米山奨学生たちの活動発表に焦点をあて、音楽や照明を使い、若者たちが楽しく発表できる場面を演出。若者の活力はともて新鮮で、爽やかなステージ発表となりました。

第2に、お互いに理解と親交を深めるためには、一緒に汗を流し、食事をするのが大切であると考え、地区大会当日、会員への弁当配布、ごみの回収、ステージ設営、



創りっぱなしではダメ！

山形RC会員増強・公共イメージ推進委員 榎森 啓

後片付けなどをインターアクターと一緒に行いました。奉仕活動を共にすることで、価値観と意識を共有することができ、互いの理解が深まりました。

第3に、地区大会参加の思い出と、それぞれのクラブで新会員勧誘のツールに使うために、世界的に大ヒットしたアメリカのミュージシャン、ファレル・ウィリアムスの曲「Happy」に合わせて、ロータリアンとインターアクターたちが一緒に踊る動画を作成し、動画共有サービス・YouTubeに「Happy Rotary YAMAGATA」として配信。大会やクラブの新しいイメージ創りに着手しました。若者の献身的で一生懸命な姿、楽しそうな様子に、世代を超え、共にロータリーの輪の中で活動をする仲間として感動を受けました。

人口減少の中で将来の会員増強を鑑みると、ロータリー活動の理解者、将来の仲間を、若い世代に求めていく必要があります。今回は新しい試みに挑戦できたと思います。彼らの活躍にますます期待を持って、応援していきたいと思います。
(第2800地区 山形県)

山本学園高校IAC顧問 松田 栄子先生

ロータリアンとインターアクターがうまく連携するには、双方をコーディネートする役割が重要だと思います。顧問教師は、ロータリアンの思いやノウハウを把握し、どのようなことをインターアクターに経験させ、成長してほしいかを考え、プログラムを組む必要があると思います。

ロータリアンは意識が高いため、このような大人が

いるのだと、尊敬の念や憧れを持つメンバーが多く、彼らの自己啓発に役立っています。

指導する際は、マナーや身だしなみなどに気をつけ、活動に積極的に参加するよう指示しています。活動終了後は、感想・反省を聞き、指導者側から見て良かった点を必ず褒めるようにしています。その結果として「やらされている」から「自ら楽しく参加する」へと意識が変化していくよう願っています。

飯田東 R C × 下伊那農業高校 I A C

17 年前から毎年 4 月 29 日、当クラブが飯田市の水源地帯である松川入りで行っている植樹活動に、しもいな下伊那農業 I A C の生徒たちが数年前から参加、ロータリアンと共に、枝打ちや間伐などのメンテナンス作業を行うようになりました。作業後には、テントの下で一緒に食事を楽しまします。植樹活動で出た間伐材を利用して、地区補助金で「コカリナ(小型の笛)」を製作し、下伊那農業高校 I A C へ寄贈したところ、インターアクターたちは、老人福祉施設の訪問の際に演奏したり、植樹の時に、間伐材の故郷である松川入りでも美しい音色で演奏したりするようになりました。

毎年 11 月(昨年度は 2 月)には、ロータリアンとインターアクター、顧問の先生との交流・親睦を深めるため、ボウリング&焼き肉大会を開催しています。ボウリングで汗を流し、焼き肉をおいしくいただくこの会は、生徒たちの楽しみになっています。さらに、インターアクトクラブの地区大会にロータリアンが参加したり、地区大会や飯田東 R C の例会にインターアクターが参加したりと、相互参加を続けています。



下伊那農業高校 I A C 顧問 塩澤 直美先生

下伊那農業高校では、入学時に 1 年生向けのクラブ説明会があります。そこでインターアクトクラブについて説明する際、ロータリークラブがスポンサーだからこその活動の広がりなどを、I A C 会長が丁寧に説明しています。これによって、多くのロータリアンに見守られて活動させてもらっているという意識

自主性を尊重し、引き出す

飯田東 R C 青少年奉仕委員会インターアクト担当 後藤 高一



また、第 2600 地区で 2014 - 15 年度まで実施されていた海外研修がなくなり、その代わりとしてインターアクトクラブ単位で独自に研修を計画し、その内容に応じて地区から補助金が支給される仕組みとなりました。そこで、生徒の希望を反映して、東日本大震災の被災地・石巻市での研修を計画し、多くの生徒が参加しました。まだ傷痕の癒えない現状を目の当たりにし、インターアクターたちは大きな衝撃を受けたようで、研修後も被災地の人たちと交流を続けています。また、日本イラク医療支援ネットワーク(J I M - N E T)の活動に協力、販売できた分だけイラクを支援できることになるチョコレートの袋詰め作業を、毎年ロータリアンとともに行っています。

インターアクターと顔を合わせるのには、会員は年 2 ~ 3 回、インターアクト委員では年 7 ~ 8 回です。顧問の先生とは、独自研修の内容検討で 2 ~ 3 回打ち合わせをし、校長先生へのあいさつや各行事の事前打ち合わせも行っています。学校にロータリークラブへの理解を深めてもらうために、毎年ではありませんが、インターアクトクラブの例会で、ロータリークラブやインターアクトクラブの成り立ち、役割などについての勉強会を実施しています。

一緒に活動する際は、あまりこちら側の論理を押し付けないように注意しています。言い換えれば、生徒の自主性を尊重し、引き出すことを意識しています。彼らと

が芽生え、独りよがりにならずに、積極的に活動に取り組む姿勢が育つと思われます。

そしてなによりも、ロータリアンとの合同例会などで、自分たちのことやインターアクトの活動を大切に育ててくれる大人の姿を目の当たりにすることが、身近なところから世界へと思いをはせるきっかけになっているのだと思います。

接し、生徒たちの「まじめさ」には驚いています。自分は高校時代、福祉や奉仕などほとんど考えたことがありませんでした。インターアクトクラブに所属すること自体、

高校生としては素晴らしいことです。また、元々女子生徒が多いクラブでしたが、近年、男子生徒が増えていることにもうれしい驚きを感じています。(第2600地区 長野県)

延岡中央RC × 聖心ウルスラ 学園IAC

クラブ存続には「連携」が大事

延岡中央RC 青少年委員長 甲斐 寛人

2016年11月
17日に結成した
聖心ウルスラ学園

えです。

次に、中心となる提唱クラブは当クラブが務めるものの、延岡市内の他のクラブ(延岡RC、延岡東RC)の3クラブ合同提唱としました。合同提唱をすることでインターアクトクラブに対するさまざまな支援、協力をより確実なものにするという考えと、インターアクトクラブがない宮崎県北部を活性化させる、といった狙いもあります。同じ県北にインターアクトクラブが増えれば、生徒やロータリアンも盛り上がり、お互いの交流や活動が増え、継続につながっていくと考えています。

これらを協議した上で、再度、聖心ウルスラ学園にインターアクトクラブ結成をお願いしたわけです。緑ヶ丘学園高校IACの当時の担当教諭が、現在の聖心ウルスラ学園の校長先生ということもあり、すぐに結成が決まりました。

結成してまだ1年ですが、これからも学校との連携を大切にし、生徒たちのインターアクターとしての成長を支援していきたいと思います。(第2730地区 宮崎県)

IACですが、早いもので1年が過ぎようとしています。インターアクトクラブ結成に向けて、わが延岡中央RCが掲げた重要事項は、「連携」でした。

延岡中央RCは1988年6月29日に緑ヶ丘学園IAC(聖心ウルスラ学園IACの前身)を結成。当時、49人の生徒でスタートしましたが、数年のうちに自然消滅となりました。毎年クラブのインターアクト担当委員が代わるため、年度末の引き継ぎの問題や担当者の情報不足、または担当委員ごとのインターアクトに対する温度差が原因で学校との連絡が疎遠となったことなどが主な理由でした。

そのような過去の経緯を踏まえた上で、結成準備段階での議題として、「なぜインターアクトがなくなったのか」「どうしたら継続していけるのか」を挙げ、この2つを検討した結果、「連携」の2文字が出てきたわけです。

そして、連携強化のために、まずは担当委員である青少年奉仕委員長とインターアクト委員長を1年委員から3年委員に変えました。3年委員にすることで、学校側の戸惑いをなくすとともに、クラブも引き継ぎに十分な時間を取ることで、新しい担当者が情報、知識を得て、学校と積極的に接していけるという考



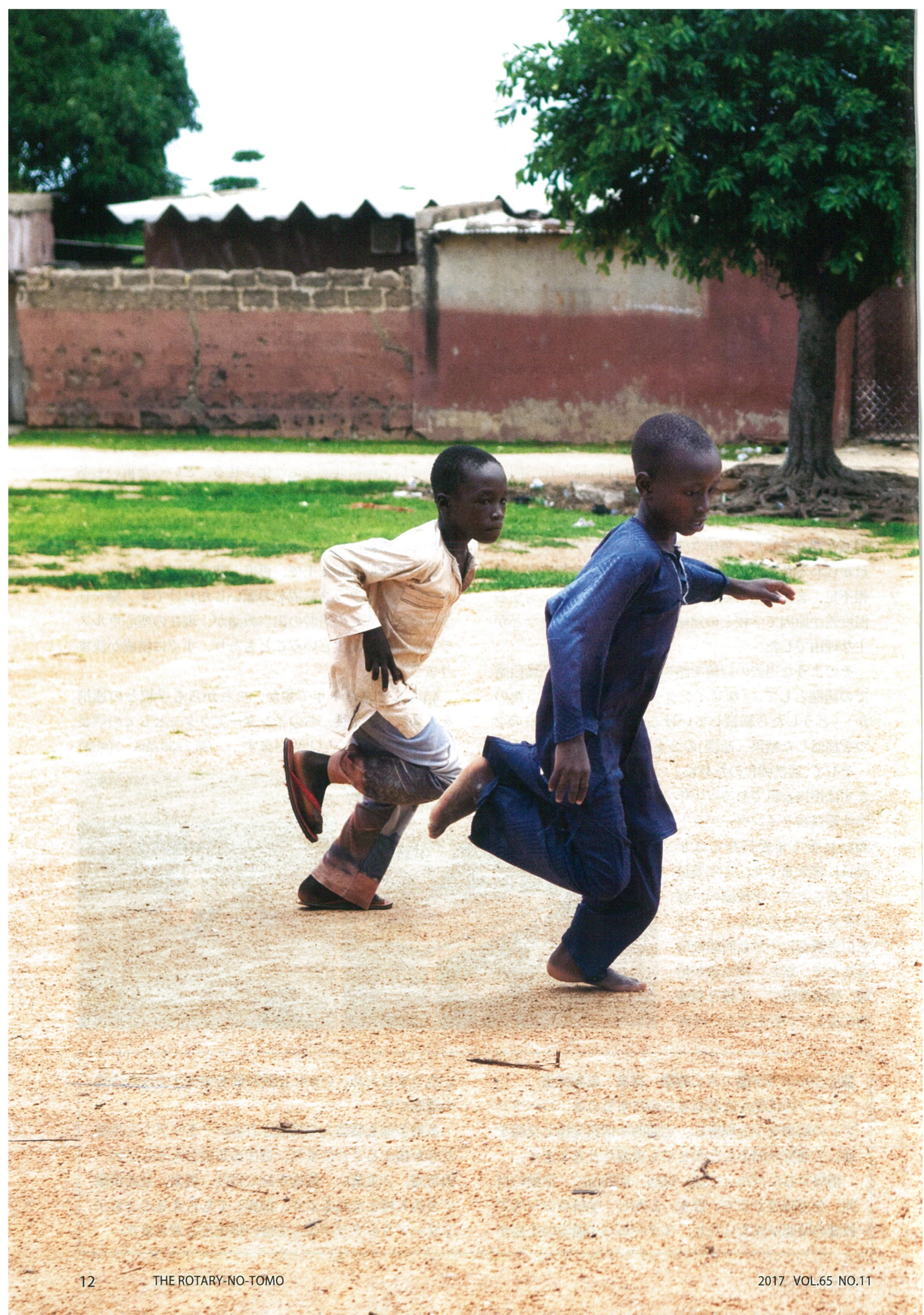
聖心ウルスラ学園IAC顧問 富高 友美先生

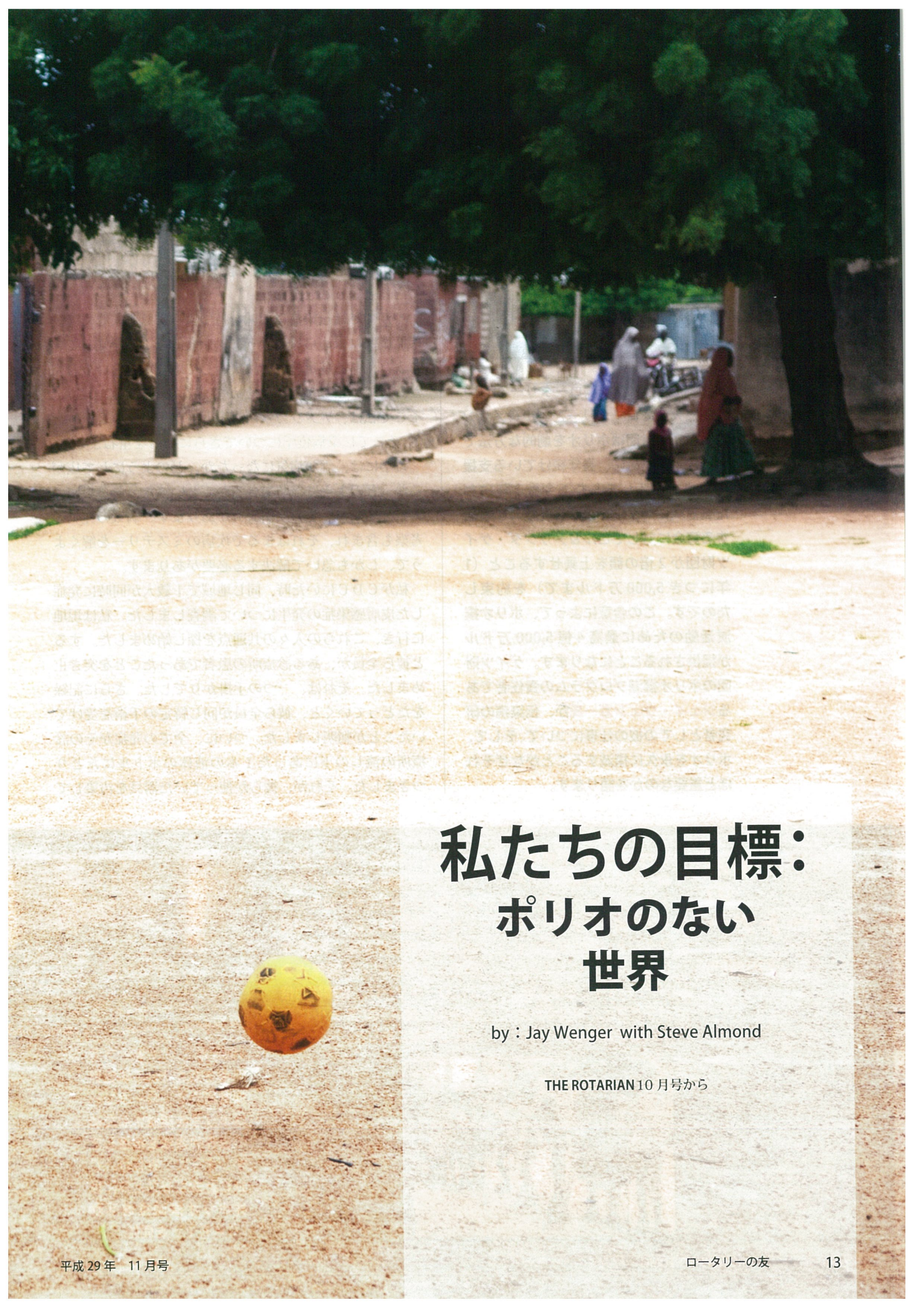
クラブの活動が意義あるものにするには、ロータリアンの精神を十分理解し、定期的な情報交換と交流を通して連携を図ることがとても重要だと考えます。

指導するに当たっては、毎回、活動前に「活動の目的」を再確認させています。しかし、学科やコースで放課の時間が異なったり、スクールバス通学の生徒が

いたりするため、いかに活動時間を確保するかが今後の課題です。

多種多様な職業人で構成されるロータリアンと生徒たちが接することにより、責任ある社会人としての一般常識、言葉遣い、態度を身に付け、将来、社会貢献できる人材となれるよう、指導してもらえることもインターアクトクラブならではの特色だと考えます。

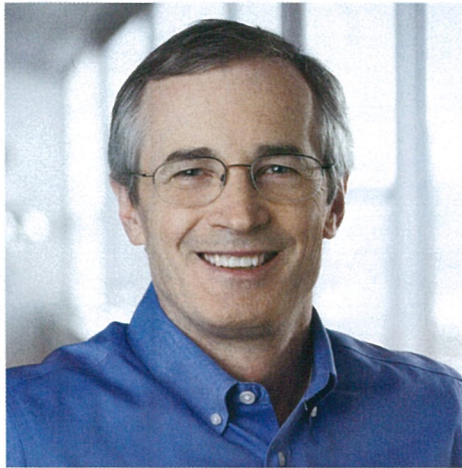




私たちの目標： ポリオのない 世界

by : Jay Wenger with Steve Almond

THE ROTARIAN 10月号から



6月に開催された国際ロータリー（R I）の国際大会でロータリーとビル&メリンダ・ゲイツ財団はポリオを劇的な方法で終結させるために、長年続けている支援の延長を発表しました：今後3年にわたって、ロータリーがポリオ撲滅に投入する資金に対してビル&メリンダ・ゲイツ財団が2倍の額を上乗せすること（1年につき5,000万ドルまで）を約束したのです。この合意によって、ポリオ撲滅活動のために最高4億5,000万ドルが提供されることとなります。ゲイツ財団のポリオ撲滅プログラムの責任者である**ジェイ・ウェンガー氏**が、伝染病の研究者としての彼の仕事について、そして、ポリオを永久に撲滅することがなぜそれほど重要なかを語ります。

私は小さい頃からずっと 医師になりたいと思っていました。

しかし、もともと私は地方の一般開業医になると思っていました。

その認識が変わったのは、私が医学生時代、数カ月間病院で働く機会があった時です。その経験で私が学んだのは、比較的少額で医療が提供でき、多くの疾病を予防できるということでした。

やがて私は伝染病に興味を持つようになりました。一般開業医に求められるように、全般的なことを知っているより、ある特定のことに集中して取り組むという考えが好きで、より多くのことができるように思えました。そこで私は、アメリカ疾病対策センター（CDC）へ行き、そこで伝染病疫学についてさらに研修を重ねました。

疫学には、誰が病気になったか、どのようにして広がるか、どのように予防できるか、といった、ある集団の人口全体についての疾病研究があります。病気の発生の考察も含まれ、それはまるで疾病のミステリーを解くようで、しかも急いで解決する必要があります。

私がCDCにいた時、同じ地域で十数人が同時に発症した皮膚感染症の発生について調査しました。私は現地に行き、これらの人々の共通点を探し始めました。すると彼ら全員が、ある診療所の患者であったことを突き止めました。それは、一つの手掛かりでした。さらに記録をたどっていくと、彼ら全員が同じ特定の手術を受けていたことが判明しました。ついに、全ての発症がその診療所の流しの下にあった1本の液体のボトルにたどりつきました。それが、彼らが使っていた器具を汚染して

ポリオ撲滅の パートナー

A timeline

1979～80年代初期：ロータリーは東南アジアとラテンアメリカで、ポリオ撲滅キャンペーンをスタート。1979年にフィリピンで始まり、カンボジア、ハイチ、モロッコ、パラグアイ、シエラレオネと続けました。



1985年：ロータリーで、ポリオブラスを開始、ポリオワクチンを世界中の子どもに投与しようと取り組みました。寄付目標は1億2,000万ドル。1988年のフィラデルフィア国際大会で、ロータリーは、目標額の倍以上の2億4,700万ドルに達したと発表しました。



1988年：ジュネーブで開催された1988年世界保健総会で、ロータリーはポリオを撲滅するための世界的決議を推進します。さらに、WHO、CDCとユニセフと共に世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）を開始。

いたのです。

伝染病の研究者が行っていることの多くは、このようなことです。伝染病を追って、どのように広がったかを調べ、そして、感染を止めるためには何をすればよいのかを解き明かそうとしています。

私はC D Cのグループで、脳と脊髄の感染症である細菌性髄膜炎を専門に研究していました。ヘモフィルス・インフルエンザ菌b型(Hib)が原因で発症する感染症ですが、アメリカで毎年1万5,000人の子どもが感染する、最も一般的な感染症でした。

その頃、Hib ワクチンがちょうど開発されました。私はその病気の発症数やワクチンの効果を監視していたのですが、その効果はてきめんでした。国中のすべての子にワクチンが広まったため、年間発症数が、数千件から二十数件になったのです。

ワクチン・プログラムの効力を見たことが、私がポリオ撲滅に関わる大きなきっかけとなりました。

私は 1955 年に生まれました

そしてその年、信じられないことですが、ポリオのためのソークワクチンが認可され、アメリカで導入されました。当時、ポリオは最も恐れられていた感染症でした。

ポリオワクチンの開発の重要性を理解するためには、1930～50年代に起こったポリオの脅威がどれほど大きかったかを理解しなければなりません。

夏がやって来ると、親たちは、自分の子どもが病気にかかって、まひを引き起こすか命を落としてしまうのではないかとおびえていました。最初のワクチンが1955年に出了時には医学の奇跡と称賛されました。

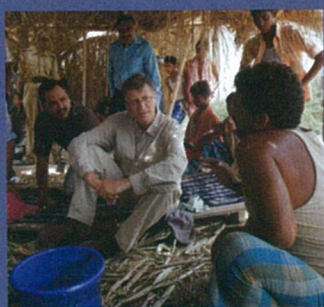
私が生まれた後も、ポリオの恐ろしさは人々を悩ませていました。数滴のワクチンを角砂糖にしみこませて食べるという新しい経口ワクチンのキャンペーンがあり、私も子どもの時、このような角砂糖を食べたことをいまだに覚えています。

ポリオのワクチンは、成功したワクチンの代表例になり、世界的に1年に何十万件もあった発症数が、アメリカや他の恵まれた国ではゼロになりました。しかし、ポリオは依然として発展途上国では大きな脅威のままでした。

ポリオウイルスは脊柱の中にある細胞を侵します。その細胞が一度破壊されると、脳から筋肉に伝達する手段がなくなってしまい、その結果、急性弛緩性まひ(AFP)になり、筋肉は動かなくなり、曲げたり、伸ばしたりすることができなくなります。ウイルスは腕または足に影響を及ぼし、筋肉は動かなくなり、しなびていく傾向があります。また、肺や横隔膜の筋肉に影響が及んだ場合、呼吸できなくなるため、命に関わることもあります。

ウイルスは人の体内でしか繁殖することができず、排出されるまでの数週間から1カ月ほどしか生きることができません。ウイルスは便とともに排出されますが、一度人の体から出るとウイルスが生きられるのは1～2週間です。その間に次に感染させる人を見つけなければ、ウイルスは次々に死んでいきます。ですから、感染の連鎖を断ち切ることができれば——人々にワクチンを投与することで、人から人へとウイルスが広がるのを防ぐことができれば——ウイルスを絶滅させることができるわけです。私たちは至る所でウイルスを取り除かなくてはなりません。さもなければウイルスは復活し、撲滅した

2002 - 03 年:ロータリーは、8,000万ドルの資金調達を目標とした、ポリオ撲滅キャンペーンを開始。このキャンペーンで目標をはるかに超えた1億3,500万ドルが集まります。ビル&メリンダ・ゲイツ財団はロータリーに対し、世界保健のゲイツ賞を授与するとともに、100万ドルを寄付。この賞は、ロータリーが取り組むポリオ撲滅活動に初めてもたらされた賞でした。



2007 年:ゲイツ財団が、ロータリーの1億ドルのチャレンジを発表。これは、ロータリアンによって集められた資金に合わせた金額の補助金をゲイツ財団が誓約する、ポリオ撲滅への最初の補助金です。

「私たちは至る所でウイルスを取り除かなくてはなりません。さもなければウイルスは復活し、撲滅したところで再感染するかもしれないのです」

ところで再感染するかもしれないのです。

このような理由から世界保健総会では、1988年にポリオを撲滅することを決定しました。ロータリーはその時、非常に重要な存在でした。ロータリーは最初からその任務を自分たちのものと考え、この活動の初期の段階から多くの国を支援したからです。

私はロータリーの影響を見ることができました。そして、私たちが固く決意すれば、地球上からこの病気を撲滅できるという可能性があることに、伝染病研究者としての私は心を打たれました。

2002年、私はインドでWHO（世界保健機関）と共に働く機会に恵まれ、国家ポリオ監視プロジェクトを監督しました。そこで私は、ロータリーがこの国でどのように活動するのかを目の当たりにしました。

ロータリーの支援の多くは、その資金調達力にあります。このような活動には、一貫した資金源が必要であり、ロータリーは、ポリオが撲滅される最後までこの活動を見届けたいという意志を明らかにしていました。彼らの支援は揺るぎないものでした。

しかしロータリアンと一緒に働くことで一番心を打たれたのは、それぞれの国で示される彼らの精力的な責任感です。アメリカでは予防接種活動を促進するために、彼らはあらゆる選挙区で、そして、ワシントンD.C.で活動しました。インドなどでは、ロータリアンの支援がかけがえのないものだということがすぐに分かりました。例えば、私たちは最初に政治的指導者と問題を話し合いました——しかし、私たちは誰と一緒に活動するとしても、政治家とつながり、ポリオ・プログラムをサポートするよう説得してくれる地元のロータリアンを常

に信頼することができました。

大筋においてロータリアンはポリオ撲滅活動が道理にかなっているということ、そしてそれが緊急を要するということを人々に提示してくれました。彼らは地域社会に影響力のある一員で、彼らがポリオ撲滅を主張することに、人々は注目しました。

インドでポリオをなくすことは、偉業でした。ムンバイなどの人口が密集した都市から山奥にある村々まで、私たちは、全ての子どもがワクチンを受けたことを確認しなければなりませんでした。

私が現地調査を行ったほとんどの地が、発症例のあった北部でした。監視プログラムの責任者として、私はポリオに感染した子どもたちに会いに行きました。ある時、北部のウッタラ・プラデシュ州へ行き、一部屋しかない小さな家を訪れました。そこには、片足が不自由な小さな女の子がベッドの上に座っていました。

彼女の足は、2カ月の間まひしていました。私たちが彼女にできたことは、理学療法を行い、添え木を当てる程度にとどまり、彼女のまひした足を治療する方法はありませんでした。彼女の母親は期待を込めて私を見ていました。私には彼女が考えていることが分かりました。「ここには西洋からきた偉い医者がある。彼はどうすればよいか知っている。彼は私の子どもを治してくれる方法を知っているだろう」

犠牲者を実際に見た瞬間に感じるその無力感は、私の一番の強いモチベーションになります。彼らはポリオ・プログラムの原動力です。なぜならば、一度ポリオにかかるとポリオは治せないから。しかし、ポリオが起る前なら、私たちは解決することがで

「ロータリアンと一緒に働くことで一番心を打たれたのは、それぞれの国での精力的な責任感です」



2009年：ビル・ゲイツ氏が国際協議会でさらに2億5,500万ドルを誓約。ロータリーは目標金額を2億ドルに増やします。



2011年：ビル・ゲイツ氏が、ニューオーリンズ国際大会で講演。

きるのです。

2011年に、私はゲイツ財団の 今の任務を引き受けました。

その時には、ロータリーとゲイツ財団はすでに強力なパートナーでした。ゲイツ財団がポリオ撲滅プログラムに関わる数年前から、ロータリーは重要な役割を果たしてきました。

このころ、インドで発症した例が国内最後の発症例となり、地域社会は活気づき、世界的な撲滅が本当に手の届くところまで来たことを信じられるようになりました。ロータリーとゲイツ財団はポリオを永久になくするという、WHO、CDC、ユニセフが中心となって活動する世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI = Global Polio Eradication Initiative）による数年にわたる戦略計画の呼びかけに応えました。

2013年6月、今後5年にわたってロータリーがポリオ撲滅に寄付をすると、1年につき、3万5,000ドルまではゲイツ財団から2倍の補助金が上乗せされると発表しました。

ポリオ撲滅で私たちが認識する必要があるのは、他の公衆衛生プログラムと異なり、私たちがどこへ行くか選べないことです。私たちはポリオがある場所へ行かなくてはいけないのです。

現在、世界で野生ポリオウイルスが残っているのは、アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアのわずか3カ国です。これらはポリオと闘うよりさらに大きい問題があるため、活動するには難しい国々です。

私たちはこのような場所を忘れることはできないし、

後で対応することはできないのです。なぜならばそれは、ポリオに対して負けることを意味するからです。もし、ポリオウイルスがどこかに残っていたら、すでに撲滅したところで再発する可能性もあるのです。われわれは、世界で最も困難なところで活動し、最も届けにくいところにいる子どもたちにまで活動を広げていかななくてはならないのです。

私が一番多く受ける質問は、ポリオが地球上からなくなったといふ宣言することができるのかという質問です。私は、自分たちが懸命に推し進めているところであり、撲滅するのは間近だと答えています。

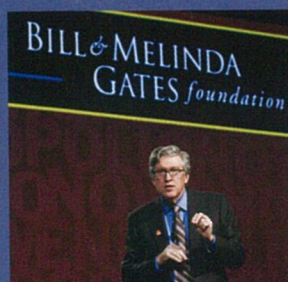
昨年7月末時点で、世界のポリオ発症件数が19件だという報告がありました。今年はわずか8件です。しかし本当にポリオが撲滅されたかどうかを私たちが知ることができるのは、3年間新たな発症がなかった時です。私はこの目標がもうすぐ達成できると楽観的です。

伝染病学者として、天然痘を撲滅させたようにポリオも撲滅できると考えています。私たちは天然痘の発症数を少なくするだけではなく、完全になくしました。

もし私がかつてロマンチストなら、もっと頻繁にポリオのない世界の夢を見るかもしれません。しかし、私は働きバチで、目立つことなく自分の仕事に集中し、目標を達成するためにすべき仕事に集中したいと思っています。

私が子どものころ、人々がどれほどポリオを恐れていたか、今も思い出すことができます。そして私は現地で、ポリオがその犠牲者とその家族にしたことを目の当たりにしてきました。

そのことが私を動かし続けているのです。



2012年：ポリオ撲滅活動のための資金は、最初の目標の2億ドルを上回る2億2,870万ドルに到達。その年には、ゲイツ財団の当時のCEOであるジェフ・レイクス氏が、ポリオ撲滅活動への寄付を、追加で5,000万ドル行うことを国際協議会で発表。

2013年：リスボン国際大会では、ロータリーとゲイツ財団間の協力関係を新たに拡大すると発表。ゲイツ財団は、2018年まで、1年につき最高3,500万ドルのロータリーの資金に、2倍の額を上乗せすることに同意します。キャンペーンを通して、ロータリーはその年の資金調達目標額を上回りました。

2017年：2倍の額を上乗せする補助金の成功に続いて、ロータリーとゲイツ財団は、アトランタ国際大会で最高4億5,000万ドルのさらなる合同の誓約を発表しました。ロータリーの新しい目標は、この3年間、1年につき5,000万ドルを集めること。2倍の上乗せとともに、ロータリーがその資金調達の目標額に達すれば、ゲイツ財団の寄付は3億ドルまで増加することになります。



数百万人が、ポリオ撲滅に 尽力しました

しかし、われわれの活動は、まだ 始まったばかり

私たちは、ポリオ撲滅を目の前にしています。7月末現在、8件の発症が報告されました。これは今までで最も少ない数です。新しい発症が確認されるたびに、これが最後の発症かもしれないと考えられています。

現在、私たちはポリオ撲滅にさらに近づいています。6月のアトランタ国際大会で、世界中の各国、政府やメジャードナーが、ポリオとの闘いに活力を与えるために、12億ドルの寄付を約束しました。そして、8月、イギリスは追加で1億3,000万ドルの寄付を誓約しました。世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）は、世界中でポリオ発症数をゼロにするために、15億ドルの資金が不足していると予測しています。この額は、一度この責

務が果たされれば、大幅に減る数字です。

新しい資金は、サーベイランス（監視活動）や発症への対応、毎年4億人以上の子どもたちへの予防接種といったポリオ撲滅のための取り組みに使われます。

寄付者が資金の不足を埋めるための寄付を誓約する一方で、ロータリーの活動は続きます。この誓約の一部分として、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団が2倍の額を上乗せするこの3年間、ロータリーは毎年5,000万ドルを集めることに専念します。私たちは、ゲイツ財団とのマッチングをフル活用するために資金を集め、そして、政府に確約を果たすよう提言する必要があります。

ビル&メリンダ・ゲイツ財団：
4億5,000万ドル・パキスタン：1億5,470万ドル
国際ロータリー：1億5,000万ドル
ナイジェリア：1億3,460万ドル・イギリス：
1億3,000万ドル・カナダ：7,500万ドル・欧州
連合：6,140万ドル・日本：5,500万ドル
アラブ首長国連邦：3,000万ドル・ダリオ財団：
3,000万ドル・ブルームバーグ・フィランソロフィーズ：
2,500万ドル・匿名の提供者：1,500万ドル
オーストラリア：1,340万ドル・ドイツ：
1,120万ドル・easyJet航空：500万ドル
イタリア：500万ドル・韓国：400万ドル
韓国国際保健医療財団 (KOFIH) /社会福祉共同
募金会：200万ドル・国連基金/Shot@Life：
170万ドル・スイス：103万ドル・ユニセフUSA：
51万4,000ドル・ルクセンブルク：50万ドル
モナコ：33万ドル・New Era Educationaland
Charitable Foundation：13万ドル・トルコ：
6万ドル・マルタ：3万ドル・スペイン：2万ドル
アクセンチュア・インタラクティブUSA：2万ドル



難民にシェルターを、 日本の教育現場に 難民についての教材を

国連UNHCR協会広報渉外グループ団体・学校統括
中村 恵（1983 - 84年度ロータリー財団奨学生）

増え続ける難民たち

世界では長引く紛争を逃れ、避難先と保護を必要としている人が、2016年末で6,560万人、つまり日本の人口の半分以上に上ります。その数は、シリアや南スーダンの危機によってここ数年で劇的に膨れ上がり、空前の規模になっています。

1950年12月に設立されて以来、難民を国際的に保護する任務を担っている国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）^{ユー・エヌ・エイチ・シー・アール}にとって、避難先を求めて故郷を追われた人々に、厳しい気候やさらなる暴力から身を守るシェ

ルターを提供することは、何よりも優先すべきことです。

シェルターは単に雨風をしのぐだけのものではありません。プライバシーや尊厳の確保に役立ち、安全な場所で家族が一緒に暮らせます。シェルターは、身体的・精神的な健康にとって重要であり、人々が生活を再建するための基盤となります。

財団学友として、ロータリーで講演

昨年以來、UNHCRが提唱しているグローバル・シェルター・キャンペーン“Nobody Left Outside”は、難民を受け入れているギリシャ、ヨルダン、レバノン、チャド、ケニア、ニジェール、ルワンダ、タンザニア、ウガンダ、グアテマラ、メキシコのほか、主に国内避難民への対応が必要なウクライナとイラクにおいて、避難先を必要とする人々に安全かつ適切なシェルターを確保するために、多くの方々からのご支援を募っています。

『ロータリーの友』2016年11月号に、私は「難民にシェルターを」と題した記事を寄稿させていただきました。その後、今年2月に第2760地区の田原パシフィックロータリークラブ（RC）、第2780地区の厚木RCと綾瀬RCから卓話の



南スーダンからウガンダに逃れた家族は、難民居住地に建てた伝統的住居やUNHCRが配布したビニールシートで覆われた小屋で暮らす
©UNHCR / David Azia

(左ページ) イラクでは武装組織 IS 支配下にあったモスル奪還作戦によって多くの住民が避難し、UNHCR は国内避難民への支援に尽力 © UNHCR / Ivor Prickett



寄付を届けてくださったロータリー財団 100 周年シンポジウム実行委員会の田中栄次郎委員長、高木直之副委員長、柚木裕子副委員長 (写真右 3 人)、国連 UNHCR 協会の檜森隆伸常務理事、星野守事務局長、筆者



大阪セミナーで、テキスト「難民についての授業の手引き」について説明する筆者 (2017 年 8 月) © 国連 UNHCR 協会

機会をいただき、5 月に第 2650 地区が開催された「ロータリー財団 100 周年記念シンポジウムと集い」にパネリストとして参加。7 月に第 2630 地区で開催された「ロータリー財団セミナー」には講師としてお招きいただきました。各主催者様が用意くださった謝礼はすべてご寄付として拝受し、その額は 21 万円になりました。

また、2016 年 11 月 27 日に東京で開催され、800 人余りが参加された「ロータリー財団 100 周年シンポジウム」の実行委員会が、さまざまな節約策によって捻出してくださったという余剰金の 100 万円も、グローバル・シェルター・キャンペーンへの指定寄付とし、拝受いたしました。

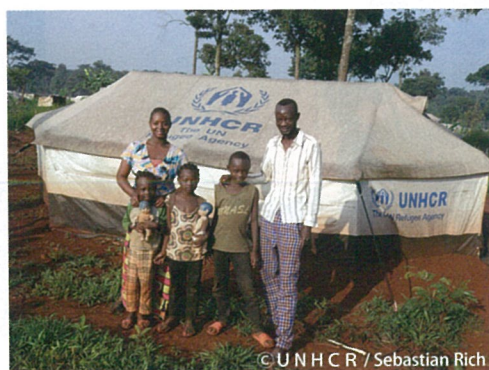
以上のご寄付総額は、5 人家族用のテント (約 6 万円/張) 20 張分に相当します。ここにご報告させていただきまするとともに、ご協力くださったロータリアンの皆さまに重ねて御礼申し上げます。

グローバル・シェルター・キャンペーンは 2018 年末まで続きます。例えば周年事業の寄付先としてぜひご検討くださいますようお願い申し上げます。また、講師などを務めさせていただく機会がございましたら、お声を掛けていただければ幸いです。東京からの旅費のご負担はお願いしておりますが、日本全国どこへでも出向かせていただきます。

難民問題を学ぶ機会を提供するという支援

ところで、教育現場における難民問題への関心の高まりを受けて、国連 UNHCR 協会主催「難民についての教材活用セミナー」を、今年 8 月に札幌、東京、名古屋、大阪、福岡で開催し、小中学校、高校の先生方を中心とする 100 人以上にご参加いただきました。特に、グローバル人材の育成やアクティブラーニングの推進に努めている高校などからは、UNHCR 関係者の話を直接聞きたいという要望があり、旅費と交通費のご負担を条件として要請に応じています。一方で、山形県の高校からは旅費交通費を負担できないものの講師を派遣してほしいとご相談がありました。ロータリー関係者に地元の地区やクラブからの応援の可能性について打診させていただいたところ、鶴岡西 RC がその高校に支援金を届けてくださったとのことで、Haguro Youth Meeting という学生会議に講師を派遣させていただくことができました。どうもありがとうございました。

8 月のセミナーに参加してくださった各地の熱心な先生方からも、さまざまな相談が寄せられています。今後とも、日本各地のロータリークラブにご協力いただいて、教育現場に役立つ活動を広げていきたいと願っております。ぜひ応援していただきたくお願い申し上げます。



<お問い合わせ先> 国連 UNHCR 協会

E メール nakamura@japanforunhcr.org (中村宛)

Tel. 070-3869-1737 Fax. 03-3499-2273

これまで『ロータリーの友』に掲載された次の関連記事もご参照ください。

2009 年 2 月号「UNHCR で活躍する元ロータリー財団親善奨学生 ロータリー平和フェロー」

2014 年 11 月号「UNHCR で今も活躍する元ロータリー財団奨学生・ロータリー平和フェロー」

2016 年 11 月号「難民にシェルターを」

2017 年 1 月号「ロータリー財団 100 周年を祝う」

京都迎賓館体験型参観 「菊花彩る重陽のおもてなし」に協力

京都南RC 高橋 拓児

京都迎賓館で初の開催——約 500 人の来場者が「満足」

京都迎賓館（京都市上京区）では、9月4～5日の2日間限定で「菊花彩る重陽のおもてなし」と題した初の体験型参観イベントが行われました。同館は一年を通して一般公開されていますが、この企画は重陽の節句（9月9日）に合わせ、海外からの賓客が受けられるおもてなしの一端を感じてもらいたい、との趣旨で開かれました。仕事でご縁のある私が同館の所長からこのイベントのアイデアを伺い、ぜひロータリーとして協力させていただきたいと申し出たのがきっかけで、わが京都南ロータリークラブ（RC）もこの企画に賛同、協力することになりました。

9月9日は五節句の一つで、「菊の節句」ともいわれ、華道や能楽など、古来の伝統行事に深く関わりがある日です。今回はその重陽の節句に合わせ、菊の花のめでたさと長寿をことほぐ能楽「枕慈童」（金剛永謹宗家）の上演、呈茶席ではお菓子「着せ綿」（茶道裏千家）が振る舞われたほか、通常は公開されていない部屋が公開され、随所に重陽の節句をイメージした特別な室礼の生け花（京都いけばな協会）の展示などが行われ、王朝文化

の薫りが今も残る京都御苑内の、初秋の京都迎賓館に彩りを添えました。

今回、わがクラブは共催した京都文化交流コンベンションビューローが担う重陽の節句の室礼に寄付をしたほか、当日の運営に関し、約 100 人の会員がボランティアで協力。参加者の誘導や安全確保、また館内の器物が破損されないよう監視するといった役割を担いました。

今回のプレミアムな企画には、全国各地から約 500 人の方々が参加。「非常にすてきなおもてなしを受け、心から楽しむことができた」「ぜひ、また開催していただきたい」という声が寄せられ、事業後のアンケートではほぼ全ての来場者が満足されたという良い結果となり、大変多くの方に喜んでいただきました。

会員 100 人が礼節を持って、陰のおもてなし

このように、京都迎賓館初の事業に参画し、京都のみならず全国からお越しになられた方々に賓客同様のおもてなしを体験していただけたことは、イアン H. S. ライズリー国際ロータリー会長の「ロータリー：変化をもたらし」、第 2650 地区・田中誠二ガバナーの掲げる「愛着と誇り」、そして当クラブ・千振和雄会長の掲げる





「凛^{りん}として和やかに一緒に『南の風』となる一」といった、今年度のテーマやスローガンに即した事業（地域や人々のために良いことをしよう！）になったのではないかと考えております。

参加した会員からも「素晴らしい場所でボランティア事業ができたことを京都南RCとして誇りに思う」「京都だけでなく、全国の方々にも日本の伝統文化に愛着を持っていただけたことを大変うれしく思う」といった声が聞かれました。

新聞、雑誌などの報道記事では「協力：京都南ロータリークラブ」と記載されましたが、当日、会員はロータリーの腕章や名札は着けず、その高貴な場になじむよう礼節を持って、100人の会員全員が一人のスタッフとして、心を込めた陰のおもてなしをさせていただきました。「ロータリー」と掲げなくても、こういうことは必ず口コミで広がることと思います。

京都南RCは今後も京都のみならず、日本のためにさらに貢献してまいります。（第2650地区 京都府）



米山記念奨学事業 50 年のあゆみ ①

—— 前史 ——

会員の思いと、その時代が生んだ奨学金

戦後、市民がいまだ救援物資に頼る生活をしていた1949年、東京ロータリークラブ（RC）を皮切りに京都、大阪、神戸、名古屋、静岡、札幌などが国際ロータリーへの復帰を果たしました。そこでロータリー財団の奨学金事業が広く実施されているのを目の当たりにした彼らは、「日本のロータリアンもせめて日本にいる外国の留学生諸君をときどき慰めてやるような催しはできぬものか」（第60区1952—53年度小林雅一ガバナー『ガバナー月信』から）と考えるに至ります。戦後なお、国際社会における日本への警戒心、反日感情は強く、アジア諸国との友情こそが、今後の日本の生きる道であるという認識がありました。

1952年12月、東京RCが「米山基金」の構想を発表。アジアから優秀な学生を日本に招き、勉学を支援しようというものでした。これが現在の「ロータリー米山記念奨学金」の原点です。当時、すでに米山梅吉翁は亡くなっていましたが、日本のロータリーの誕生に多大な功績を残した米山氏の名を刻み、「無形の金字塔」とするにふさわしい事業であると考えられました。翌年、寄付の呼びかけを始めましたが、寄付者の第1号は東京RCの会員ではなく、例会の常連ビジターだったウィリス A.

ネルソン氏（アメリカ・バージニアRC会員）でした。

最初に支援を受けた奨学生、タイのソムチャード・ラタナチャタさん、インドの P.K. イーペンさんと A.B. ロイさんはいずれも東京大学で学び、それぞれの母国へ成果を持ち帰りました。

5 年後には全国組織に発展

東京RCによる米山基金は、構想当初から全国組織化を視野に入れており、1956年10月の第60・62区の年次大会において、この事業を地区内全クラブの合同事業として継承すると決議されました。

「ロータリーが貢献することのできる最も大なるものの一つは教育的援助であるが（中略）このような企画は貴いものであり、かつロータリーの国際奉仕として最もふさわしい^{くわだて}企であって、その連続性が望ましい。（中略）よって本大会は、米山奨学資金を財団法人として、全国的な組織となすべきことを茲に決議する」（第60区の大会決議文）

57年には全国組織「ロータリー米山奨学委員会」が結成され、翌年、初の選考試験を行って、全国の大学から8人の奨学生が採用されました。その出身は、バングラデシュ、ベトナム、インドネシア、フィリピン、香港、イラン、スリランカ、タイという国際色豊かなものでした。



ソムチャードさんのご息

ノラチャート
・ラタナチャタさん

父は生前、日本の東京大学を卒業したことを、とても誇りにしていました。東京大学で学んだ知識を生かし、養蚕^{ようさん}センターを設立して、多くのタイ人にその技術を教えました。父は、日本のロータリアンにいつも親切に助けていただいた、と私たち家族に話していましたし、留学時代の写真もたくさん見せてくれました。

写真の左から
2人目がソム
チャードさん、
3人目がイー
ペンさん

2017-18年度は
財団設立50周年



財団設立 50 周年を迎えたロータリー米山記念奨学会。今年度の「よねやまだより」は 10 年ぶりに、これまでの歴史を振り返るシリーズをお届けします。今月は、当事業の前身、東京ロータリークラブ（RC）が始めた「米山基金」時代について。戦後の日本のロータリーの状況から基金創設に至るエピソードのほか、当時の奨学生に関わりのある方々から話を伺いました。



東京上野RC会員
2016 - 17 年度
第 2580 地区米山奨学委員

外山 昌一さん

地区米山奨学委員を引き受けた際、少しは米山の勉強でもしようかと米山記念奨学会発行の『豆辞典』を開いたところ、私を育ててくれた大叔父の写真、イーペンさんの懐かしい笑顔が目飛びこんできました。そりゃもう、びっくり仰天ですよ。

大叔父はミツワ石^{せつけん}炭（株）の 2 代目で、三輪善兵衛^{みわぜんべえ}といひます。1953 年に日本でテレビ放送が始まるといち早く CM を流し、それが大当たりして財を成しました。東京 RC の会員としてロータリー活動に精を出していた姿も、おぼろげながら覚えています。

小学生の時、家に肌の色の黒い外国人がやってきて、書生のような形で一緒に住むことになりました。それがイーペンさんです。女性の多い広い家だったので、用心棒の意味合いもあったのかもしれません。当時、外国人といえばアメリカ人のことだと思っていた私は、初めて見るインド人にくぎ付けでした。

イーペンさんは日本語がペラペラで、週に 1 回、

カレーを作ってくれたことが記憶に残っています。それも、当時普及しつつあった西洋風カレーライスではなく、母国から持ち込んだ香辛料をふんだんに使った本格インドカレー。スパイスの香りが近所中に漂い、学校から帰ってくると、家の 500m 手前から気付くほどでした。同居生活は 1～2 年で終わりましたが、イーペンさんは帰国後、母国の水産庁に就職したと聞いています。今でもインドに親しみを感じるのは、彼のおかげかもしれません。

大叔父たちが戦後の日本で立ち上げた米山記念奨学事業に、今、私自身が同じように関わっています。そこに不思議なつながりを感じます。奨学生たちの研究レベルの高さ、学業への真摯な姿勢、日本人顔負けの礼儀正しさを見るにつけ、われわれの活動が無駄ではないと実感します。

事業設立から 65 年、財団設立から 50 年、この長い歴史を、これからもわれわれロータリアンの手で担っていきたいものです。



三輪善兵衛氏

※米山記念奨学事業、および「よねやまだより」に関するお問い合わせ・ご意見は、（公財）ロータリー米山記念奨学会まで
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281 Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp

よねやま
ミニだより

「感謝 in 熊本」に学友・ロータリアンら 444 人が参加



サプライズで、くまモンが登場

「世界米山学友による感謝 in 熊本」（米山学友合同実行委員会主催）が 8 月 26 日、熊本市内で開かれ、世界 18 の国・地域の米山奨学生と学友 197 人、ロータリアンや家族など総勢 444 人が参加しました。当会の財団設立 50 周年への祝賀に加え、今後、国内外の学友・学友会が連携するためのプラットフォーム「世界米山学友会」の発足を目的としたもの。「被災地を元気づけたい」との思いから熊本で開かれ、当日は第 2720 地区に義援金 100 万円を贈りました。懇親会では民族舞踊や合唱が披露され、サプライズで、くまモンも登場。「手に手つないで」を全員で歌い、再会を誓って閉幕となりました。次回は 2 年後、モンゴルでの開催を予定しています。

World Roundup

世界のロータリーニュース



カナダ

60年以上にわたって、アルバータ州のステトラ・ロータリークラブ（RC）は年に一度畜産農家、穀物農家、酪農農家の人たちを招いて晩餐会を開いてきました。主催者で元会長のキャシー・ハンキンス氏によると、6月19日のイベントには約250人が集まりました。農業に携わる地元の業者が8人掛けのテーブルを提供し、魅力的な農家の夫婦3組をゲストとして招待しました。このイベントで7,000ドル（約78万円）の募金が集まり、この収益は4つの大学で農業関連分野を学ぶ学生を対象にした奨学金（一人当たり800ドル支給）に充てられます。また、サスカトゥーンのサスカチュワン大学における「Adventures in Technology（テクノロジーの冒険）」プログラムに参加する高校生も支援します。

世界では約100人に1人の子どもが、
先天性心疾患を抱えて生まれています。



マダガスカル

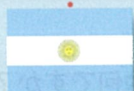
アロチャ湖RCと地元のソロブチミストクラブの協力者が地元の裁判所に働きかけたことで、マダガスカル北東部の奥地にある農村・マナカンバイニーの住民に身分証明書が発行されました。2月には、ロータリークラブとソロブチミストクラブが主催した式典に、村の子どもと大人たち約250人を招待。「農村部では一般的に、知識の不足と役人への恐れ、それに身分証明書を取得するための手続きが複雑なために、出生証明書をなかなか得られないことが多いのです」と、アロチャ湖RC会員のセヘノ・ラジャオベリソン氏は言います。身分証明書が発行されたおかげで、子どもたちは教育を受けやすくなり、大人たちは選挙で投票しやすくなりました。



フィリピン

セブRCでは、心臓病を抱える子どもたちが手術を受けられるようにするためにチャリティーレースを実施。4万2,000ドル（約470万円）を超える募金が集まりました。「第1回ラン・フォー・ギフト・オブ・ライフとロータリートライアスロンを、それぞれ5月7日と6月11日に開催しました」と当時会長だったエンジェル・ルーベン“ピン”マルチネス氏は言います。ラン・フォー・ギフト・オブ・ライフでは2,000人を超える参加者が3km、8km、16kmのコースを走り、トライアスロンには345人のアスリートが参加しました。これらのチャリティーレースは、ロータリアンが中心となって長年行っているギフト・オブ・ライフ・プロジェクトに基づいて開催されており、その収益により過去10年間で60件の心臓手術が行われています。

2016年、5,000億本近くのペットボトルが世界中で売られました。さらに、2021年までに20%増加する見込みです。



アルゼンチン

ベルビルアイデアユニダスRCは、100 t近いプラスチックごみ（その大半がペットボトル）から「エコ・ブリック（エコれんが）」を作り、地元の学校や公営住宅、芸術作品、その他建物、また遊び場の舗装に使用しました。原材料が機械により粉碎され、コンクリート混合物へとかき混ぜられ、れんがや敷石になる過程を3人の会員が定期的に監視します。2011年に始まったこのプロジェクトでは、リサイクル用のごみ収集への協力を地元の高校生に呼びかけ、地域住民の環境保護に対する意識が高まってきました。



ニュージーランド

オークランドの子どもセンターで、44年間使われてきた砂場遊び用パワーショベルが廃棄されることを新聞で知ったノースハーバーRC会長のデイヴィッド・ハッチソン氏は、捨てられたパワーショベルを入手、その部品を利用しながらもねじやくぎは使わない、安全なパワーショベルを作りました。

その6年後、今度はハッチソン氏は彼のクラブの50人いる会員の半数以上の仲間と共に、就学前児童施設のために30台のパワーショベルを何千時間もかけて製作しました。木材、ナット、ボルト、レーザー加工のバケツやペンキなどの材料のほとんどは寄贈によるもので、作業場も提供してもらい、近隣のロータリークラブからの支援も受けました。

ハッチソン氏たちの試みは子ども用の建設道具作りにとどまりません。2017年半ばまでに、20以上の「水の壁」を改修するプロジェクトに着手。鋼でめっきした合板に色とりどりのじょうごや傾斜台、磁石を取り付けました。水の壁で水の流れを自由に変えることで、子どもたちの工学の才能やチームワークが開花します。「ロータリアンも大いに楽しみましたよ」とハッチソン氏は語ります。

—ブラッド・ウェーバー

日本のロータリー 100 周年実行委員会アンケート調査結果報告

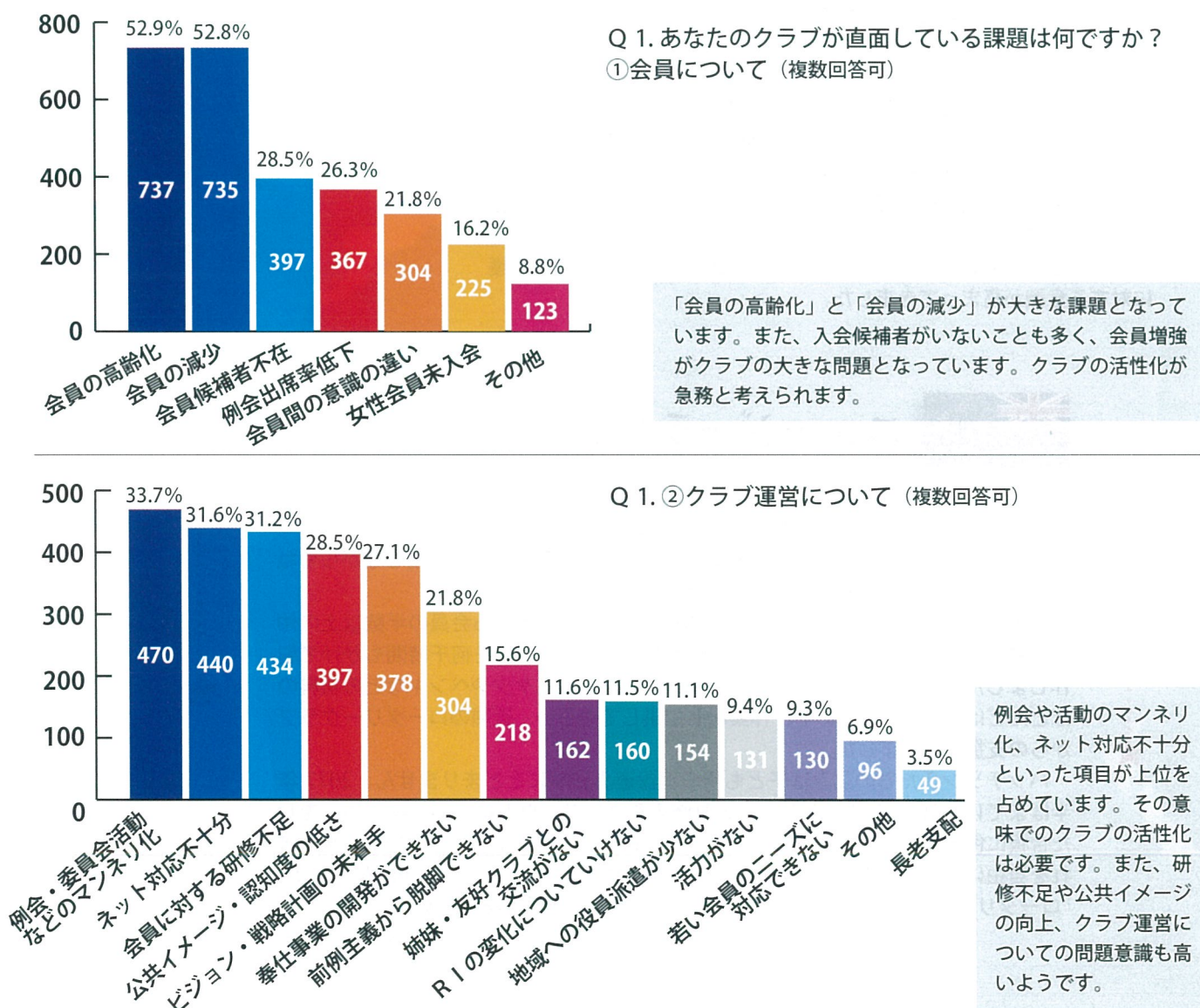
日本のロータリー 100 周年実行委員会委員長 斎藤 直美 (R I 理事)
 日本のロータリー 100 周年実行委員会副委員長 石黒 慶一 (R I 理事)
 日本のロータリー 100 周年実行委員会事務局長 水野 功

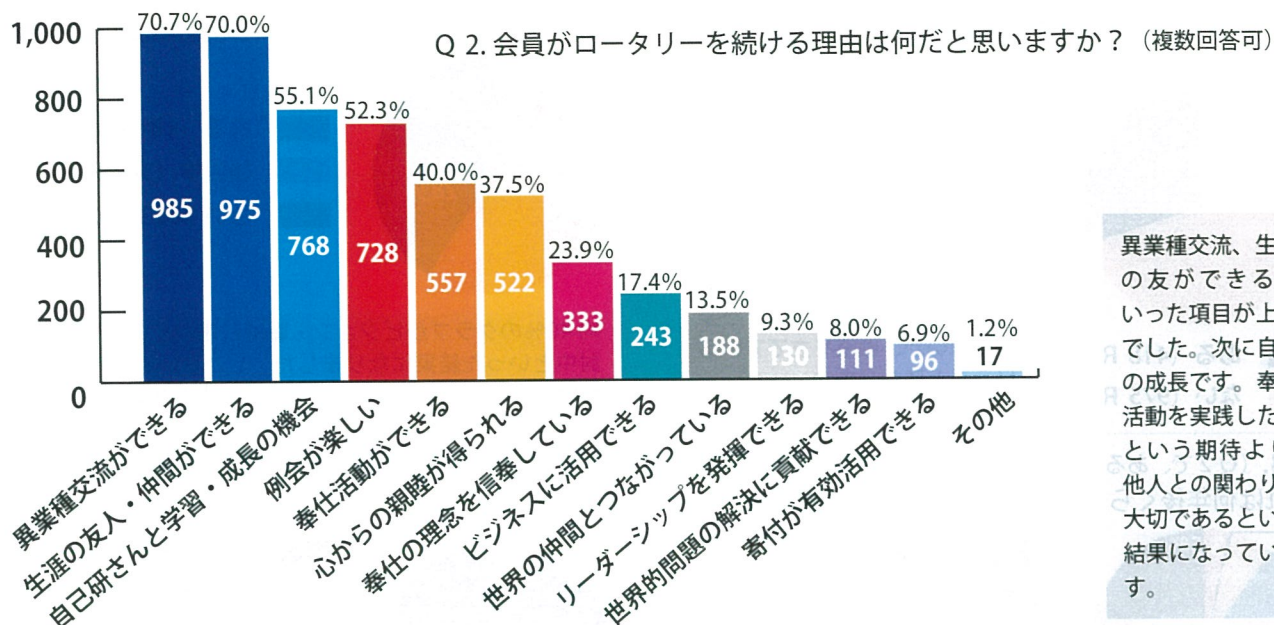
皆さんよくご承知の通り、米山梅吉翁をはじめとする先達のご尽力により、1920（大正 9）年 10 月 20 日に東京ロータリークラブ（R C）が創立されました。2020 年、2 回目の東京オリンピックが開催される年に東京 R C が創立 100 周年を迎えることとなりますが、それは同時に日本のロータリーの 100 周年でもあります。国際ロータリー（R I）理事、元 R I 理事はこの機会を、改めて先達の歩みを顧みながら、日本のロータリーの未来を展望する絶好の機会と捉え、「日本のロータリー 100 周年委員会」（今年度から「日本のロータリー 100 周年実行委員会」に改称）を立ち上げました。

実行委員会では、この 4～5 月に全国 2,264 のロータリークラブに、現状の活動、および日本のロータリー創立から 100 周年を迎えるにあたっての意識について、アンケート調査を実施いたしました。

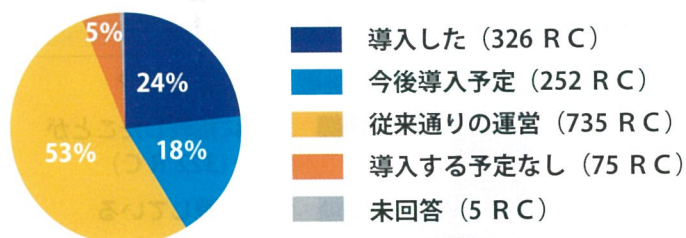
調査は、2017 年 4 月 19 日～5 月 31 日の期間、ウェブアンケート方式にて全国 2,264 クラブ宛てに発信し、有効回答数 1,393 件（61.5%）という大変高い回答率を得ることができました。アンケート内容はクラブの現状と課題、それに 3 つの委員会（ビジョン策定委員会・記念事業等委員会・組織連携委員会）について、4 つの項目で実施いたしました。以下、その結果について要点を絞ってご報告させていただきます。

1. クラブの現状と課題について





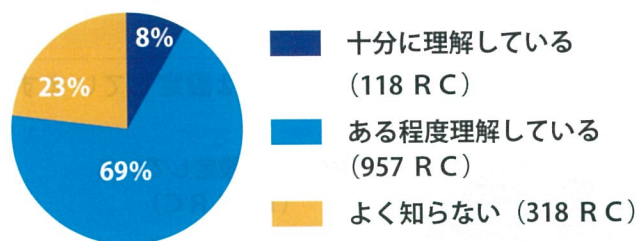
Q 3. 2016 年規定審議会におけるクラブ運営への大幅な柔軟性（例会・出席・会員身分）の導入について、クラブとしてどのように対応しましたか？



規定審議会の変更内容を導入するクラブは42%にとどまりました。この設問での「対応」に解釈が異なるかもしれませんが、保守的なクラブ運営を進めるか、様子を見るクラブが多いという結果となりました。Q1で回答された「マンネリ化」への対応が、規定審議会での柔軟性の導入に結びついているか、検討する必要があります。

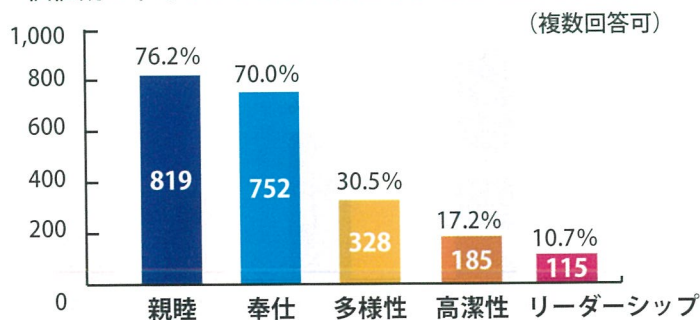
Q 4. ロータリーの戦略計画について

① 戦略計画をご存じですか？



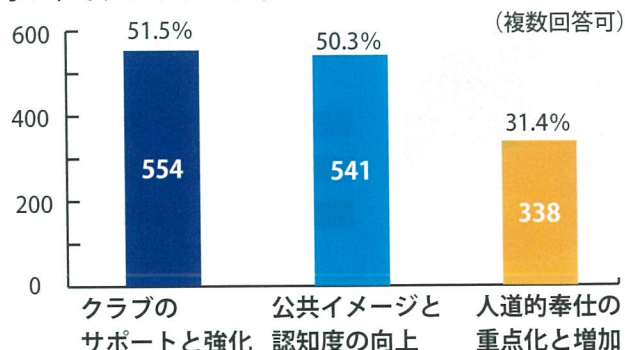
80%近くのクラブが戦略計画について理解しているという結果になりました。しかしながらよく知らないクラブが20%以上あり、ある程度理解しているというクラブの割合も多いため、もっと周知させていく必要があると思います。

Q 4. ② (①で「十分に理解している」あるいは、「ある程度理解している」と答えたクラブへ) 戦略計画が示す中核的価値観の中でクラブが重要視しているものは何ですか？



親睦と奉仕が多い結果となりました。日本のロータリアンは、やはり仲間と接すること、「親睦やクラブ奉仕」を重視していると考えられます。

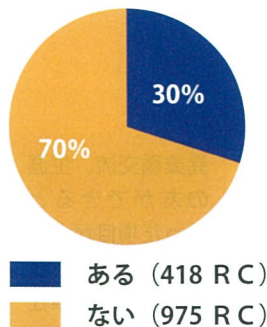
Q 4. ③ (①で「十分に理解している」あるいは、「ある程度理解している」と答えたクラブへ) 戦略計画が示す戦略目的の中で、クラブが重視しているものは何ですか？



クラブのサポートやロータリーの認知度の向上を重要視しているクラブが多い結果となりました。

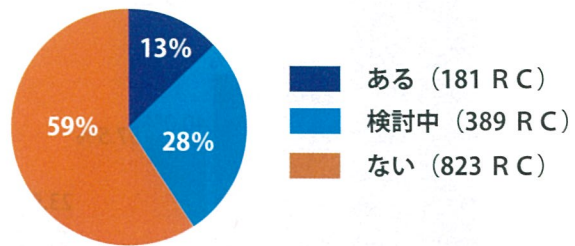
2. ビジョン・戦略計画について

Q 1. クラブに「戦略計画委員会」または「長期計画委員会」はありますか？



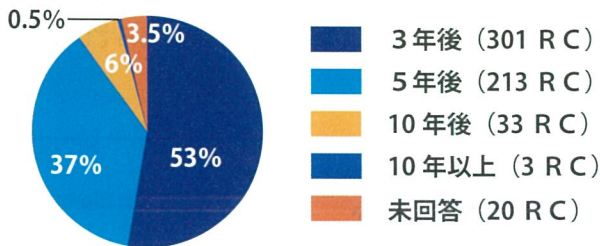
30%しか委員会を設置して、ビジョンや戦略計画について討議しているクラブがないという結果になりました。Q 2によると、戦略計画を設定しているクラブは約40%です。約10%のクラブが委員会はないが、戦略を立てているということになります。

Q 2. 明文化されたビジョン・戦略計画はありますか？



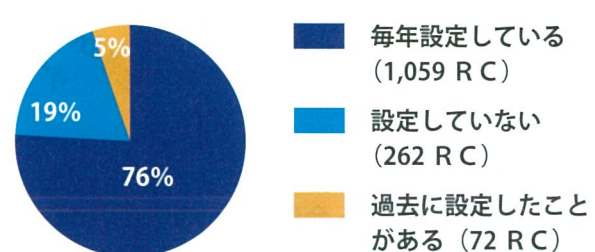
約40%のクラブがビジョン・戦略計画がある、もしくは検討中といった結果になりました。しかし、約60%のクラブが戦略計画を作成していないことが分かりました。

Q 3. (Q 2で、ある、あるいは検討中と答えたクラブへ) それは何年後くらいを視野に入れた計画ですか？



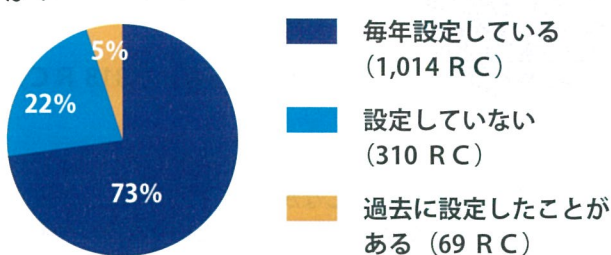
3年後までを視野に入れた計画が多く、短期的に結果を出す計画があるクラブが多い結果となりました。

Q 4. クラブの会員数の数値目標は設定していますか？



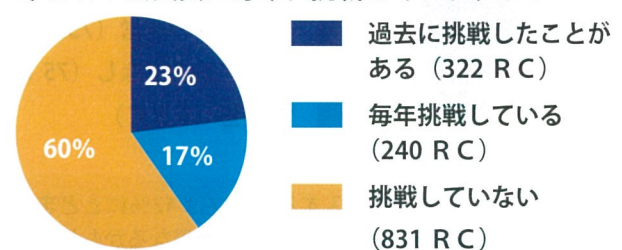
76%が会員数の目標を設定しており、積極的に会員を集めよう(増強しよう)としている傾向が見られます。

Q 5. クラブの寄付額の数値目標は設定していますか？



寄付額についても73%のクラブが目標数値を設定しているといった結果になりました。しかし22%が目標を設定せずに年度運営している事実も判明しました。

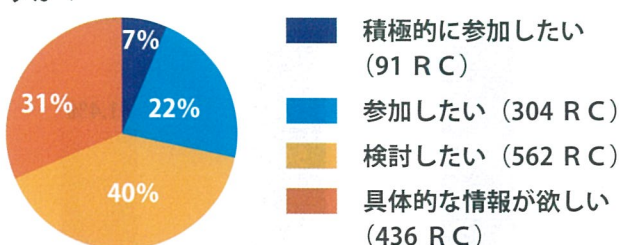
Q 6. RI会長賞に毎年、挑戦していますか？



40%のクラブがRI会長賞に毎年挑戦している、もしくは挑戦したことがあるという結果になりました。割合として、毎年挑戦しているクラブが少ないので、挑戦する意欲を高めることが必要だと考えられます。

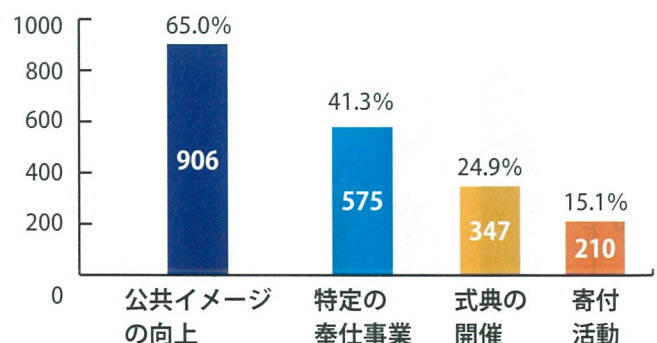
3. 日本のロータリー 100 周年記念事業について

Q 1. クラブでは100周年事業についてどうお考えですか？



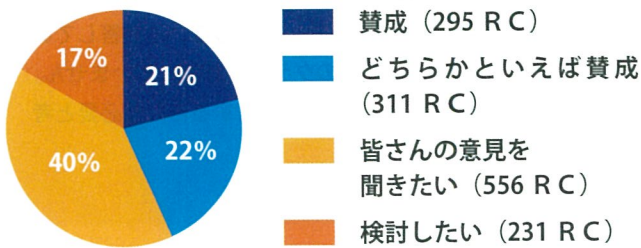
具体的な情報があまり浸透していないため、参加したいと考えているクラブ数は少ない傾向が見られました。情報を周知していくことが必要だと考えられます。

Q 2. 100周年事業として重点的に取り上げるとしたら何が考えられますか？(複数回答可)



6割以上のクラブが公共イメージの向上が必要だと考えています。特定の奉仕事業にも4割のクラブが期待しています。

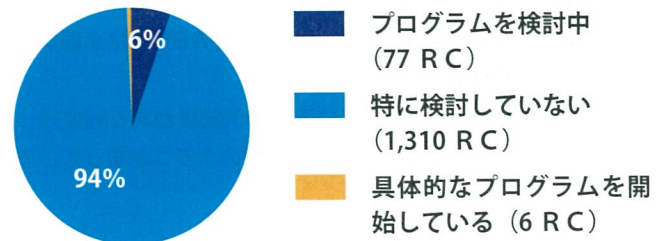
Q 3. 「100 周年の鐘」について意見をお聞かせください。



情報があまり周知されていないためか、他クラブの意見を聞きたいというクラブが多い結果となりました。今後、広報活動が必要かもしれません。しかし、現段階でも賛成が43%あります。

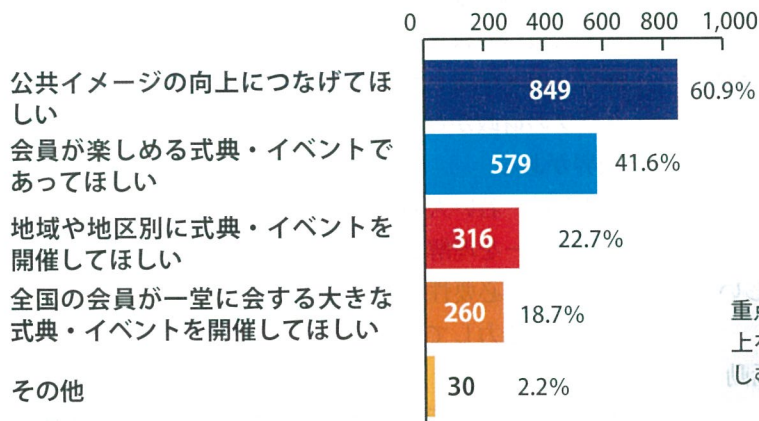
Q 4. 東京で開催のオリンピック・パラリンピックについてクラブのお考えをお聞かせください。

(複数回答可)



東京オリンピック・パラリンピックとロータリークラブを結びつける考えが薄いため、具体的に何かを考えているクラブは少ない結果となりました。今後、必要に応じ、さまざまな形でオリンピック・パラリンピックとロータリー活動をリンクさせる必要があります。

Q 5. 100 周年イベントについて、式典・イベントの規模内容について (複数回答可)



重点的に取り上げてほしい項目と同じで、公共イメージの向上を必要としている傾向にあります。イベントに参加して楽しむ回答が少ないことが気になります。

4. 日本のロータリーの組織について

日本のロータリーの各組織体制について、認知度をうかがいました。

(小数点第一位以下四捨五入)

	よく知っている	ある程度理解している	あまり知らない	知らない
ガバナー会	133 RC (9.5%)	514 RC (36.9%)	509 RC (36.5%)	237 RC (17.0%)
ロータリー文庫運営委員会	130 RC (9.3%)	582 RC (41.8%)	488 RC (35.0%)	193 RC (13.9%)
一般社団法人ロータリーの友事務所	882 RC (63.3%)	469 RC (33.7%)	35 RC (2.5%)	7 RC (0.5%)
特定非営利法人国際ロータリー日本青少年交換委員会 (RIJYEC)	243 RC (17.4%)	637 RC (45.7%)	397 RC (28.5%)	116 RC (8.3%)
ロータリー平和センター	47 RC (3.4%)	254 RC (18.2%)	652 RC (46.8%)	440 RC (31.6%)
全国RYLA研究会	126 RC (9.1%)	542 RC (38.9%)	501 RC (35.9%)	224 RC (16.1%)
全国ローターアクト研究会	127 RC (9.1%)	556 RC (39.9%)	523 RC (37.6%)	187 RC (13.4%)
一般社団法人ROTEX	47 RC (3.4%)	195 RC (14.0%)	565 RC (40.6%)	586 RC (42.1%)
日韓親善委員会	43 RC (3.1%)	206 RC (14.8%)	566 RC (40.6%)	578 RC (41.5%)
日台ロータリー親善会議	50 RC (3.6%)	230 RC (16.5%)	577 RC (41.4%)	536 RC (38.5%)
一般財団法人比国育英会バギオ基金	57 RC (4.1%)	212 RC (15.2%)	588 RC (42.2%)	536 RC (38.5%)
ロータリー希望の風奨学金 (ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会)	140 RC (10.1%)	233 RC (16.7%)	508 RC (36.5%)	512 RC (36.8%)

ロータリーの友事務所

ほぼ全てのクラブが知っていると考えてよいと思います。

R I J Y E C

60%以上のクラブが知っているとの結果です。青少年交換の活動に触れて組織を知っているのだろうと思われます。

ガバナー会、ロータリー文庫、全国RYLA研究会、全国ローターアクト研修会

9%のクラブがよく知っている、40%前後がある程度知っているとししています。つまり約半数のクラブが知っている

という結果です。しかし、研究会、組織によっては、クラブが勘違いしている可能性もあります。

ROTEX、日韓親善委員会、日台親善会議、比国育英会バギオ基金、ロータリー希望の風奨学金

これらの組織は、あまり知らない、知らないと回答しているクラブが多く、約70～80%のクラブが認識していません。必要によっては認知度の向上、理解に対する努力が必要と考えます。

5. その他のご意見について

1. 日本のロータリー 100 周年記念式典などのイベント（鐘を含む）について代表的な意見

- ・形式的なことはやめたほうが良い（鐘も含めて）
- ・鐘を巡回させる意味が分からない。費用対効果が不透明
- ・公共イメージの向上に努めて、100周年を祝う（100周年以外にも、公共イメージ・認知度の向上を望む意見多数）
- ・イベントにお金を費やすのであれば、寄付や奉仕活動に充ててほしい
- ・100周年を記念したバッジやバナーを作製してほしい（同様の意見多数）
- ・オリンピック、特にパラリンピックに対する支援活動（インターアクター、ローターアクターによるボランティアでの参画など）

2. 日本のロータリーの組織について

- ・情報発信が足りない。よく知らない組織が多い
- ・各団体の意義は分かるが、必要最小限に整理する時
- ・ロータリーの組織が肥大化して、分からないことが増えた
- ・分担金・寄付などを含め、一人当たり年間10万円近くかかっており、大切に使ってほしい
- ・各組織とその活動内容がひと目で分かる一覧表がほしい
- ・ガバナー会の趣旨、議論の内容を知りたい

3. ロータリー財団・米山記念奨学会に対する意見

- ・寄付ではなく、会費の一部と考えている
- ・各会員の意識に温度差がある
- ・米山奨学生の出身国に偏りがある
- ・趣旨をよく理解し、積極的に協力する会員が少なからずいる
- ・日本国内の貧困問題に目を向ける必要がある。世界の

学生に目を向けることも重要だが、日本国内の若者を支援する必要がある

4. クラブ運営、会員の課題と会員を継続する理由

- ・若手会員への教育、新旧会員の融合
- ・外部（地区や他クラブ）との関わりが薄い
- ・クラブの財政がひっばく。運営費が少ないため活動に限界がある
- ・女性会員、若い人の入会が少ない
- ・ロータリーを理解しようとしていない会員が存在する
- ・戦略計画の必要性を理解していない
- ・全会員が協力して運営できている（反対のクラブも散見）
- ・地区の集まりに行くと魅力ある人との出会い、刺激を受け学ぶことができる
- ・ロータリークラブにすることがステータス

5. 本アンケートに対する評価

- ・全国のロータリークラブの意識調査として大変良い。定期的に実施してほしい
- ・アンケートの結果を知らせてほしい
- ・ロータリーの組織と運営について、知らなかったことが多いので驚いた
- ・アンケートを今後の運営に役立ててほしい
- ・アンケートの意味が分からない。日本のロータリー100周年を祝うこととオリンピックとの結びつきが分からない

それぞれの項目で、代表的な意見をなるべく偏らずに列挙させていただきました。

これらのアンケート結果については、後日、詳細を各クラブ宛てに発信する予定です。多くのクラブの方々のご協力に改めて感謝申し上げ、ご報告とさせていただきます。

NEW GENERATION

—— ニュージェネレーション

縁あってロータリーに触れた若者たち。彼らはいま、何を思い、どんなことに挑戦しているのでしょうか。

新しいことを知りたい

元青少年交換学生 森原 遙

今、私が夢中になっているのは、新しいことを知ることです。分野を問わず、新しい知識を吸収し、知識の体系を作り上げていくことは、高校生という肩書のある今しかできないという思いがあります。

現在の日本の教育システムでは、高校で文系と理系の選択を迫られ、振り分けられてしまいます。私は幼い頃から医師になりたいという夢を持っていたので、それを実現させるためという観点から理系を選択しまし



たが、歴史、美術史といった文化的なこと、また英語をはじめとする言語関係など、通常文系とされる分野にも興味があります。そしてこの興味、関心を持ち続けていきたいとも思っています。

今夏、短期青少年交換学生としてオーストラリアに滞在し、見聞を広めることができました。しかし、このプログラムに応募するに当たって、自分が理系を選択したことから、高2の夏休みを英語の向上に割くことには迷いがありました。今は派遣期間を終え、ホストファミリーをはじめ、たくさんの人とつながりを持てたことを誇りに思い、^{みじん}微塵の後悔もありません。さらには自分を枠にはめずに、目を大きく開いておくことの大切さを学びました。これからもこの姿勢を忘れず、自分に制限をかけずに、自らの世界を広げていきたいと考えています。

熊本県立人吉高等学校2年生。第2720地区短期青少年交換学生として、2017年7月20日～8月27日、オーストラリア・キャンベルタウンへ派遣（スポンサークラブ：人吉中央RC、ホストクラブ：第9675地区・キャンベルタウンRC）。熊本県人吉市在住。

豊かな国際関係を作りたい

米山奨学生 スヌワル・ディペントラ

ネパール出身の私は、2013年に留学で日本に来ました。当時、もっと知識をつけたいと、先進国に留学することを決めました。日本はネパールと同じアジア圏で、容姿やコメを中心とした食文化など、共通するところもあるので親近感があつたし、季節や地相もネパールと似ているので、勉強しやすいと感じて日本を留学先を選びました。来日してから5年目に入ります。

勉強とともに、生活のためアルバイトをしながら、この長い留学期間中にさまざまな経験ができました。その経験を通じて一番よかったと思うことは、人のネットワークが広がったことです。母国で外国人との交流が少なかった私にとって、日本留学がきっかけで、他の国の人と付き合うことができました。大学や米山記念奨学会を通じて、日本人だけではなく、タイ人からアメリカ人ま

で、アジア、ヨーロッパ、アフリカの友達ができ、自分のネットワークがグローバルに広がったように感じます。交流を通じて異文化への理解を深めるとともに、コミュニケーション能力も向上できたと思います。

大学で学んだことと一緒に、グローバルなネットワークを将来の夢に絡めて、豊かな国際関係を作りたいと考えています。



スヌワル・ディペントラさん（左）

ネパール出身。米山奨学生。スポンサークラブ：越谷南RC。埼玉大学環境システム工学系専攻・修士課程2年生。趣味はスポーツ（特にサッカーとクリケット）。埼玉県在住。

●皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者（現役、学友どちらも可）を『友』編集部にご推薦ください。記入用紙は『友』ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp からダウンロードできます。



今月は数独。ロータリーのことはよく分からない、という人もご心配なく。パズルは一般的な問題で、ご家族の方にも楽しめます。

さて、今回の答えは、ロータリーの何の数字になるでしょうか。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

①まだ数字の入っていないマスに1から9までの数字のどれかを1つつ入れましょう。

0（ゼロ）は使いません。

ルール

②タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（9つあります）のそれぞれに、1から9までの数字が1つつ入るようにします。

		2			3			9
	6			8		2		
1			4				3	
6			9				1	
		7		3		4		
	2				6			8
	7				5			6
		9		2			4	
4			8			7		

二重枠に入った文字をA B Cの順に並べてできる3桁の数字は？



毎月10人にロータリーの友名前入り針なしステープラーをプレゼント!!



※色はお選びいただけません。

◆ 応募方法 ◆ 郵便はがきに、①「11月号の答え」 ②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事 をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階（一社）ロータリーの友事務所P係までお送りください。②～③の情報、および④に関する回答は、誌面企画の参考と、10月号から始まった「声」欄に転載させていただくことがあります。会員以外のご応募も大歓迎です。

◆ 締め切り ◆ 2017年12月11日（月）必着

「パズル de ロータリー」(8月号)の答え

8月号の答え 「34」



日本にある地区の数であるほか、世界のゾーンの数でもあります。ゾーンとは国際ロータリー（R I）会長指名委員とR I理事指名委員を選ぶ必要上、R I理事会が編成したクラブの集

9	4	7	8	5	2	6	1	3
3	1	5	7	9	6	8	4	2
2	6	8	1	3	4	9	7	5
8	3	9	6	2	1	7	5	4
5	7	1	9	4	③	2	6	8
6	2	4	5	7	8	1	3	9
4	8	2	3	1	7	5	9	6
7	5	3	2	6	9	4	8	1
1	9	6	④	8	5	3	2	7

団のことです。ゾーン内の会員数が等しくなるよう、ほぼ8年に1度見直しが行われます。今年1月、新しいゾーン構成が採択されました。詳細はR Iのホームページをご確認ください。

www.rotary.org/ja/rotary-board-adjusts-zones

応募総数 198人 正解者 196人

当選者（敬称略・順不同）／吉田麻耶（東京新都心RC）、富田一彦（横浜西RC）、中川壮平（西宮恵美寿RC）、鈴木公章（寒河江さくらんぼRC）、野村政弘（岡崎東RC）、鈴木幹久（川崎大師RC）、牧野政雄（豊橋ゴールデンRC）、田邊彰宏（中頓別RC）、幸増浩一郎（大田RC）、西岡秀朗（徳島プリンスRC）

来月のパズルは、クロスワード。お楽しみに！

CLUB INNOVATION

カリフォルニア州
フェアオークスRC

会員数：83人
新会員 2017年：11人
2016年：6人
2015年：13人



沿革：

1946年創立。近くのアレンジヴェールRCと共にリトルリーグチーム・ロータリーリバードッグのスポンサーをしています。公園の整備や道の清掃、毎年のカニ食べ放題のイベントも主催。クラブの基金を使って、児童に辞書を配布したり、地元の高校の卒業生のために弁論大会を主催して賞金を与えたり、フェアオークス劇場フェスティバルで使われる円形劇場の改修に資金を提供しました。

メアリー・ケイト・ガスタフソン-クワイエット氏は、2015年にロータリーに入会した時から、新会員がクラブにとどまる方法を考えていました。彼女は会員増強と聞けばクラブの理事会に出席し、意見を出し合いました。新会員のためのグループがあるクラブがあることを知り、クラブに会員維持に力を入れようと、自クラブにも率先して「ハネムーングループ」をつくりました。名前の由来は「結婚して最初の年をハネムーンというからです。新会員にとってロータリーのハネムーン期間です」と、ガスタフソン-クワイエット氏は説明します。

このグループは楽しみと親睦のためにあると、ガスタフソン-クワイエット氏は強調します。「私たちのクラブは会員数83人という、かなり大きなクラブです。このため、新会員は多くの人の中で戸惑いを感じるがよくあります。私たちは、新会員同士がお互いに知り合ってもらおうの

がよい方法であると思いました」。また、デニス・ダンバー氏は言います。「このグループは新会員の純真な熱意と、教育や参加を通してクラブの価値や目標の理解のための懸け橋です」。

グループを結成して最初の年度末、多くの会員がロータリーを続けたい



上：会員は、がん研究の資金を集めるために活動します
下：小さな無料図書館を塗装

THE ROTARIAN 11月号から

新会員のための グループが心から歓迎

イノベーション：

このクラブは、新会員のために「ハネムーングループ」を始めました。その目的はアイデア、関心、疑問、略語への戸惑い、その他新会員が経験する全てのものを共有すること。入会2年以内の会員によって構成されるこのグループは、ロータリーについて学ぶための場所ではありますが、親睦と楽しむことに重きを置いています。

と願うほどに成功しました。そのため、グループの入会期間を2年に変更。そうすることでグループに連続性を与えることができます。もちろん、継続は任意です。

会員は会合を持ち、食事を取りながら他の新会員と打ち解けることから始まります。

親睦に加えてこの集まりは、新会員が新しいアイデアを実際に試してみる機会を提供します。「ロータリアンの経験はすべて、少し威圧感を与えるものになってしまうことがあります。新会員の仲間同士なら、気兼ねなくアイデアを出し合い、この小さなグループが何を考えているのかを理解することができます」とガスタフソン-クワイエット氏は述べます。

ハネムーングループでは、自分たちの集いにクラブ会長など経験豊かなロータリアンを誘うこともあります。「例えば私は、ロータリー財団とクラブ基金について議論しようと、前年度の理事会メンバーを招きました。このようなクラブ教育に力を入れて取り組むことは、会員がクラブ運営に関わることを奨励するために重要です」とダンバー氏は言います。

グループは、新会員がクラブに慣れるのに役立ちます。「私たちは、何度か例会を担当しました」と、ガスタフソン-クワイエット氏はハネムーングループを先導していた時のことを語ります。「私たちは、例会の企画をしたのです。ハネムーングループの集会です」

ダンバー氏は、このグループが新会員とクラブに役立っていると考えています。「新会員は、クラブへの疑問に対して、グループ全体で首尾一貫した答えを得ることができます。この教育プロセスによって、彼らがクラブへなじむのが早まり、より早く私たちのプロジェクトやイベントに参加できるようになります。また、ハネムーングループから出た良いアイデアを得ることができます。この力は、フェアオークスRCが進めるプロジェクトと会員増強を強化します」

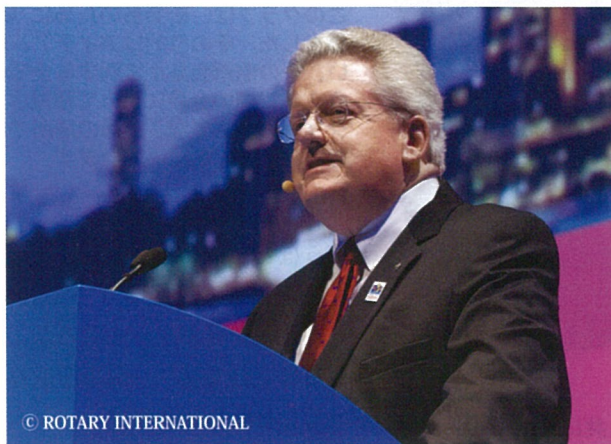
あなたのクラブはどのような革新的な
取り組みを図っていますか？

hensyu@rotary-no-tomo.jp までお知らせください。



2019 - 20 年度国際ロータリー会長 にマーク・ダニエル・マローニー氏

2017 - 18 年 度
国際ロータリー（R
I）会長指名委員会
は、2019 - 20 年度
R I 会長に、アメリカ・
アラバマ州のジケー
ター・ロータリークラ
ブ（R C）所属のマー
ク・ダニエル・マロー
ニー氏を選出。2017
年 10 月 1 日までに対



抗候補者が出なかったため、会長ノミ
ニーとして宣言されました。

「クラブはロータリーの心臓部であ
り、ロータリーのあらゆることはクラ
ブで起こる」とマローニー氏。弁護士
であるマローニー氏は、草の根レベル
でクラブをサポート・強化し、奉仕を
大切にする会員制組織としてのロータ
リーの文化を守り、成長のために地域
別の新たなアプローチを試みたいと考
えています。

「ボリオが撲滅されれば、ロータリー
が大きく認知され、多くの機会が訪れ
るでしょう」。そう語るマローニー氏
は、世界でよいことをするグローバル
な組織としてロータリーが世界を先導
する立場になれる可能性があると考え
ています。

税法、遺産、農業法を専門とする
Blackburn, Maloney, and Schuppert
法律事務所の社長であるマローニー氏
は、アメリカ南東部・中西部の大手農
場経営者の顧問弁護士であるほか、ア
メリカ弁護士協会の農業関係委員会の
委員長を務めています。また、アメリ
カ弁護士協会とアラバマ州弁護士協
会、アラバマ州法律協会の会員です。

地元ジケーターでも熱心に活動し、
自身が所属する教会の財務委員長、地
元カトリック学校理事長、ジケーター

モーガンカンントリー商工会議所の会頭
を務めています。

1980 年にジケーター R C に入会し
て以来、R I 理事、財団管理委員と副
管理委員長、ジョナサン・マジアベ
R I 会長（2003 - 04 年度）のエイ
ドを務めました。また、規定審議会の

議長と副議長のほか、2004 年大阪国
際大会委員会のアドバイザー、2014
年シドニー国際大会の委員長も務めま
した。ガバナーとなる前には、研究グ
ループ交換（G S E）のチームリーダー
としてナイジェリアに赴いた経験もあ
ります。

ロータリー財団関連では、未来の夢
委員長、ロータリー財団地域コーディネ
ーター、財団研修セミナーのモデ
レーター、恒久基金米国アドバイザー、
平和センター委員、W A S H（学校で
の水・衛生）委員会のアドバイザーを
歴任しました。

同じ法律事務所の弁護士であり、ジ
ケーター R C の元会長でもあるガイ夫
人とともに、ポール・ハリス・フェ
ロー、メジャードナー、遺贈友の会会
員となっています。

なお、R I 会長指名委員会の委員
として、日本からは渡辺好政氏（第
2690 地区 児島 R C）が出ています。

ロータリー財団の賞： 日本国内受賞者リスト

2016 - 17 年度ロータリー財団特
別功労賞とロータリー財団功労表彰状
の受賞者をお知らせします。特別功労
賞はロータリー財団の最高の賞で、地
区レベルを超えた、長年にわたる受賞

者の貢献をたたえるものです。この賞
は、功労表彰状の受賞後 4 年が経過
したロータリアンを対象としていま
す。功労表彰状は、1 年以上にわたり
ロータリー財団のために積極的な奉仕
を行ったロータリアンに贈られる賞で
す。この賞は、ロータリアンなら誰で
も推薦できますが、ガバナーの承認が
必要です。（敬称略）

特別功労賞

第 2690 地区 延原 正（岡山南）
第 2770 地区 岩渕 均（浦和）
第 2820 地区 佐藤 衛（水戸南）

功労表彰状

第 2550 地区 中谷 研一（足利東）
第 2580 地区 浅川 皓司（東京王子）
第 2650 地区 富田 謙三（京都）
第 2690 地区 伊藤 文利（倉吉）
第 2710 地区 井内 康輝（広島南）
第 2760 地区 中林 正人
（名古屋空港）
第 2770 地区 渡邊 和良（浦和北）
第 2830 地区 山崎 淳一（五所川原）

2016 - 17 年度

アーチ・クラフ・ソサエティ入会式

国際ロータリー第 6 代会長、アー
チ・クラフにちなんで名付けられた
「アーチ・クラフ・ソサエティ」は、
ロータリー財団で最高に荣誉ある認証
です。累積で 25 万ドル以上を寄付し
た人をメンバーとして迎えます。ロー
タリー財団 100 周年を祝う 2016 -
17 年度中に、第 2770 地区 田中徳
兵衛・州子夫妻（川口 R C）を称えて
アーチ・クラフ・ソサエティの入会
式が行われました。

この寄付は、健康の改善や教育の支
援、貧困解消を通して、世界理解、親
睦と平和を推進するために活用されま
す。

ソサエティの入会式は、R I 世界本
部で他の入会者と一緒に 2 日間にわ
たるセレモニー、ロータリー研究会、
国際協議会の前の晩餐会、国際大会の
特別晩餐会などで行われます。

経済平和研究所との

戦略的パートナーシップを締結

「平和」とは何を意味するのか。平和であることを測定するのは可能か。平和を助長するものは何か、そしてロータリーは平和のために何ができるか。

これらの問いに答えるため、ロータリーは、平和と紛争解決の研究でリーダー的な存在である経済平和研究所 (Institute for Economics and Peace) との戦略的パートナーシップを締結しました。

同研究所は、平和な社会をつくり、維持するために必要な行動、組織、構成を特定・測定する「positive peace (積極的な平和)」という概念の枠組みを構築した先駆者です。強固なビジネス環境、適切に機能する政府、情報の自由な交換などが含まれます。

このパートナーシップを通じて、ロータリーは同研究所と以下を行うことを予定しています。

- ・オンラインの学習プラットフォームの構築：ウェビナーやインタラクティブツールを導入し、ロータリー会員やロータリー平和フェローが専門知識を深める一助とします。新しい平和構築法を導入する方法や、紛争の根底にある課題に対処するために地域社会の人材を導入する方法などを学ぶことができます。
- ・積極的な平和のワークショップ：世界中のロータリークラブが、グローバル補助金を利用して積極的な平和のフレームワークに関する研修を提

供するためのワークショップを実施します。実践的で意義のある平和と紛争解決プロジェクトの各地での実施を促すことを目的としています。

このパートナーシップは、ロータリー会員、平和フェロー、その他の人たちが、より充実した平和プロジェクトを立案・実施し、幅広く平和を推進することを可能とします。これは、世界中の地域社会で人道的な課題に取り組むというロータリーの目的にとって非常に重要です。

ロータリー「平和の推進者」

6人が選ばれる

ロータリアンとロータリー平和センター学友である6人が「世界を変えようとする行動人：平和の推進者 (People of Action: Champion of Peace)」に選ばれ、9月21日の「国際平和デー」で発表されました。平和構築と紛争解決に力をささげる6人は、11月にスイスの国際ジュネーブ事務局で開かれる「国連でのロータリーデー」で表彰されます。

選ばれた6人は、貧困、不平等、民族間の緊張状態、教育機会の欠如、資源利用の不均衡といった、紛争の温床となる問題に取り組むプロジェクトに関わっています。

選ばれた6人のうち、ティラー・スティープンソン氏は、東京にある国際基督教大学のロータリー平和センターの卒業生。インド・プネのごみ収集者の衛生状況を改善するグローバ

ル補助金プロジェクトを立案しました。毎日20 t分のむき出しの衛生廃棄物（おむつや使用済注射器など）を扱うごみ収集者のために、SWaCH（ごみ収集者共同組合）と協力して「Red Dot」キャンペーンを開始。衛生廃棄物を新聞紙や袋に包んで赤い印（Dot）をつけることを人々に呼びかけています。

このキャンペーンにより、ごみ収集者は衛生廃棄物に直接触れることなく適切に仕分けできます。スティープンソン氏はこのキャンペーンのための啓発用資料を作成したほか、無料の研修スペースや資料の印刷などの無償サービスを提供する上でも貢献。現在、世界平和指数 (Global Peace Index) の大使としても活躍しています。

国際大会

トロント周辺の見どころ



2018年6月23～27日にかけて、ロータリー国際大会でカナダ・トロントにお越しになるなら、トロント周辺の観光スポットを見逃す手はありません。時間に余裕のない方にお勧めのスポットをご紹介します。

メトロ・トロント・コンベンションセンター (MTCC) から北西に1マイル（約1.6km）ほど行くと、ブティックやレストランでにぎわうクイーンウエストに着きます。バーストストリートを渡れば、ギャラリーやライブも観られるバーが何軒も立ち並ぶウエスト・クイーン・ウエストです。

そのすぐ近くにあるチャイナタウンはリーズナブルな家庭用品や果物、野菜を買い求める人たちににぎわいます。特に、点心やギョーザが大好きなら、レストランもお勧め。



(写真左) 経済平和研究所の創設者兼会長のスティープ・キレリー氏。(右) 新しくロータリーのパートナーとなった経済平和研究所では、グローバル補助金を使って、積極的な平和を学ぶワークショップも行います

©ROTARY INTERNATIONAL

チャイナタウンから北西に数分歩けば、歴史あふれるケンジントンマーケット。ビンテージショップや食料品店、食堂などの店舗が軒を連ねます。

国際大会会場からタクシーですぐのディスティラリー地区には、19世紀にウイスキーの蒸留所だった歴史的建造物があり、今はカフェやレストランなどの店が入っています。歩行者天国になっている地域には、北米で最大規模のビクトリア様式の産業建築コレクションが最良の状態で保存されています。

-Randi Druzin

2018年トロント国際大会への登録は、www.riconvention.org から。

今後のR I 国際大会 (予定)

2018年6月23～27日

カナダ・オンタリオ州トロント

2019年6月1～5日

ドイツ・ハンブルク

2020年6月6～10日

アメリカ・ハワイ州ホノルル

2021年6月12～16日

台湾・台北

2022年6月4～8日

アメリカ・テキサス州ヒューストン

統計

全世界ロータリアン総数
1,220,185人

クラブ数 35,727 クラブ

地区数 539 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 242,949 人

クラブ数 10,563 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 511,796 人

クラブ数 22,252 クラブ

国と地域 150 以上

2017年8月31日現在

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

RI 指定記事

ロータリー財団管理委員長の思い

皆さまの努力と実績に感謝！

2017-18年度ロータリー財団管理委員長 ポール A. ネットゼル



数カ月前、私は「管理委員の仕事とは何か」という問題提起をしました。そこで考えたの

は、管理委員の大事な役割は耳を傾けることです。ロータリー財団月間である今月、皆さまは多くのことを語り、そしてその声は届いていることをご報告できるのをうれしく思います。

急逝されたサム F. オオトリ R I 会長エレクトは、ロータリアンには「変化を起こそうという信じられないほどの情熱」があると述べ、「あらゆるプロジェクトが平和と繁栄をもたらす原動力となるように、熱意とプライドを生かす」ことを望んでいました。

皆さまからのお手紙、報告書、そして素晴らしいストーリーからは、「持続可能な変化を起こすためにロータリアンが一致団結して行動を起こす世界」というサムのビジョンを、世界中で、地域社会の中で、私たち自身の中で、共有していることが分かります。昨年は、新たに給付されたグローバ

ル補助金と地区補助金の数が増加し、ロータリー平和フェローシップの申請者数が再び記録を塗り替えました。また、寄付金の総額も伸び、「世界を変える行動人」としての活動への皆さまの情熱が示された結果となりました。あらゆる活動において継続性をもたらしてくれたクラブと、地区のリーダーの皆さまに、特に感謝の意を申し上げます。

Association of Fundraising Professionals (ファンドレイジング協会、AFP) の国際大会でロータリー財団が World's Outstanding Foundation (世界の卓越した財団) に選ばれたのは、皆さまの活動が世界を変えていると認められた証しです。AFP の委員会は、選んだ大きな理由として、大々的なポリオ撲滅活動を挙げています。

ベネファクター、遺贈友の会会員、そしてあらゆるレベルのメジャードナーの皆さまにご協力感謝いたします。皆さまからのご支援が、ロータリーの今後を支える財政上の安定性を築いているのです。私たちの恒久基金が成長し続けるのは、皆さまが財団に信頼を寄せ、絶えず進化し続けるプログラムのおかげ

です。2025年までに寄付と誓約で20億2,500万ドルの資金を集めるという「恒久基金：2025年までに20億2,500万ドル」構想は順調に進んでいます。

皆さまの途絶えることのない努力とこれまでの数々の実績に、一人のロータリアンとして、心から感謝いたします。皆さまのように情熱的で献身的なロータリアンの友人から学び続けることができることこそ、ロータリーで主要なリーダーの役職に就くことの大きな特典です。

共にロータリー財団月間を祝いましょう。

感謝の意を込めて。

Paul A. Netzel

Paul A. Netzel
財団管理委員長

“平和”をどう定義しますか？
Paul.Netzel@rotary.org まで
ご意見をお寄せください。

ROTARY お知らせ

新クラブ

吉川中央 (2770・埼玉県)

2017年9月14日承認 No.2401

会員数: 20人

例会日: 第1・3 木 12:30

例会場: 福寿家

事務所: 〒342-0036 埼玉県吉川市

高富1-26-4 立澤電工内

会長: 名倉勇 幹事: 立澤利夫

ロータリー衛星クラブ

東京池袋NEXT (2580・東京都)

スポンサークラブ: 東京池袋

2017年9月12日認可

会員数: 8人

例会日: 第2火・第4金 20:00

例会場: 高田馬場会場

事務所: 〒171-0021 豊島区西池袋

2-36-1 ソフトタウン池袋714

議長: 笹田優一 幹事: 多田真理

『友』誌で購読数変更 についてお願い

- ①今年度『友』誌下半期分(2018年1~6月号)の減部については、2017年12月5日までに直接、友事務所へのご連絡をお願いします。
- ②1月号の発行部数決定や発送準備の都合上、12月6日以降の1月号の減部は、ご容赦ください。
- ③12月6日以降の会員数変動による減部は、2018年1月10日までにご連絡いただければ、「2月号~6月号」の減部として対応いたします。
- ④1月11日以降にご連絡いただいた減部はすべて、次年度7月号からになりますので、ご了承ください。
- ⑤追加購読のお申し込みは、残部がある限りお受けいたします。
- ⑥部数変更のご連絡がない場合には、2017年12月号と同じ部数を送付させていただきます。

定価 200円+消費税(送料込)

地区別クラブ数・会員数一覧表

(2017年8月末現在)

地区	R C 数	会員数	16年8月末 会員数
第2500地区	67	2,308	2,318
第2510地区	69	2,629	2,580
第2520地区	79	2,294	2,312
第2530地区	66	2,420	2,417
第2540地区	42	1,133	1,138
第2550地区	51	1,744	1,732
第2560地区	56	2,127	2,134
第2570地区	51	1,650	1,651
第2770地区	73	2,585	2,620
第2790地区	83	2,826	2,797
第2800地区	50	1,617	1,647
第2820地区	55	1,982	1,986
第2830地区	41	1,207	1,193
第2840地区	46	2,112	2,087
第2580地区	69	3,095	3,052
第2590地区	57	2,068	2,077
第2600地区	55	1,975	1,995
第2610地区	64	2,680	2,665
第2620地区	79	3,062	3,031
第2630地区	76	3,171	3,123
第2750地区	99	4,804	4,875
第2760地区	84	4,884	4,838
第2780地区	66	2,362	2,330
第2640地区	69	1,903	1,936
第2650地区	97	4,651	4,651
第2660地区	82	3,648	3,631
第2670地区	74	3,030	3,001
第2680地区	73	2,824	2,856
第2690地区	66	3,081	3,096
第2700地区	61	3,199	3,183
第2710地区	73	3,321	3,348
第2720地区	75	2,454	2,392
第2730地区	65	2,386	2,375
第2740地区	57	2,264	2,235
34地区合計	2,270	89,496	89,302

日本のロータリー

会員概数 89,214人

クラブ数 2,261

(左の表中34地区合計から、第2750地区のPBグループを引いた数です)

ガバナー月信より 2750クラブ数・会員数は、PBグループ9RC 282人(北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ)を含みます。P6「日本のロータリー」数は34地区合計からPBグループを引いた数。16年8月末PBグループ9RC会員数292人。

修正 会員数修正: 本誌10月号横組みP35(7月末)表中、2530・2,401人、2780・2,358人、34地区合計会員数: 89,093人、表外とP6「日本のロータリー」最終行会員数: 88,811人。

*『友』ウェブサイトの「ロータリー資料館」にデータ修正後の表を掲載。
*第2520地区の数値は震災につき概数。

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友

12月号主要記事予定

横組み 特集 奉仕活動に見る時代の移り変わり

縦組み 人はがんとどう向き合うのか?

(公財)日本対がん協会会長 垣添忠生

クラブを訪ねて 奈良大宮RC



ご投稿・お問い合わせは

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

一般社団法人ロータリーの友事務所 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp 経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp

『友』に投稿しませんか

——『ロータリーの友』投稿規定——



私の一冊 7月号から ★

会員おすすめの本（入手可能な市販書籍）を紹介。書籍名、作者名、出版社、発行年と推薦文（320字以内）。

声 10月号から ★★

友誌についての感想・意見を200字以内で紹介。対象記事名を明記（2017年7月号から）。発行月翌月の10日が締め切り。掲載は10月号から。

友愛の広場 ★★

エッセーや、海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付。

わがまちの味 ★★

わが町自慢の郷土料理、個人的な思い出の味などを紹介。食べ方、由来など100字以内の説明文に料理そのものの写真をお送りください。

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

1か月に1人はがき1枚に3句（首）まで。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を記入。選者の方のご都合もあり、メール投稿はお受けできません。

ロータリー・アット・ワーク写真編 ★★

ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を写真で紹介。

写真と150字程度の説明文。必ず活動日を入れてください。活動後1か月以内にご投稿ください。字数を超える場合は編集させていただきます。

★…『友』ウェブサイトから記入用紙をダウンロード可 ★★…『友』ウェブサイトの投稿フォームから投稿可

原稿について

- ・ Eメールの場合、件名欄に所属クラブ名を、メール本文には原稿についての窓口となる連絡先（電話番号）を必ず明記し、原稿と写真データを個別に添付送信を。
- ・ 郵送の場合、パソコン作成原稿はCD-Rなどに入れてお送りください。手書き原稿は原稿用紙に。

写真について

- ・ 記念撮影（集合写真）は原則、掲載しません。
- ・ Eメールの場合、JPEGデータ1枚200KB以上の容量で、原稿に貼りつけず送信してください。
- ・ 郵送の場合、デジタルカメラで撮影した写真は、プリントしたものと一緒に必ずデータ（原則JPEG／容量200KB以上）をCD-Rなどに入れ、お送りください。
- ・ フィルムカメラで撮影した写真は、プリントを郵送ください。

ロータリー・アット・ワーク文章編 ★★

ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を文章中心に紹介。活動後1か月以内にご投稿ください。600字以内。関連写真があれば添付を。

パズル de ロータリー

3種類のパズル（クロスワード、数独、スケルトン）を毎月順番に掲載。プレゼント応募の締め切りは発行月翌月の10日。

情報もお待ちしています！

New Generation 7月号から ★

ロータリーのプログラムに参加経験のある10～30代までの若い人（現役・学友）を紹介。推薦対象者（インターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生、ライラリアンなど）について編集部へご一報を。編集部から直接、当人へ原稿を依頼。

『クラブ週報』『クラブ会報』

クラブの『週報』『会報』をご送付ください。「卓話の泉」に掲載するほか、クラブの活動の参考として使わせていただきます。メール配信のクラブは、メーリングリストに『友』編集部 hensyu@rotary-no-tomo.jp を加えてください。

- ・ 要返却写真は、その旨を送付時にお書き添えを。
- ・ 掲載・採否は、（一社）ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部に、ご一任ください。

投稿方法、その他規定は『友』ウェブサイトで！

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



送
り
先

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15

黒龍芝公園ビル 4 階

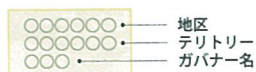
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

Eメール hensyu@rotary-no-tomo.jp

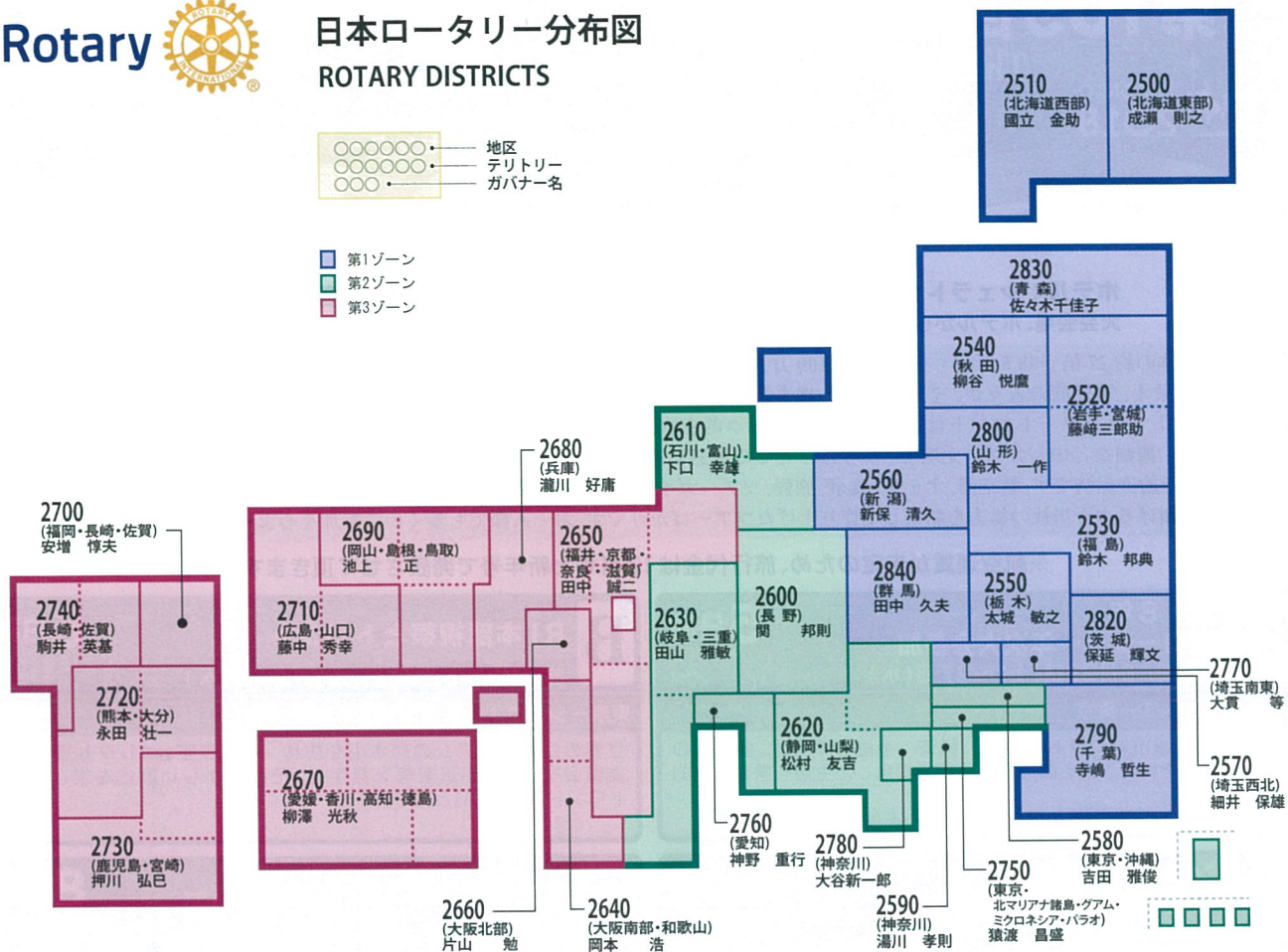
『ロータリーの友』ウェブサイト投稿フォーム
www.rotary-no-tomo.jp/form.php



日本ロータリー分布図 ROTARY DISTRICTS



第1ゾーン
第2ゾーン
第3ゾーン



『ロータリーの友』ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第65巻 11月号

2017年10月31日印刷 2017年11月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

社員 斎藤 直美 (豊田)
石黒 慶一 (鶴岡西)
吉田 雅俊 (東京新都心)
猿渡 昌盛 (東京武蔵府中)
湯川 孝則 (横浜西)
片山 勉 (大阪東)

理事会

代表理事 清水 良夫 (横浜)
理事 片山 主水 (名古屋東南)
神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)
田中 政春 (長岡西)
岡部 一輝 (南砺)
庄司 尚史 (境港)
松坂 順一 (東京葛飾東)
服部 陽子 (東京広尾)
横山 武志 (東京北)
中里 公造 (川口ローニング)
堀口 昇治 (東京西)
野中 茂 (川崎)
津村 政男 (東京臨海東)
渡辺 誠二 (東京みなと)

監事 船越 豊 (千葉中央)
小川 湧三 (川崎鶴沼)
相談役 板橋 敏雄 (足利東)

職員

所長 渡辺 誠二 (東京みなと)
編集長 野崎 恭子
編集 稲川 やよい
黒野 稔二
山名 愛
飯田亜由香
経理 富澤 美子
半田 弥生
福元菜穂子

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所
〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp
経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp
ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp
定価 200 円+消費税 (送料別)

第109回 国際ロータリー年次大会 2018



The 109th Rotary International Convention 2018

開催地：カナダ オンタリオ州 トロント
大会会場：メトロ・トロント・コンベンションセンター



開催期間
2018年6月23日(土)～27日(水)

ホテル：シェラトンセンタートロント(6月23、24、25日の3泊分、各100室を予約済)

大会会場、ホテルからメトロコンベンションセンターまで徒歩15分、車で5～6分無料シャトルバス有

国土面積が日本の約27倍(998.5万km²)、全人口約3600万人のカナダで、人口約280万人のトロントは、カナダ最大の都市。政治、経済、金融の中心地として栄え、多民族の人々が、それぞれの人権を認め合い平和で安定した生活を営む文化的都市です。この街の中心地、市庁舎の前に建つシェラトンセンタートロントは、市のランドマーク的存在で、RI世界大会の会場に近く、市内の名所巡り、各種レストラン、ショッピング、観劇など申し分ない立地で、ゆったりとして快適に過ごすことができます。当社はこのホテルを6月23、24、25日の3泊分100室を既に予約確保済みです。航空機、ホテル、食事、旅程、ツアーガイド等あらゆる角度から検討し、いずれのツアーもロータリアンの皆様にとり満足頂けるよう当社の総力を結集して作り上げたツアーばかりです。お一人様でも多くのご参加を心よりお待ちしております。

※航空運賃が未定のため、旅行代金は12月号と新年号で発表させていただきます

A 2018年 国際ロータリー年次大会参加 **5日間**
旅行期間：6月23日(土)～27日(水) ビジネス10席 エコノミー20席

東京-トロント③-東京

カナダ最大の都市トロントは政治、経済、金融の中心地。多民族の人々が、それぞれの人権を認め合い平和で安定した生活を営む文化的都市です。
*6月25日にナイアガラの滝日帰りツアーを催行。

B RI本部視察とトロント **6日間**
旅行期間：6月22日(金)～27日(水) ビジネス15席(予定) エコノミー20席(予定)

東京-シカゴ①-トロント③-東京

世界のロータリアンの総本山を訪れ、RI会長室、エレクト室、財務委員会室、同時通訳室等を見学し、その輝かしい歴史を学びます。トロント滞在は「A」と同じ。

C バンクーバーとバンフそして(RI国際会議)トロント **8日間**
旅行期間：6月20日(水)～27日(水) ビジネス15席 エコノミー20席

東京-バンクーバー①-バンフ②-トロント③-東京

日本人に人気のバンクーバーとバンフを訪れます。コロンビア大氷原の水河上を雪上車で走るのはこのコースのハイライト。
6月27日のRI閉会式までトロント滞在中希望の方は当コースがお勧め。

D 大会参加とバンフ、バンクーバー **8日間**
旅行期間：6月23日(土)～30日(土) ビジネス15席 エコノミー20席

東京-トロント③-バンフ②-バンクーバー①-東京

RI国際大会に参加した後、バンフ国立公園、バンクーバーを見学するツアー。「C」とは全く逆コースですが、内容は全て同じ。もう1泊して世界的に有名な「ブッチャード庭園」見学をご希望の方には、当コースがお勧めです。

E 大会参加とシャーロットタウン、モントリオール、ケベック、オタワ **10日間**
旅行期間：6月18日(月)～27日(水) ビジネス15席 エコノミー20席

東京-ハリファクス①-プリンスエドワード島(赤毛のアン)②-モントリオール②-(ケベック)-(オタワ)-トロント③-東京

カナダ東部の主要都市を視察するゴールデンコース。「赤毛のアン」の島プリンスエドワード島で2泊し、モントリオールではケベック(世界遺産)への日帰りツアー、首都オタワの国会議事堂を見学し、トロントに入ります。「D」コースに合流、バンフ、バンクーバー組と同一行動をとる6月18日(月)～30日(土)13日間コースも可能。

F ハリファクスとプリンスエドワード島(赤毛のアン)そしてRI国際会議 **8日間**
旅行期間：6月20日(水)～27日(水) ビジネス10席 エコノミー15席

東京-ハリファクス①-プリンスエドワード島(赤毛のアン)②-トロント③-東京

プリンスエドワード島は、一度は訪れたい島。ハリファクスで休養を取り、そして大会に参加するコンパクトなツアーです。

G キューバ(ハバナ)とRI国際会議 **8日間**
旅行期間：6月20日(水)～27日(水) ビジネス10席 エコノミー15席

東京-ハバナ③-トロント③-東京

エアカナダ機で羽田からトロントへ直行、ここで乗り換え、首都ハバナに到着。治安も良く、革命家カストロ、チェゲバラの足跡、ノーベル賞作家ヘミングウェイの遺産も見どころです。

H 大会参加とボストン、ボーツマス、サラトガスプリングス、ナイアガラ滝訪問 **10日間**
旅行期間：6月18日(月)～27日(水) ビジネス10席(予定) エコノミー15席(予定)

東京-ボストン②-ボーツマス①-サラトガスプリングス①-ナイアガラ①-トロント③-東京

〈アメリカ独立戦争戦跡と日露講和条約締結の日米交流秘話〉
戦跡探訪家、和泉洋一郎氏ご同行
大会参加を機にアメリカ建国史を学び、日露戦争講和条約の締結地ボーツマスや、独立戦争の勝敗を決めたサラトガの戦場跡等を巡ります。世界3大瀑布のナイアガラも必見。

※ビジネスクラスをご希望の方はお早めにお問い合わせください。空席状況で料金が変動いたします。

※ツアーの詳細は別途に用意しております。自社製ですのでご希望の数だけお送りいたします。



日洋航空株式会社

TEL03-5774-5781 FAX03-5774-5783

観光庁長官登録旅行業第334号 社団法人日本旅行業協会正会員 海外緊急事故支援システム会員

お問い合わせ先 >>> フリーダイヤル: TEL0120-347016 フリーファックス: FAX0120-342315

〒107-0062 東京都港区南青山 6-13-2 ブルジョン南青山3階 MAIL:nas@nichiy-air.co.jp URL:www.nichiy-air.co.jp

総合旅行業取扱管理者：金澤 拓平 担当：金澤、浅田、江藤、根田

声

8月号の感想

『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい!」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに関するご意見などを紹介します。

【対象記事】 表紙

【感想】心のオアシスとなりました。

【対象記事】

財団の100周年を祝う(横P24、29)

【感想】自分自身もアトランタ国際大会に参加しており、感動も大きかったです。

和歌山城南RC 井手 良明

【対象記事】

特集・これまでの殻を破る。2720 Japan O.K. ローターリークラブの「SNSを活用して交流」(横P10)

【感想】なかなか新会員を勧誘できず、知恵を絞っているところです。この記事を読み、クラブのあり方、例会もさまざまであると認識。SNS(会員制交流サイト)を用いたクラブ運営を検討していたところで、参考になりました。在宅または出張先からの例会参加も可能になるのではないかと検討しており、8月からフェイスブックページを開設し、交流を始めます。誌面やウェブ上で、SNSを使った取り組みの紹介を検討してもらえると幸いです。

長野南RC 松田 光平

【対象記事】 表紙

【感想】8月号から表紙が絵に変わりましたね。ほんわかって、横組み、縦組み、どちらも癒やされます。

堺東南RC 山本 保

【対象記事】

地元の力を生かす(横P14、19)

【感想】ロータリー地域社会共同隊(RCC)の存在を知り、驚きました。海外でロータリーの認知度が高い証拠でしょう。日本のロータリー活動が発展途上であると感じました。

浜松東RC 榛葉 秀聡

【対象記事】

ワールド・ラウンド・アップ 世界のロータリーニュース(横P22、23)

【感想】毎回楽しみにしています。ニュースだけでなく、国の名前や位置、国旗が掲載されていて、とても分かりやすいです。

大船渡RC 佐藤 幸子

【対象記事】

バズルdeロータリー(横P37)

【感想】最近、妻と競争しても、スピードで勝てません。どうしましょ。

宇和島RC 中村 大輔

【対象記事】

スピーチ・吉崎正弘氏の「地域は本当に元気になれるのか?」(縦P4、8)

【感想】都市部以外はどこでも人口減少に直面しています。今後このような記事を取り上げてください。

【対象記事】

クラブを訪ねて。第2840地区・高崎RC(縦P9、12)

【感想】やはり卓話の充実↓会員満足↓会員増強なのだと感じました。

小田原北RC 市川恵美子

【対象記事】

クラブを訪ねて。第2840地区・高崎RC(縦P9、12)

【感想】クラブ全体に活気があり、躍動感もあり、今後も会員が増えていくように感じます。「例会を面白くすること」を会員増強の秘訣として、会員たちが一致団結して趣向を凝らした例会を計画し盛り上げていくことが、大変勉強になりました。私どものクラブは30人ですが、40人を目指してがんばっています。今回の心意気ある記事を大いに参考にさせていただきます。

京都洛南RC 若山 俊一

【対象記事】

友愛の広場。成田空港南RC・鈴木匡哉会員の「グローバルズとロータリー」(縦P13)

【感想】私も、最近のRの方針にはいろいろ思うところがあります。鈴木会員の意見には、改めて考えさせられました。

刈谷RC 嶋津 孝久

【対象記事】

卓話の泉。西山雄太氏の「未来を土から考える」(縦P20)

【感想】土の大切さは理解していますが、家の周囲の雑草は、こまめに抜いています。

中頓別RC 田邊 彰宏

【対象記事】

ロータリー俳壇(縦P22、23)

【感想】長野県塩尻市は「俳句の里」として力を入れており、地域の催しもいくつかあります。そんなこともあり、皆さんの俳句に目がいきます。

塩尻北RC 中村 健一

●本文200字以内。本文とは別に、対象記事名(例:9月号「友愛の広場」、○○さんの記事とお名前、クラブ名、連絡先(Eメール、電話番号)を付記しお送りください。



夏のプールで、笑顔があふれた一日

子どもたちの笑顔を 取り戻すために

あすかロータリークラブ

第二六五〇地区・奈良県

七月一六日、会員と家族四二人、当クラブによる青少年ボランティア団体・チームASUKAから三六人が熊本地震の被災地・益城町を訪問し、熊本りんどうRCと協同で復興支援事業「笑顔復活プロジェクト ましきプールフェスタ」を開催しました。

この事業は、被災地の子どもたちに楽しい一日を過ごしてもらいたいとの願いから、益城町の小学生と教職員約二二〇〇人に町内のレジャープールへの招待券を配布。さらに、益城町復興市場・屋台村で営業する四店舗の協力

を得て、プールサイドでの昼食を楽しめるランチクーポンを、先着一〇〇〇食限定で配りました。

当日は絶好のプール日和となり、一四二人が来場。子どもたちの素晴らしい笑顔を見て、われわれも自然と笑顔になりました。屋台村の皆さんによる昼食一〇〇〇食に加え、大阪府の高槻東RCがたこ焼き七〇〇食を提供してくれることになり、熱中症の人やけが人も出ることなく、全てを盛況のうちに終えることができました。

事業終了後、益城町の守り神として祭られている木山神宮をクラブ全員で参拝し、宮司を務める会員に祝詞を奏上していただき、被災地の日でも早い復興を願いました。

つなげよう未来へ かたらずか劇団を支援

鳥羽ロータリークラブ

第二六三〇地区・三重県

クラブでは七月九日、鳥羽市民劇団「かたらずか劇団」の観劇例会を行いました。かたらずか劇団は二〇年以上前、町を元気にしようとする地元の芝居好きの有志が立ち上げた市民劇団です。当初から「かずき や平」という芸名で団長兼監督として参加するのが当クラブの東谷佳一会員です。

鳥羽の偉人伝を中心に上演し、数年に一度、一日だけ開演する市民劇団です。市民から出演者のほか、大道具、小道具のボランティアスタッフを募り、開演までの数カ月間、汗をかきながら一生懸命に稽古に励みます。公演の費用は市民や団体の寄付などで賄い、入場は無料。われわれのクラブも積極的に後援し、この町を元気にする劇団を応援しています。

今回の公演は、国立鳥羽商船高等専門学校の創立に尽力した元鳥羽藩士・近藤真琴（一八三一〜一八八六）に関する物語「攻玉伝！」。同校の生徒も多く観劇し、彼らの母校を誇りとする熱い思いと、劇団員の地元愛あふれる熱演は、多くの観客に心揺さぶるような感

内外よろず案内

友好クラブを募集しています

当クラブは友好クラブを募集します。一九九〇年五月一日創立、今年七月一日現在の会員数は三二人で、平均年齢は五九歳。例会は毎週火曜二時半から。親睦に重点を置き、和気あいあいとした雰囲気、静岡北RAC大会を恒例行事とし、静岡北RACを提唱するなど、若い世代との交流があります。活動はホームページやフェイスブック

クで随時紹介しています。

静岡北ロータリークラブ

国内であれば、所在地域はどこでも構いませんが、同じような規模のクラブを希望します。ぜひ、友好クラブとして一緒にロータリーを盛り上げていきましょう。連絡先は、当クラブ事務所まで。TEL 〇五四―二五四―五六一―mail: shizuoka-rc@mail.wbs.ne.jp 詳細は左記ホームページまで。http://shizuoka-north-rc.jp/



感動を与えてくれた、かたらずか劇団の公演

親会の開始。インターアクトーたちはバーベキューとソフトドリンクを楽しみながら、多くの米山奨学生たちの話を目を輝かせて聞いたり、ローターアクトーたちは奨学生をアクトの例会に招待する交渉をしたりと、それぞれの目的を果たしていたようです。

米山奨学生と学友、ロータリアン、高校生や青年たちと楽しく交流を深め、世界の平和を願う心を育てることができた、充実した一日となりました。

(横須賀RC 佐久間博一・記)

バリ島の小学校に トイレと手洗い場を設置

大阪船場ロータリークラブ

第二六六〇地区・大阪府

「こんにちは!」。子どもたちの元気な声、キラキラした瞳、明るい笑顔。七月一七日、インドネシア・バリ島にある国立第六小学校を会員一〇人で訪問。私たちは子どもたちに囲まれ、握手やサインを求められ、まるでスターさながらの歓迎を受けました。というのも、同校への海外からの訪問者が初めてで、ほとんどの子は外国人に会うのが初めてのことでした。

国際奉仕活動および青少年奉仕活動の一環で、バリタマンRCと協同で小学校にトイレと手洗い場を設置しまし



手洗いをするバリの子どもたち

た。支援自体は四年前から行っており、当初二年は就学困難な児童を対象にした事業でしたが、昨年からトイレと手洗い場の設置を進めています。

国立第六小学校は児童数六五〇人で、校長先生によると、二年ほど前からトイレが詰まり、とても不便だったとのこと。今回の支援を大変喜んでいました。バリ島の小学校は衛生面で恵まれているとは言えず、手洗いの習慣がなく、疾病の原因にもなっています。手洗い場を設置し、手洗いの習慣を啓発することで、多くの子どもたちが病気になるのを防ぐことができます。その手助けになれば大変うれしく思います。

バリ島では万亀子・イスカンダール氏をはじめ、バリタマンRCの会員に大変お世話になりました。彼らの協力があったからこそ、現地の実態を知り、意

義ある活動ができたのだと実感しています。また、子どもたちの喜んだ顔を見ることができ、熱烈な歓迎を受け、なかなか得られないような感動を覚えました。今後もクラブではこのような国際奉仕活動、青少年奉仕活動が続けていきたいと考えています。

(岩崎寿英・記)

「郡山の民話」 こども語り部公演

郡山東ロータリークラブ

第二五三〇地区・福島県

社会貢献活動として今年二月、郡山市に伝わる民話を子どもたちに残そうと、CD「郡山の民話」を制作し、市内の幼稚園や小学校などに配布しました。その活動の一環として、市内で民話を学んでいる「ふるさと心つたえ隊」の小中学生が八月一〇日、デイ・サービスセンター（通所介護施設）の利用者を対象に「郡山の民話」こども語り部公演」を開きました。

この日舞台に立った小学二年生から中学二年生までの一〇人は、民話語り部の品竹悦子さんの指導を受けながら、郡山の民話を語り継いでいます。制作したCDには、品竹さんの語りで一四話、童謡を二曲収録しています。

今回の公演では、子ども語り部と品



手遊びで交流する、こども語り部たち

竹さん、それに舞台設営などの裏方として会員一〇人が携わり、同市の富久山デイ・サービスセンターと中央デイ・サービスセンターを訪ねました。

子ども語り部たちは、同市田和町に伝わる「蛇骨地蔵」や、静町の「静御前（針生の午前さま）」、菜根屋敷という地名の由来を伝える「菜根屋敷の地名のいわれ」などを披露。さらに、童謡を歌いながらの手遊びを利用者と一緒にを行い、交流を深めました。

両施設合わせて約四〇人が耳を傾けました。地元の方言を交えた語りにもじっと聞き入り、けなげさの中にももいきました。終了後には、子どもたちの手を取りながら「また、来てちょうだい」といった声を掛ける姿が見られました。

を過ごしました。

植林をした場所は八幡岳の放牧場で、今は使われていない採草地、高瀬川水系の源流地点から少し下がった地点です。高瀬川は八幡岳を水源に、太平洋に注ぐ河川です。この源流地点が豊かなブナ林などであることが重要です。山の保水力を高め、流域の災害を緩和し、地下水を浄化します。また、この水系は流域の田畑を潤し、住民の暮らしを支え、小川原湖や太平洋沿岸の魚介類を育んでいます。

この植樹祭は過去に伐採された放牧地を元の原生林に返そうという趣旨で毎年行われており、今年で七回目を迎えました。一〇〇年先を見据えた事業であり、当日は合計二〇〇〇本の苗木が植えられました。

(米内山正義・記)



ブナやミズナラの植樹に汗を流す会員たち

日本三奇橋・猿橋 歓迎看板の塗り替え

大月ロータリークラブ

第二六二〇地区・山梨県

山梨県大月市は、東京・新宿から特急で一時間余り。富士山が世界文化遺産に登録されてからは、その玄関口として国内外を問わず観光客が足を止めていくようになった。中でも市内にある「猿橋」は、現存する橋としては山口県の「錦帯橋」、徳島県の「祖谷のかずら橋」とともに日本三奇橋の一つとされ、国の名勝に指定されている。この橋のたもとを流れる桂川と周囲の美しい渓谷を眺めようと、昨年四月から遊覧ボートの運航も開始された。ボートから橋を仰ぎ見る光景は、さ



看板のお披露目式でテープカット

ながら江戸時代の絵師・歌川広重の描いた浮世絵そのもの。気がかりなことは、この橋の玄関口にあるアーチ型の歓迎看板が長らく手入れされておらず、さびや色あせなどが進んでしまったこと。そこで、地域の貴重な観光資源の発展を促し、観光客を気持ちよく迎えたいという地域の要望と当クラブの気持ちが高まって、地区補助金を活用し修復することにした。

七月に入り、看板の塗り替え、修復作業に併せ、地域住民とともに桂川の清掃作業で思い切り汗を流した。

一六日に完成のお披露目式を開き、横山文彦会長がクラブを代表してあいさつとテープカットを行ったが、この日は地域伝統の祭り、猿橋の山王祭が開かれており、祭りに花を添えることとなった。

古くから多くの文人墨客が訪れた猿橋の玄関口がよみがえりましたので、ぜひ一度お越しください。

米山奨学生と 海岸清掃で交流

第二七八〇地区

神奈川県

七月一六日、当地区米山学友会が主催する恒例の江ノ島海岸クリーンキャンペーンが、例年の二倍、約二二〇人

を超える参加者で開催されました。

午前一一時半、学友会の宋一大会長の司会で開会し、大谷新一郎ガバナールと地区米山奨学・米山学友委員長を務める私があいさつした後、マハブービ、シエハラザード新副会長の号令で海岸清掃の開始です。背中から胸に「がんばろう日本! 第二七八〇地区ロータリークラブ」と書かれたオレンジ色のベストを着けて海岸に向かいました。

海水浴客から「ありがとうございませう」「ロータリークラブって何ですか」と質問され、ロータリーの広報活動もしながらのごみ拾いとなりました。

集めたごみを前に並べて、米山記念奨学会財団設立五〇周年記念の横断幕「日本と世界を結ぶ人づくり」を広げて記念撮影した後は、脇洋一郎ガバナールエレクトの発声で乾杯となり、懇



海岸清掃を行う参加者たち



真剣な表情で将棋を指す参加者たち

七〇九日開催)の公式イベントとして開催され、全国から五〇〇人余りの将棋ファンが集まりました。

当クラブでは社会奉仕活動の一環として、参加した青少年に将棋を通じて苦難を乗り越える強い心、一人一人に少しでも夢を提供することができればと大会を支援しています。

そもそも大会は、将棋が好きな北澤輝清会員の提唱で始まり、加えて八年前からは佐々木重輝会員が親子将棋教室も開催、クラブの継続事業としました。藤井聡太四段が世間の注目を集めたこともあって、当日はたくさんのお子どりが将棋教室に参加。五〇人の定員制で、入門教室と初級教室に分かれ、日本将棋連盟のプロ棋士四人が講師を務めてくれました。

講師の一人、瀬川晶司五段は「藤井

四段に二六勝目をプレゼントしました」とあいさつし、会場を沸かせました。当クラブからは一五人、当地区の大谷新一郎ガバナーも出席。大谷ガバナーは大人顔負けの指し手に感動した様子で、これからも長く続けるよう励まされました。

父親と手をつなぎ、「もつと勉強して来年は頑張ろうね」と話しかけながら玄關を出る少年がいました。ほほ笑ましい光景が印象に残っています。

また、地元のケーブルテレビや新聞社、タウン誌の取材を受け、ロータリーの活動の一端を知ってもらうこともできたのではないかと思います。

(根岸君代・記)

いみず子ども食堂

新湊中央ロータリークラブ

第二六一〇地区・富山県

クラブでは創立二五周年を記念し、昨年一月から毎月第一と第三の土曜日、正午から午後三時まで、射水市放生津コミュニティセンターで、児童生徒に無料で昼食を提供する「いみず子ども食堂」を開いています。

ロータリアンや一般の方からの寄付や食材の提供を受け、運営しています。開催場所は地域の公民館が快く引き受け、町内全世帯に回覧板を回してくれ



食堂でくつろぐ子どもたち

ました。今では「ボランティアをしたので手伝わせてください」というスタンプも増えてきています。

子どもたちの中には四〇人ほどのリーダーがいて、「おいしい、おいしい」「友達と一緒に食べられて楽しい」と喜んでいきます。子育て中の母親たちからは、「休みの日に昼食付きで面倒を見てくれるので、その間に家事ができて助かる」「家ではあまり食べてくれないものも、たくさん食べてくれる」といった、喜びの声が聞かれます。

見学に来た小学校の校長先生は「以前は公民館に児童の遊び場があり、安心して子育てできたものです。そうした場所を思い出します」と話していました。また、共働き家庭の母親から「宿題もできるような子どもを集会所があれば助かる」との意見もありました。

これに応えるため、今後は、食後も夕方まで遊ばせたり、宿題など、少し勉強をさせてあげられるようスタッフをそろえ、真に地域に感謝される奉仕を実践したいと考えています。

植林ボランティアに参加して

七戸ロータリークラブ

第二八三〇地区・青森県

今年度のイアン・ライズリー国際ロータリー(RI)会長は、会員一人につき少なくとも一本の植樹を提案、当地区の佐々木千佳子ガバナーも推奨していることから、七月二日、社会奉仕活動の一環として「源流の森植樹祭」(中部上北広域事業組合、NPO法人・森の里しちのへ主催)にボランティアとして参加しました。

マイクロバスに会員十数人が同乗し、八甲田山系の八幡岳(七戸町、標高一〇二〇m)に九時過ぎに到着。快晴で最高気温三〇度の予報でしたが、山の気候は爽やかでした。会員でフナとミズナラを一五〇本植樹し、いい汗をかきました。植樹後は会場で笛のミニコンサートを聴きながら、小川原湖のしじみ汁とおにぎりを頬張りしました。おながが空いていたのでとてもおいしく、皆が笑顔で、楽しいひととき

ROTARY 文章編 AT WORK

ロータリークラブと地区の活動を紹介、600字以内、字数を超える場合など、編集させていただきます。関連写真があれば添付してください。

中学三年生に 地元紙を一年間寄贈

白河ロータリークラブ
第二五三〇地区・福島県

クラブは創立六〇周年を記念し、次代を担う人材を育成しようと、地元の中・高三年生全クラスに地元紙『福島民報』を一年間提供する事業を展開。学校関係者は「生徒の学力向上にも大きな効果がある」と歓迎している。

提供しているのはクラブ所在地地域の白河市、西郷村、泉崎村の全一二校三四クラス分で、今年四月から来年三月まで、毎朝届けられている。各教室では休み時間などに生徒が新聞を広げる光景が日常になっているという。

四月二日には白河市役所で目録贈呈式を行い、市内の八校から代表生徒、校長らが訪れた。鈴木茂久会長(当時、

以下同)が鈴木和夫市長、生徒の代表に目録を手渡した。鈴木会長は「世の中に情報があふれているが、皆さんには確かな情報のある新聞を活用してほしい」とあいさつ。鈴木市長は「新聞は情報の宝庫で、世界を知り、地域を知ることにつながる」、生徒代表からは「新聞が身近になった。授業や受験勉強に役立てたい。このような機会をつくっていただきありがとうございます」とお礼の言葉があった。

『福島民報』は福島県で最大の発行部数を誇り、県民に最も愛読され、今年には創刊一二五周年を迎える地方紙の雄。二〇二二、一四年度には東日本大震災と福島第一原発事故の報道で日本新聞協会から日本新聞協会賞を受賞している。



楽しそうに新聞を読む生徒たち

外国籍の子どもたちの 夏の宿題を支援して

焼津南ロータリークラブ
第二六二〇地区・静岡県

二〇一四―一五年度以降、今年度も当クラブの社会奉仕委員会の事業の一環として、「多文化共生を考える焼津市民の会いちご」主催の活動「宿題ひろば」を支援しました。「いちご」は日本語の理解が不十分な外国籍の子どもたちの学習を援助する活動をしており、そうした活動をスムーズに運営できるよう、学習教材、ノート、筆記具などの購入資金を贈りました。

七月三〇日には焼津市内で夏休みの宿題教室「宿題ひろば」が開かれたことから、会長、幹事をはじめ会員が参加。午前中はメインの活動として、地元の高中生や大学生がボランティアでフィリピンやブラジルなど外国籍の子の宿題をお手伝い。午後はフリータイムで、絵の好きな子どもは絵に熱中、ギターに合わせてゴスペルソングを歌ったり、紙コップを利用して大きな塔を競い合ったりするなど、レクリエーションを楽しみました。私たちは割り箸でゴム鉄砲を作って遊ぶコーナーと、昼食後、かき氷をサービスするコー

ナーを担当しました。

会場は英語やタガログ語の通訳をはじめ、「いちご」のスタッフ、高校生やロータリアンが協力し合い、とても活気がありました。何より印象的だったのは、とても自由な雰囲気、子どもたちが伸び伸びと活動していたことでした。

(小濱隆夫・記)

親子将棋教室を開催

平塚北ロータリークラブ
第二七八〇地区・神奈川県

日本将棋連盟平塚支部主催の「第一七回湘南ひらつか七タまつり将棋大会」が、七月八日に平塚市教育会館で、「湘南ひらつか七タまつり」(七月



割り箸で作ったゴム鉄砲で楽しむ子どもたち

ROTARY AT WORK



地元球場に植樹

〈弘前南高校・AC・弘前東RC〉
ライズリーパー会長の呼び掛けに
応えて、弘前南高校・ACと弘前
東RCが、はるか夢球場の外野に
ソメイヨシノ3本、アオダモ2本
を植樹した。当日は日差しが強く
暑い日で、共に汗をかきながら作
業を進めた。植樹した木が大きく
成長し、市民の憩いと環境保護に
役立つことを願っている。
(7月29日 第2830地区 青
森県)

ROTARY AT WORK

第33回IA年次大会を
中津で開催

〈中津RC〉

地区第33回インターアクト年次
大会を中津市の東九州龍谷高校
で開催。講演、活動報告のほか、
ローターアクトからはIAC
の活動をさらにRACで生か
せるような活動紹介があった。
初日夕方はインターアクト、
ローターアクト、先生、ロー
タリアン約200人が班に分か
れ、歴史ある街並みでウォーク
ラリーを行いながら清掃した。
(7月29〜30日 第2720地
区 大分県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

ブルーベリー摘みと
テーブルマナー体験

〈甲斐の郷RC〉

クラブ初の地区補助金事業「こ
ども支援プロジェクト」として
NPO法人フードバンク山梨と
協力し、ブルーベリー摘みと
テーブルマナー体験を行った。
天候にも恵まれ、参加した子ど
もたちから「楽しかった」「感
動した」との感想が寄せられた。
企画、打ち合わせ、事前の草取
り、当日の進行まで会員が力を
合わせて行った。
(7月15日 第2620地区
山梨県)



1泊勉強例会と社会奉仕清掃

〈新潟南RC〉

会員がここ5年で75人から103人に
増えた新潟南RCでは、新会員とベテ
ラン会員の絆を深める目的で、1泊勉
強例会と社会奉仕清掃を実施。「目か
らウロコのロータリー」と題した勉強
会は新会員が目を見張る内容。浴衣で
ゆったりとした雰囲気の中、懇談会も
行った。翌日は朝5時半に起床し、鳥
屋野潟周辺の社会奉仕清掃を行った。
(7月14〜15日 第2560地区 新
潟県)



ROTARY AT WORK

ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で
紹介。写真と150字程度の説明文。字数
を超える場合は編集させていただきます。
必ず活動日を入れてください。記念写真(集
合写真)は掲載できません。

ROTARY AT WORK



**生活支援センター利用者
を夏の甲子園に招待**
〈荻屋RC〉

毎年の社会奉仕事業として、荻屋市立みどり地域生活支援センターの関係者を阪神甲子園球場に招待し、一緒に野球の試合を観戦している。今年度で45年目。今回は阪神タイガース対中日ドラゴンズ戦に、同センターの利用者、職員、家族計45人、会員14人が参加。センター利用者も夏の甲子園を楽しんでいる様子だった。

(7月12日 第2680地区 兵庫県)

ROTARY AT WORK



**地区補助金で保育園への
植樹とテント寄贈**
〈佐久RC〉

新設の佐久市立城山保育園で、会員と園児が一緒に、ハナモモとサツキ計56本を植えた。また保育園の教育環境整備に役立ててほしいと、テント2基も寄贈した。地区補助金を活用した事業で、佐久市長も参加した。寄贈式では園児から感謝の心がこもった合唱もあり、両者が交流を深めた。

(7月6、12日 第2600地区 長野県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

**クラブ創立50周年で
自動販売機を設置**〈羽島RC〉

クラブ創立50周年記念事業「おもてなしプロジェクト」の一環として、東海道新幹線・岐阜羽島駅正面の駅前公園に、期間限定で自動販売機を設置。ワンコイン(50円)で全ての飲み物を提供するもので、クラブ創立50周年をアピールしている。また、例年行っている公園の清掃にも、会員が汗を流した。

(7月16日 第2630地区 岐阜県)



ROTARY AT WORK



**ハーモニカフレンズ
25周年記念演奏会**
〈福岡東南RC〉

1992年に発足し、社会奉仕活動の一環で老人福祉施設などで慰問演奏会を続ける「ハーモニカフレンズ」(会員・元会員で構成、メンバー13人)が、25周年の記念演奏会を開催。地区大会や各種周年行事などでの演奏会を含めると116回目の演奏会となり、地域住民など180人がハーモニカを伴奏に童謡、唱歌、歌謡曲など25曲を大きな声で歌い、大変盛り上がった。

(7月23日 第2700地区 福岡県)

ROTARY AT WORK



今年も夏祭り ポリオ撲滅募金活動

〈浦和南RC〉

浦和まつり南浦和会場の「浦和よさこい」は、住む人、来る人、地域に関わる人が幸せになるようにと始められた。第14回を迎え、今年も49の参加連と地元住民などで大にぎわいとなった。クラブは毎年この会場で、地元ポリオ撲滅募金活動を実施。今年は地区のマスコットキャラクターも手伝って大きな成果を挙げた。

(7月23日 第2770地区 埼玉県)

ROTARY AT WORK



ポリオ撲滅チャリティー パーティーを初開催

〈鹿児島東RC〉

入会3年未満の会員を中心に立案・運営を進めた「ポリオ撲滅チャリティーパーティー」を開催。一般の人々にポリオについて理解してもらうことを主目的に行い、初めての試みだったが参加者は93人、女性コスプレグループの歌声に会場は大盛り上がり。16万7198円の寄付を集めた。今後も、年1回の開催を検討している。

(6月9日 第2730地区 鹿児島県)

ROTARY AT WORK



紀の川河川敷清掃に参加

〈和歌山城南RC〉

毎年7月、国土交通省の河川愛護月間の行事として、2000人規模で行われる紀の川河川敷の一斉清掃に、和歌山市内の数クラブとともに参加。今回も早朝8時から約2時間、他団体とも協力し、ごみ、流木などを拾い集めた。クラブでは社会奉仕部門の地域・環境委員会が窓口となり、環境保護活動の一環で、2005年から協力している。

(7月23日 第2640地区 和歌山県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

キャップ収集でポリオ撲滅 に協力

〈宇都宮さつきRC〉

2016-17年度、「ワクチンキャップ運動」に協力。会員が集めたペットボトルのキャップをリサイクル会社が買い取った代金を「NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付した。2回目となる今回、累計141kg(キャップ約6万6300個)、ポリオワクチンに換算すると105.8本分となる。2014年のクラブ創立以来、初の単独事業で、今年度も継続している。

(6月28日 第2550地区 栃木県)



ROTARY AT WORK



**15年目の祇園祭孟宗山
支援活動** 〈京都西RAC〉
祇園祭の山鉾(やまほこ)の一
つ「孟宗山」で、地域の保存会
と一緒に、来場者への粽(ち
まき)やグッズ、ご朱印など
の授与を行った。クラブで15
年続けている社会奉仕活動
で、今年は粽作りや山建てと
いった準備段階から、大変な
にぎわいを見せた宵山(よい
やま)、山鉾巡行にわたり、京
都の伝統の一端を担った。
(7月13〜17日 第2650
地区 京都府)

ROTARY AT WORK



**少年野球団と交通安全を
呼びかけ** 〈斜里RC〉
知床斜里野球少年団の全選手24
人に新ユニホームを贈呈。昼食
を共にしながら贈呈式を和やか
に行い、午後は斜里警察署指導
の下、会員と世界遺産・知床に
通じる国道沿いで交通安全啓蒙
(けいもう)活動を実施。例年、
8月19日の「バイクの日」にちな
み、約30年、この時期に継続で
行っている。オートバイ事故が
多く、主にライダーにベナント
などを渡し安全を呼びかけた。
(8月9日 第2500地区
北海道)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

**子どもたちの清掃で
平和への感謝の思いを確認**
〈広島西南RC〉
8月6日の平和記念式典に向け、平和
記念公園の早朝清掃を実施。被爆70周
年の2015年から始め、今回で3回
目。昨年から児童養護施設の子どもた
ちが行っている。蒸し暑い中、汗だく
になりながらごみを拾い、園内の記念
像などを磨いた。子どもは率先して一
生懸命取り組んでいた。清掃を通じて
平和への感謝の思いを再確認した時間
となった。
(7月29日 第2710地区 広島県)



ROTARY AT WORK

**ベトナム日本語学校訪日研
修団と交流会**
〈東京日本橋RC・RAC〉

東京日本橋RCと東京日本橋RAC
合同で、米山学友(世話クラブ・
横浜戸塚東RC)のレ・ティ・フン・
ディエン先生がベトナムで指導し
ている「HINATA日本語学校
訪日研修団」の学生を招き、交流
会と懇親会を開催した。総勢30人
強が参加し、お楽しみ企画などで
大いに盛り上がった。
(7月28日 第2750地区 東
京都)





ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編
AT WORK

日仏青少年国際交流 プロジェクト—N大船渡

大船渡ロータリークラブ
第2520地区 岩手県

7月21～24日、「日仏青少年国際交流プロジェクト—N大船渡」を開催しました。本事業は、フランス在住でソウル五輪女子柔道金メダリスト・佐々木光さんと親睦のある大船渡市出身の柔道家・宮崎康洋氏のお世話によるもの。大船渡RCの柔道有段者5人のうち、4人が宮崎氏の出身高校の柔道部の後輩にあたるご縁から発したものです。

一昨年、光さんが代表を務める国際交流団体「海の道」の招待を受け、大船渡の高中生10人がフランスでの柔道の交流プロジェクトに参加。今回はその旧交を温めるとともに、日本の文化や人情、和食や遊びを通して相互理解を深めてもらうと、フランスの柔道愛好家の高中生9人を含む総勢13人を招きました。

22日には、市の柔道場・時習館で総勢80人の合同稽古を行い、昼食後にはドッジボールで打ち解けました。翌23日、フランスチームは名勝・磐石海岸の勇壮な断崖絶壁に感嘆し、震災以後初めての海開きとなった浪板海岸で何度も海に飛び込み、会員所有のバンガローで流しそうめんに舌鼓。津波伝承館では東日本大震災の被災状況と、災害に対する心構えを学びました。

さらに、クラブが贈呈した浴衣と甚平に着替え、当地の芸能高校生太鼓、権現舞(獅子舞の一種)、全国一の「ちんどん」を鑑賞。最後にフランスチームから日本の童謡が披露され、2日間にわたる交流の幕が閉じられました。一行は大船渡を発つ日、市役所に市長を表敬訪問、中尊寺を経由し次の訪問地・静岡へ、名残を惜しみつつ車中の人となりました。

本事業では地区補助金を活用しました。地区の財団関係者、各クラブの協力に感謝申し上げます。

(鈴木敏彦・記)

丈短か叔父の形見の白地かな

岐阜・高山西 小森 丈一

梅雨明けの豪雨に痛む山の肌

東大阪東 島 顕佑

長らへて兄弟五人敗戦日

熊本・荒尾 西田 頼昭

大寺のどこもかしこも日の盛り

兵庫・芦屋川 廣瀬ゆきを

牛小屋の隅に山羊の子朝涼し

愛知・瀬戸 沢田 充子

大花火しだれて波に触るるまで

神奈川・茅ヶ崎 清水 賢一

夏行くや止り木たりし酒場閉つ

東京西南 荒居 隆二

朝採りの庭の茗荷で冷奴

神奈川・横浜戸塚 中村 裕一

恥多き記憶の束や走馬灯

愛知・名古屋錦 中山 信義

折り目崩れ色の変はりし汗拭ひ

香川・高松 大平 昇

蜻蛉の尾の打つ水の静かなる

徳島・阿波池田 山下 玲子

各々が一品出して暑氣払ひ

千葉・野田 佐野 浩平

亡き妻に桃切り分けて皮に盛る

千葉・市川 照井 親資

茄子は紺一身にして不届なり

福島北 大河内重男

また一つ蟬の生まるる地球かな

埼玉・日高 落合 好雄

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆作品の横にクラブ
名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』俳壇係宛

助手席の妻の手の平汗ばむは
「速度下げて」の無言の合図

群馬・館林 新井 進

朴の葉の葉ずれきびしき風あれば
東の空より雷鳴生れる

茨城・古河東 小山 幸子

山百合の香りゆかしくただよえり
ロータリークラブ新年度なり

茨城・友部 矢吹 和夫

猛暑日のウォーキングに吹き出る汗
背中にくつきりユックのあと

埼玉・所沢西 大原 律子

行きかえり蹲りおる鳩ひと羽
くくくと鳴きて我を見上ぐる

新千葉 菊地 忠

長唄の名取でありし亡き妻は
低めに弾きて涼氣誘へり

千葉・市川 照井 親資

エアコンのかすかなる音聞きながら
歌詠みつづく食卓の椅子

千葉・富里 寒郡 政雄

核なくば世界の平和たもてぬか
被爆の日本にミサイル迫る

神奈川・相模原 佐藤 清一

唯一の被爆国なり核禁止
賛成出来ない日本は寂し

岐阜加納 鶴飼 武彦

畳紙をひらけば亡母の絹の着物
紫紺の地色に紅葉あざやか

石川・金沢百万石 石丸 恭子

無造作に仏と会える奈良は楽し
友と別れてまた良き思い

奈良 井村 昌司

もの言わぬチワワなれども喜怒哀楽
体いっぱい使って示す

岡山・倉敷東 吉岡 洋子

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆作品の横にクラブ
名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』歌壇係宛

パンを焼く音で目覚める終戦日

群馬・伊勢崎 秋山 春海

振り向けばまだ捨てられぬ夏帽子

大阪西 嶋谷瑠美子

復興へ三連水車動き出す

福岡伊ブニング 田中 孝二

鈴鳴らす起きてください氏子です

高知西 山岡 陸宏

どこへ行く始発電車も座れない

埼玉・所沢西 大原 律子

極楽で必死に探す座る場所

大阪東淀ちやまち 小坂 克彦

親父ギャグ笑ってあげるボランテア

新潟 小林 悟

うちの娘にギャルと言ったら無視された

大分・中津 福澤 廣明

天国の日帰りツアーはないものか

神奈川東 吉田 隆男

若いねと言われ素直に取れぬ歳

大阪大淀 長谷川眞哲

またやった同じ文庫がまた二冊

神奈川東 石川 正三

野鳥にも昼寝の時間あるらしい

東京日本橋東 廣瀬 嘉夫

還暦も親から見ると通過点

山梨・甲府北 土橋 幹夫

焦げ付いた飯も甘いと褒められる

埼玉・入間南 大野 快三

風呂場から鼻歌聞こえ安堵する

富山・射水 江守 正

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆作品の横にクラブ
名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』柳壇係宛



長谷川 權 

老幹も憩ふ己の緑蔭に

富山南 升田 義次

樹齡數百年の夏木立である。鬱蒼（うつそう）と茂る緑の葉群の下に巨大な幹が立っている。それを句のように表現すれば、年老いた幹の表情も描かれるというもの。

サンガラスはづせば並の男なり

大阪北 三宅 侃

並、上、特上の等級があるのは鰻（うなぎ）ばかりかと思っていたが、男にもあるらしい。もちろん容貌だけのことはなく、むしろ器量のことである。当然、女にもあるだろう。

宵つ張りの己が仲間よ月見草

大阪心斎橋 米田 文郎

月見草は夜咲く花。家族も近所も寝静まった夜更け、ふとこの花が心に浮かぶ。こんな遅くまで目覚めているのは、この花と私だけ。孤独が見出した花というべきか。

一族の顔の歪みし猛暑かな

大分中央 岩男 好員

お盆を思い浮かべればいい。誰も彼もハンカチで汗を拭い、扇子をせわしく使い、暑い暑いと愚痴をこぼしている。一族の似たような顔がどれも歪んでいる。「歪める」がいいか。

父の手の団扇の風も老いてきし

兵庫・神戸西 植田 晃行

団扇の使い方にも老若の違があるものだろうか。父の団扇の扇ぎ方、その風がずいぶんおとなしくなったというのだろう。見えないところを見ている。



馬場あき子 

モノラルのフルトヴェングラー流れきて
妙なる音に心すなほなる

奈良 寺田眞佐子

フルトヴェングラーはドイツの指揮者。二〇世紀前半の最大の指揮者といわれる。作者もそのファンの一人だろう。読者としては何の曲であったかも大きい魅力である。「妙なる音」のあたりを省略して、「心すなほ」になった必然を納得させてくれるとよかったと惜しまれる。しかし、ステレオでないことを初句から主張しているところに作者の好みもあり、結句と対応するはからいもみえる。

プラハの町歩き疲れてひとり見る
ヴルタヴァ川の夕日ひとすじ

東京 新 欣樹

プラハはチェコの首都だ。古い都市で「百塔の町」とも称（よ）ばれるほど、さまざまな様式の建造物が見られる。町そのものが文化遺産なのだ。それらの歴史的な美術建築を眺め疲れた夕べの景として、ヴルタヴァ川に架かるたくさんの橋の景もなつかしい思い出に残るだろう。代表的なカレル橋の欄干にはたくさんの聖人像が並んでいる。作者はこの橋から川に差す夕日を眺めたのである。スメタナの「わが祖国」では、モルダウとよばれている川である。

燕は通り抜けゆく裏庭に
ひともと槐青葉して立つ

長野・佐久コスモス 中澤 道保



てじま晩秋 

手のひらの中だけで過ぎる一日

香川・高松 大平 昇

天真爛漫（らんまん）、自由奔放で縦横無尽に暴れこけた「孫悟空」のストーリー……。今や大人のお伽話になってしまった孫悟空の活躍範囲もいざ、ばかっと思を開けてみると、お釈迦（しゃか）様の手のひらの中に過ぎなかつた。この句はそれとは全く異なるスマホの世界なのです。文明の利器か、時間の浪費か。ウーンです。

夢実現江戸の景観戻る橋

東京日本橋東 井口 弘子

「お江戸日本橋」復活でしょうか。この案を最近NHKのニュースで放映している場面がありました。あの優雅な落着いた日本橋の佇（たたず）まいが戻ってくる。考えただけでワクワクしてきます。高速道を地下に移すので、実現は、オリンピック後だというお話もありました。

金魚売りおきゅうと売りも今はなく

福岡伊ブニング 菊池 文彬

おきゅうと（エゴノリの別名。エゴノリを煮て薄く平らに固めた、寒天状のところてんのような食品）。昔、福岡県に臨時勤務をした時代によく食べました。今は引き売りのおじさん、来ません。か。どんどん昭和の記憶が消えてゆき残念です。

蹴捨てて雲の行方を見失い

青森・五所川原中央 小野 順蔵

千駄木に漱石鵜外飯住まい

東京池袋 小泉 博明

健康食品は大丈夫？

勝部医院院長 勝部 芳樹

「健康食品」の多くは、薬と一緒に摂取する場合、医師と相談の上で使用すること、などと記載されています。

以前は、「健康食品」は不足する栄養素を補給するために摂取されることが多かったのですが、最近では過剰摂取したものの吸収を抑えるため、あるいは特定栄養素による好影響を目指して摂取されることが多くなっています。

一口に「健康食品」と言っても細かく分類されています。一般に口から摂取するものは食品と医薬品に分かれます。そして食品は一般食品（いわゆる健康食品）が含まれます）と保健機能食品に分かれます。

さらに保健機能食品は特定保健用食品（いわゆるトクホ）、栄養機能食品、機能性表示食品に分かれます。特定保健用食品は効果データの提出と消費者庁の認可が必要なため、最も医薬品に近く信頼性が高いと言えます。栄養機能食品は消費者庁が指定する、ビタミン、ミネラルといった人間に不可欠な栄養素（成分のいずれかが含まれており、定められた基準に従って製造者の自己

認証で表示を行った食品です。機能性表示食品は、「本品は〇〇が含まれているので△△の機能があります」といった科学的根拠に基づいた機能が表示された食品です。国による審査はありませんが、安全性・機能性に関する資料を消費者庁に届け出ることが必要です。企業の責任のもとにその効能が表示できます。基準が緩いため、登録が急増しています。

これら保健機能食品に含まれず、機能性表示が認められていない「いわゆる健康食品」は、一般食品の範疇に入ります。健康食品による健康被害がときに問題となつていますが、「いわゆる健康食品」がその原因となることが多いように思われます。

「いわゆる健康食品」の問題点としては①有害物質の混入、②成分表示は多数あつても微量、または表示と異なる成分の添加、③原材料の純度や成分に規格がない、などが挙げられます。効果がないだけでなく、摂取することで健康被害があるようであれば何のための健康食品かわかりません。もちろん期待にたがわない優れた健康食品も数多くありますが、健康食品を摂取される場合は、本当に信頼に値するものかよくお考えになることをお勧めします。

（第三六八〇地区兵庫県・甲子園RCCにて・同RCC会員）

うえむらちかのカープごはん。

広島西南RCC 佐藤 二郎

昨年、二五年ぶりのリーグ優勝を果たした広島東洋カープ。今年もセ・リーグ連覇を成し遂げ、三三年ぶりの日本一に向け躍進中だが、タレントで生粋のカープ女子として知られる、うえむらちかさんが著した本書は、カープ球団の低迷期の苦労や努力、選手育成などにまつわる話と、実在するグルメを題材に、奥の深いストーリーが展開される。

広島で生活していると、いつの間にか「衣食・住」に加えて「カープを応援する」ことが生活の一部となる。まず朝起きて新聞で昨日の試合を振り返り、今日の天気とスタメンを考える。職場や例会でもカープの話題に花を咲かせ、食事をしながら試合を観て祝杯を挙げ、さらに親睦を深めファンの輪が広がる。他にはない幸せなカープライフを、本書で再認識できる。

（第二七一〇地区 広島県）



うえむらちか 著
ザメディアジョン
2017年7月刊

●人生を変えた一冊、思い入れの深い一冊 最近感動した本を紹介。320字以内。詳細は投稿規定か『友』ウェブサイトにて！

卓

話

の泉

■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

HACCPによる衛生管理

京都府中丹西保健所長 糸井 利幸

今年一、二月にかけて、焼きのりが原因で二〇〇〇人近くの集団食中毒が発生。加工所の従業員が体調不良にもかかわらず、素手で製品を扱ったことが原因でした。生産から流通、販売までの包括的な衛生管理が求められています。

二〇一八年には、食品衛生法等関連法の改正を目指しており、全ての食品関連事業者に対して、製造環境や従業員の衛生管理、食品取り扱い者の教育・訓練などの一般的衛生管理と、HACCPによる衛生管理を内容とする「衛生管理計画」を作成する義

務が課される可能性があります。HACCPとは危害要因分析重要管理点(Hazard Analysis and Critical Control Point)のことで、食品生産工程における従来の抜き取り検査の不備を改善し、かつ効率を高める方法として国際的に導入されている食品衛生管理に関するシステムです。

HACCPによる衛生管理とは、原材料の入荷から製造、出荷までの危害要因を排除、未然に防ぐことです。危害要因には生物学的要因(細菌、ウイルスなど)、化学的要因(農薬、アレルギー物質など)、物理的要因(使用機器など)があり、摂取することで、健康被害を生じる可能性のあるものです。

今回の広範囲な食中毒発生事例では、生産・販売会社の衛生管理には問題ありませんでしたが、工程の一部だけ下請け会社に依頼しており、この会社への監督管理が不十分でした。下請け会社にはHACCPの考え方を指導することが重要な点であり、このポイントを事前に認識してしっかり管理することが必要ということでした。

消費者の健康を守るには、原材料の仕入れから加工、流通、販売まで全ての事業所を連携させる連続HACCPの構築と、従業員の衛生に対する意識向上が大切です。

(第二五〇地区・京都府・福知山西南RCにて)

私の一冊

図解
世界史で学べ！ 地政学

千葉中央RC 増田 裕

日本近隣国の反日感情、慰安婦問題の正体、歴史的経緯をこの本により一層深く理解できたので紹介したい。この種の問題を取り扱った本はたくさん出回ってはいるが、地政学の立場から、時代や常識的なイデオロギーを超えて論理を進めたものは珍しいと思う。

第一編では地政学の誕生の歴史、およびランドパワー(ドイツ、ロシア、中国)とシーパワー(スペイン、オランダ、イギリス、アメリカ)の存在を分かりやすく説明している。第四編では半島国家である韓国の地政学上の不利、弱点を挙げ、強国に翻弄されているこの国の悲哀、生きざまを論じている。

隣国同士の持つ地理的条件を最も現実的な指標として位置付け、そこから発生する軋轢を喝破している理論は、私にとって目からうろこであった。

(第二七九〇地区 千葉県)



茂木誠 編著
祥伝社
2017年1月刊



花嫁の恩師として、日本人5人がうれしい時間を共有

です。日本からは担当教授二人と、当クラブの二〇一五―一六年度地区米山記念奨学委員長の本多善彦君、二〇一六―一七年度クラブ米山記念奨学委員長の福田宥暁君と私、の計五人で参加。ほとんどが「初めて日本人を見た」とのこと、皆さまから非常に歓迎いただきました。

いよいよ結婚式当日。朝の六時に爆竹の音で目を覚まし、夜の二〇時まで続きました。中国の結婚式は音も演出も料理も派手でした。披露宴では花嫁の恩師ということで日本人五人、ステージに上げてもらい、盛大な拍手を受けました。お礼に何か印象に残ることをと、最後に日本人と日本に留学経験がある人で集まり、全力で三本締めを！二本目からは現地の人も手拍子と合いの手が入って、大いに盛り上がりました。

珊珊は今後、大学の教員として後進の育成に励み、優秀な人材には日本で米山奨学生を目指しました。

安部さんは一九一六（大正五）年七月生まれの二〇一歳、甲府北RCの会員歴五〇年、クラブ創立会員で初代幹事、第二代会長をされ、一九八五―八六年度の地区ガバナーを務められました。現役の会員というところもすごいところですが、日本における御存命パストガバナーの最長老が安部さん、というところもすごいところではないでしょうか。

富士吉田RCに六二年入会後、甲府RCに六六年、甲府北RCの創立に合わせ六八年に移籍され、五〇年以上の会員歴ですが、私たちの

七月一九日、水曜日の例会が安部豊任会員の二〇一歳の誕生日と重なり、多くの会員が出席し安部さんの誕生日をお祝いしました。「伝説として永く語り継がれるであろう人物」という意味での、甲府北RCのレジェンドは、申すまでもなく安部豊任会員その人で、パストガバナーでもあります。

安部さんは一九一六（大正五）年七月生まれの二〇一歳、甲府北RCの会員歴五〇年、クラブ創立会員で初代幹事、第二代会長をされ、一九八五―八六年度の地区ガバナーを務められました。現役の会員というところもすごいところですが、日本における御存命パストガバナーの最長老が安部さん、というところもすごいところではないでしょうか。

安部豊任会員二〇一歳 誕生お祝い記念例会

甲府北 小林聰一郎

すように教えていきたいとのこと。日本と母国の懸け橋になってくれる人材が、目の前で生まれる瞬間が見られる米山奨学制度は、日本のロータリアンが誇れる事業だと実感しました。

最後、珊珊に「第二七四〇地区に学生を送れたら、ぜひカウンセラーを」と言われ、初めて、珊珊とハグしました。いつまでもお幸せに。

（第二七四〇地区 長崎県 ソフトウェア業）



安部会員はクラブの誇り、会員の幸せです

手の届かないところは、そういう数字で表せることだけではなく、生き方、生きる姿勢だと思います。どのようにこれまで生きてこられたのか、その上に今という時間がありますので、これまでの生き方にロータリーが担った部分と、幾つかの会社再建に尽力され成功された手腕、自動車学校を成功に導いた経営者としての理念・経営哲学など、そんないろいろなことが、安部さんを高みに押し上げたのでしょう。

記憶力も素晴らしく、数字や固有名詞もしっかり記憶されていて、現在もポール・ハリスの『抜粋 ロータリーへの私の道』を愛読し、ロータリーを考え、学び、それを言葉として表現なさっています。二〇一歳の正会員がいることはクラブの誇りですが、まさにクラブのレジェンドとして安部さんと接し、お話を聞くことができることも、会員としての幸せだと思っています。

（第二六二〇地区 山梨県 デザイン・編集）

あふれた素晴らしい街です。例会場を去る時、優しく手を振ってくれたフィレンツェ・ブルネレスキRCの皆さんに感謝し、報告とします。

(第二八四〇地区 群馬県 ホテル業)

合言葉はENJOY ROTARY

高崎シンフォニー 豊泉 君代

この六月、アトランタ国際大会の参加を兼ねて、全国各地の十余人のロータリアン有志がチームを組んで、キューバの老人保健施設に車椅子を寄贈する奉仕活動を企画。私ども夫婦にも誘いの声が掛かりました。

キューバは音楽の盛んな国で、ホテルやレストラン、高速道路のサービスエリアなど、至る所で五〜六人のグループが演奏していました。夫婦そろってキューバ音楽のファンなので、聴きたい曲をリクエストすると、次々に快く演奏してくれました。

六〇年以上も前に造られた年代物のアメリカ製のオープンカーが、観光用タクシードとして今でも走っており、旅の思い出と市街地を一周してみました。クラシックカーのマニアにとっても、魅力たっぷりの国と思われます。

キューバに社会主義政権が樹立する前、非英語圏の国での最初のロータリークラブが、ハバナRCでした。例会場として使われていた高級ホテルのロビーには、五十数年前のロータリーマークがそのまま掲げてありました。一日も早く、キューバにロータリークラブが復活するこ



各国のロータリーの仲間とおしゃべりが弾みました

とを願っています。

続いてアトランタ国際大会に向かい、「友愛の家」へ。一〇畳敷くらいの広さのブースが無数に設けられ、世界各国のクラブが「こんな活動をしている」とパネルや写真を掲示。片端からブースに寄り、おしゃべりを楽しみました。アフリカ、中南米、東欧、アジアの会員と、

歓談する機会にも恵まれました。日本、台湾、インド、ネパール、メキシコ、アルゼンチンの六カ国の会員がごちゃ混ぜになり、バナーや名刺を交換しながら、旧知の間柄のように楽しいおしゃべりがここでも大いに弾みました。交歓の場を何度も経験し、「ロータリーに国境はない」という言葉を肌で感じました。「次の大会でまた会いましょう」と互いに固い握手を交わして会場を後にしました。

ロータリーは世界の二〇〇以上の国と地域に一二〇万人以上の会員を擁する巨大な組織です

が、会員の個人対個人の意思疎通が活動の原点と認識。これからも国際大会に出席し国境を超えた相互理解と友好親善に努めたいと願っています。「ENJOY ROTARY」が私ども夫婦の合言葉です。

(第二八四〇地区 群馬県 病院経営)

花嫁の恩師として参加

雲仙 原田 徹

二〇一七年三月、私がカウンセラーをしていた中国人の米山奨学生キョウサンゼンの姜珊珊君（以下、親しみを込めて珊珊）が何か恥ずかしそうに話しかけてきました。「どうしたの?」「ぜひ、来てください!」と差し出したのは、中国らしい赤に金銀で装飾された結婚式の招待状。「もちろん喜んで!」と即答すると、ちよつとうれしそうに泣き笑っていたのが印象的でした。

珊珊とは二年間、一緒に頑張ってきました。ロータリーの集まりでは笑顔を絶やさない彼女ですが、論文が思うようにならず、泣きながら勉強していた姿も見えました。担当教授のご尽力もあり、博士号を無事に取得できた時は感慨もひとしお。クラブの皆も非常に喜び彼女を褒める様子を見て、カウンセラーとして、達成感をかみしめました。

そして五月一〇日、中国・山東省の寿光市へ。青島から車で内陸に三時間ほどで現地の方々いわく「農業が盛んな田舎」。でも人口は一〇〇万人ですから、かなり大きな規模の都市



周囲の皆さまに支えられた白浪五人男のあで姿。今後の「化粧癖」だけが唯一の気がかり

今から考えると、会員によるこのような非日常的な行為は、認知症予防はもちろんですが、よい刺激になっていたのではないかと思います。当日は近隣のクラブの方々もお呼びし、高評価(?)を頂いた次第です。

また、日頃からロータリーにご協力いただいている会員の奥さま方をはじめ、取引先の貸衣装屋さんに着付けをさせていただいたり(口紅や眉毛がそろわなかったり、ファンデーションやクレンジングクリームの意味などさっぱり分からない……)で、わいわいがやがやです。ご婦

人方のサポートを頂きながらなんとか、大きな失敗もなく終わらせることができました。

当クラブは、これを機に、非日常なことにチャレンジし、会員相互の親睦はもちろんですが、認知症の予防にも役立つものであれば「一石二鳥」でどんどん行おうと思っています。これからのち、「化粧癖」が会員に残らなければと……。

(第二五八〇地区 東京都 各種学校)

違いを感じた フィレンツェの例会

桐生西 野村 滋

六月一九日、午後七時半からのイタリアのフィレンツェ・ブルネレスキRCの例会に、出席してきました。女性会長(当時)のロザンナ・カマーニさん、会員の皆さんに温かく迎えられる、バナーを交換して、お土産のこけしを手渡し、下手な英語でスピーチも行いました。四五分ほどの間でしたが、会話の内容は以下の通り。

① フィレンツェ・ブルネレスキRCの名前の由来は? 地名フィレンツェ以下のところは、ご当地出身の著名な彫刻家フィリッポ・ブルネレスキ(一三七七〜一四四六)に由来。② 会員数は何人? 五七人(うち女性会員二〇人)。③ 創立や特徴は? クラブ創立二五年目で、フィレンツェで初めて女性会員が入会したクラブ。④ 例会はどのように? 毎週月曜日の午後七時半から。ドリンクパーティー(約一時間・出席率一五割ほど)とディナーパーティー(約三時間・出席率五〇割ほど)を毎月二回ずつ。

そして、当方からは桐生西RCの会員数、創立年間、認証番号、例会の内容、桐生は昔、織物で栄えたことなどを伝えました。

メークアップで見たこと、感じたことは、集合時間はイタリア時間? でバラバラ、点鐘はするものの、単なる始まりの合図のよう? また、ドリンクパーティーでは主に親しい人との会話や商売の話をしていました。一方、ディナーはゲストの話の聞いたり、何らかの催しがあるそうで、ロータリーソングは歌わないとのこと。

今回の北イタリアの旅は六月一三日からの九日間、コモ湖からミラノ、トリノ、フィレンツェの順でした。フィレンツェ滞在三泊の中で月曜日の一九日にメークアップと決め、一日目に宿泊したコモ湖のホテル、ヴィラ・デステの支配人に無理に頼み込み、奇跡的に実現しました。古都フィレンツェはラファエロやミケランジェロ、ダ・ビンチの絵画や彫刻、建造物で



優しい笑顔に迎えられ英語でスピーチも

クラブにエイジング・プログラム委員会あり

川崎大師 野澤 隆幸

一九七三年二月創立の私たちのクラブにエイジング・プログラム委員会が創設されたのは、一九八七―八八年度、一五代布川二三夫会長の時。日本の出生率の低下、医療技術の進歩による死亡率の低下に伴って平均寿命も長くなり、高齢化率の割合が高くなりつつある時代でした。当時の先輩会員はこうした時代に即応するよう、会員の高齢化に目を留め、この委員会を創設しました。敬服の念を覚えます。この委員会活動は今も着実に継承されています。

クラブ細則にも、「高齢化社会の在り方を模索」「高齢の会員とその他の会員とのジェネレーションギャップを可能なかぎり解消する」「クラブ内の会員の親睦を図る」「地域内の高齢者への奉仕を併せて行う」と示されています。

前年度後期の当委員会活動としては、六月一七日、例会場のある大本山川崎大師平間寺において開催された写真会に会員一〇人が参加。般若心経一巻を書き上げ、精神力を培うひとときを体験しました。

次いで、寺内新設の日本百観音霊場お砂踏み参拝、江戸時代に各地から往来した文人墨客の碑蹟で最も古い「六字名号碑」（寛永五年・一六二八年）をはじめ、点在する碑蹟を地元歴史ガイド協会の協力を得て見学しました。



この委員会、時代にジャストフィットではないでしょうか

懇親会では、一七世紀・寛文年間に創業された老舗料亭「恵の本」の当代女将・伊藤佳子会員の、話術軽妙な卓話「江戸時代の大師」が往時をしのぶすべになりました。

また席上、新聞投書欄で見かけた、一九歳の愛知県の女子大生の健康寿命への意見を紹介。彼女は授業で「健康寿命と平均寿命の差は約一〇歳ある」と聞いて驚き、「階段とエスカレーターがあつたらどちらを選ぶか」「豊かさとは一体なんなのか」「人間は何を求めて技術革新を続けているのか、と疑問を覚えた」と自問。健康寿命の大切さを知り、そして長く生きていくことの尊さを真剣に考えていることに、皆で共感しました。

この日の出席者一〇人の平均年齢は六八・五歳。ジェネレーションギャップを解消する手立てに、とこの企画を立てましたが、今回この課題を埋めるには至らなかったのではと反省。一

浦川哲男一座公演 白浪五人男

東京東大和 虎井 廣志

当クラブは創立四五周年を迎え、二〇一七年五月二三日に「お祝いの会」を開催。五年後の五〇周年のこともあり、今回はささやかに行うこととしました。

ただ何かをといつても、演奏会や講演を行っただけでは、いつものことであまり代わり映えがしないのではないかと考え、会員による「歌舞伎」がよいのではとなりました。その中でも誰もが聞いたことのある（？）「白浪五人男」を選び、練習することとしました。

これぞ、当時の会長の名を取った「第二五八〇地区・東京東大和ロータリークラブ 浦川哲男一座」であります。

会員の幼稚園の体育館や教室をお借りして二〇回程度お稽古を行い、また、衣装やカツラ、その他小道具はインターネットで購入。それでもセリフの言い回しや動作は、全く分からない状態だったので、会員の一人に歌舞伎の練習と称して月に三回程度、日本伝統芸能振興会のシニア歌舞伎塾に通ってもらい、そこで特訓。それを会員が持ち帰って皆が練習をするという、極めて無謀な（？）ことをしました。

同、互いに一日も長い健康寿命を願うひとときに終わりました。クラブは二〇一八年二月、創立四五周年を迎えます。活性化を目指し、工夫を重ねます。（第二五九〇地区 神奈川県 仏教）

世界のロータリーの考える「職業奉仕」と日本で考える「職業奉仕」との間には、大きなズレが生じています。このズレの解消を願って、本田会員は寄稿されたのだと思います。

私たちは、日本のロータリーをつくり上げた先人たちのロータリー観に影響を受け、今日に至っています。先人ロータリアンの唱えた「職業奉仕」の考えを今まで通り継承していくのか、または、本田会員の言われるように、変化するRIの考えに沿って修正するのか、ということです。

私は、RIの考えは考えとして、あとは「個人で一人一人が『職業奉仕』をどのように考えるか」だと思います。集団で、みんなで考える、ということはできないからです。便宜上、みんなで考えたような形をとりますが、実際には一つの考えに同調しているだけです。考えるということは、個人でしかできないことです。

最近はやりの言葉に「付度」があります。物事にはプラスとマイナスの二つの面があり、人はそれを自分の都合でうまく使い分けします。「付度」を良い意味で使うと相手を慮ることになり、喜ばせることになります。ロータリーで言う「相手の身になって考えよ」に近い考えです。逆に、「付度」も権力や思惑が介在すると度を越し、ついには法をねじ曲げる結果となります。損得が絡んでくると揺れ動くのが人間のところです。故・佐藤千壽氏（第二五八〇地区バストガバナー）は、「決議二三三三四」の冒頭に出てくる「人生の哲学」について、欲望に手綱をつけること、自分の欲望を自己制御すること、『巡礼——ロータリー一〇〇年』の中で

言っています。

判断するときに損か得かを考えるから間違えます。当たり前のことですが、判断基準は常に「正しいか、正しくないか」でなければなりません。しかし、この「当たり前のこと」を、当たり前に行うこと」ほど、難しいことはありません。（第二六七〇地区 香川県 建築設計）

ロータリーにおける 付度

札幌東 青木 功喜

この二〇年間、世界のロータリーの会員数は一割の微増ですが、わが国の会員数は二五割の減少、わが地区では三〇割の減少と、増加の傾向をうかがうことさえできません。

日本特有の「付度」として組織の空気を読み、上の意向を推しはかって行動しては、底辺の声が反映しづらいのではないのでしょうか。RIとロータリー財団の結果を重視するあまり、RIではルールの改正が、建前に過ぎなくなっていると思われまます。

法のルールより「世間」が優先されがちなのが国では、付度により友情、親睦、寛容の美名のもとに組織内の対立を顕在化させず、人間関係を円滑にするメリットが優先し、ロータリアン個人の行動や発言は、吸い上げられることが少ないと考えます。

約一二〇年前にアメリカで始まったロータリーでは、組織の規約は年とともに緩和され、その行動がロータリー財団の寄付金集めのため

の会員増強に固守し、入会資格も緩和化し、国や世代間でのロータリー精神の理解の程度の違いが顕在化し始めています。

私たちが目指す、理想のクラブやロータリアン像の原点に返り、ロータリーの現実とのギャップを埋めるため、クラブの改革から行われるべきです。

ロータリークラブは、ただ仲良く楽しむだけでなく、もっとロータリーを学び、奉仕の原点を中心にした改革が必要でしょう。すなわち、会員レベルでのファイアーサイドミーティング（炉辺会合）とクラブレベルでのフォーラムをもっと活用する時です。さもないと、わが国のロータリー精神の消滅は避けられない、と危惧しております。（第二五二〇地区 北海道 眼科医）



わがまちの味

志摩

手こね寿司

三重県志摩地方に伝わる「手こね寿司」。船上で忙しい漁師が鮒い飯（まかないめし）としていたのが始まりと言われ、主にカツオなど赤身の魚を、時には白身の魚や真珠貝の貝柱などをしょうゆベースのタレに漬け込んだ後、寿司飯の上に乗せます。

濱口真理子（三重県・志摩RC）



新生ロータリーフェローズ、懐かしい顔と新しい出会い

籍を問わず、さまざまなプログラム経験者がいます。

六月二八日付で、国際ロータリー（RI）からは認証状を受けました。今後、学友会会員はフェローズ主催事業への参加に加え、ロータリークラブから案内される奉仕プロジェクトに参加したり、ロータリーアクトクラブの例会に出席するなど、ロータリーと関わっていく予定です。登録学友会へはメールの情報配信を基本とし、地区ホームページ（rid2650-pub.com/dc034）とフェイスブック（facebook.com/RotaryFellows2650）も活用して、始動しました。

一〇月二八日には京都で、国連ニューヨーク本部元人事・研修部長の伊勢桃代氏、李相哲龍谷大学教授を迎え、参加型のフォーラムを開催。今後の企画も目白押しです。

（第二五〇地区 奈良県）

常に問題意識を育む

仙台 大島 達治

「学生上がりは試験が来ないと勉強しない」（自著『技術放談・達ッちゃん語録』）

毎日が試験の実務社会を卒業した私は、勉強免除で頂戴する年金のお返しに、次世代に向けての問題意識を心掛けています。いきおい内容が「時事八つ当たり」になり、これを題名に毎月のノルマにして、ただ今二〇編目「既得権の棚おろし」を書いていきます。

その気になって見回せばネタは至る所にあります。『友』二〇一七年一月号横組み一四〇一七六・本田博己会員の『職業奉仕』はロータリーの根幹か？を巡って、五月号本欄の、呉RCの大之木精二会員の「職業奉仕はロータリーの根幹か？に思う」、宇治RCの内良益雄会員の「職業奉仕はロータリーの根幹です」の投稿が目を引きました。

いずれもなるほど、とうなずける内容ですが、私は「目的でなく綱領」を主張される内良会員寄り。さりとて大之木会員の主張も、興行角力（きやうかく）を修業道相撲に昇華させた双葉山に見るような、「日常の生活に修業道を求める民族性」に基づく先輩ロータリアンの遺産、とうなずけますね。

そもそも、時間と費用を等しく持ち寄つてのロータリー倶楽部（クラブ）なので、綱領を守りながら自由対等に交流するのがわれわれの組織の良いところ。役職の責任には自身の考えで遠慮

なく対処し、その結果が受け入れられ慣例化するのを待つ。そのための任期一年制を組織の知恵と考えましょう。

ところで、私は「職業奉仕の考え方」以前に「奉仕」についての民族性による捉え方の違いに着目しています。一神教由来のロータリーは「奉仕」を日常のこととしていますが、われわれ多神教民族は「奉仕」を日常の営みの上乗せと考えるのではないか。僧籍の会員に「仏教では奉仕をどう扱っているの？」と質問して困らせたことがあります。仏教は本人の成仏が基本で「奉仕」は文字通りサービスなのでしよう。

電気事業で暮らした私は、供給責任を第一義とする公益性を身に付けたおかげで、ロータリーの職業奉仕は「社会に尽くすことが先で、利益は後からついてくる」職業倫理そのものと素直に受け止めているのです。

かくのごとく、会員の皆さまもあらゆる分野に問題意識を育まれるよう、老化防止の一つとしてもお勧めします。

（第二五二〇地区 宮城県 環境調査）

「職業奉仕」考

丸亀 横田 龍男

『友』二〇一七年一月号横組みに、本田博己会員の「職業奉仕」はロータリーの根幹か？の寄稿がありました。「職業奉仕」の受け止め方を再考しないと「日本のロータリーがロータリーの世界で孤立していく」という内容です。

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

全会員寄付達成へ 感謝の気持ち

伊勢崎 関 徹也

私はクラブで昨年度、ロータリー財団・米山記念奨学グループリーダーを務めました。今年六月第一例会で「本年度、ロータリー財団寄付は一人につき一五〇米ドル、ポリオプラスは三〇米ドル、米山記念奨学会寄付は一人一万六〇〇〇円以上で、という目標数字を、九〇人の全会員で達成しました」と報告。感謝、感謝です。

一人当たりの額は、ロータリー財団年次寄付は二二・八四米ドル、ロータリー財団ポリオプラス寄付は四・七三米ドル、米山記念奨学会寄付は二万六九〇三円となりました。

森田高史会長（当時）の熱い思いに加え、ロータリー財団事業、米山記念奨学事業の有用性を卓話などを活用し、委員会全員で啓発した結果、

感謝の結晶です。

伊勢崎ロータリークラブ（RC）は一九五四年、群馬県で三番目に創立され、六三年の歴史を持ちます。この長い歴史の中で、寄付を会費に含んでいない当クラブとして、全会員の寄付額目標を初めて達成しました。

なお、私たちの地区では全四六クラブがロータリー財団地区補助金申請を行っており、グローバル補助金は昨年度、五件の申請が出るなど、活発に行動しています。米山奨学生は毎年平均二〇人前後、受け入れております。地区と連動して、私たちは毎年ロータリー財団地区補助金事業、米山奨学生支援活動を積極的に推進、実行し、全員が「和」を大切に、楽しいクラブライフを堪能しております。

任は離れましたが、今後とも皆さんと共に、ロータリーを楽しんでいきたいと思っています。

（第二八四地区 群馬県 温浴業）



9月、地区補助金事業として次世代と連携して花壇を整備

ロータリーフェローズ 2650始動！

奈良RAC 吉岡 毅

六月一七日、当地区学友会（通称：ロータリーフェローズ2650）の設立総会を、学友とロータリアン、総勢約一〇〇人で開催しました。

総会では会則の説明、役員の決定、今後の活動について協議し、交流会ではプロ歌手の学友二人による歌で和みました。久しぶりにロータリーの会合に顔を出し懐かしむ学友、今回が新しい出会いとなり、名刺を交換し合う光景などが見られ、今後の活動が楽しみにまりました。

元地区ロータリーアクト代表で京都西RC会員の山崎功昭学友会会長は「プログラム経験者とロータリアンとの関わりは、その期間中は密接なものであったと思いますが、修了後、その関わりを継続する機会を持つことが難しい状況でした。しかし、プログラム経験者はロータリアンにとって大切な家族。この絆をこれからも継続して結んでいきたい願いと、プログラムの垣根を超えた幅広い世代との交流によって、新たなご縁をつないでいただきたい思いが重なり合い、生まれたのがロータリーフェローズ2650です」とあいさつ。

二〇一四年、ロータリー学友の定義が変わったことに則し、当地区の学友会もこのたび、新しい顔ぶれを迎えました。会員の中には、高校を卒業したばかりのインターアクトクラブOBから現在、大学の教授や国内外で活躍中の元ロータリー財団国際親善奨学生まで、世代・国



古河東ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF
KOGA-EAST



鷹見泉石記念館(左)と永井路子旧宅



野木神社にて。右が神主の海老沼堯さん

別館としてあった。二〇〇年ほど前の建物で、永井さんの記憶を頼りに当時の間取りや庭なども再現されたそう。物知りの高橋さんは言う。「義母が旧制古河高等女学校で永井先生と同窓です。私も何度かお会いしました」

しかった。鷹見泉石(一七八五―一八五八)は古河藩主・土井利位の家老として働いた蘭学者である。古河城の余材を使って建てられたという武家屋敷で、ここもドラマの撮影に何度か使われたそう。大正ロマンの薫り漂う洋館の古河文学館では永井路子さんゆかりの資料が並べられたコーナーがあった。手書き原稿も展示されている。個人的に何度も手紙のやり取りをした作家だけに、きれいな字との再会に懐かしさがこみあげた。少し離れた篆刻美術館の隣に、移築された永井路子旧宅が

最後に海老沼さんが神主の野木神社に。由緒のある神社だが、今はフクロウのすむ神社として知られている。古河東RCにはボニー・ジャックスのメンバーが作曲したという独自の歌があるが、作詞をしたのが海老沼さんである。

社会奉仕に力注ぐ
檜葉町被災者らと交流会
クラブは社会奉仕にも力を入れていた。九月二日から障害者の皆さんと福島県いわき市にバスで一泊旅行に行く聞いた。宿泊先のスパリゾートハワイアンズは撮影許可の問題などもあって残念ながら同行できなかったが、翌日のいわき市観光物産館「いわき・ら・ら・ミュウ」で行われた、隣接する檜葉町で被災した皆さんとの交流会はじっくり取材した。

檜葉町は東日本大震災で震度六強を観測した。地震に伴う大津波による東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響で町の大部分が半径二〇キロ以内の警戒区域に指定。区域内の立ち入りはできなくなり、住民は町外に避難した。

司会をした「ナラノハ」代表、佐藤努さんたちも千葉県に避難した。二〇一五年九月に避難指示が解除されたが、まだ町民の三分の二は町に戻っていない。佐藤さんらは檜葉町の現状を知っても



檜葉町の方々との交流会。進行は佐藤努さんと福田優子会員(中段右)。このイベントの立役者、白戸里美会員(下段右写真の右)



らいたいと活動が続いているという。古河東RCの白戸里美会員が先頭に立って佐藤さんらと交流。古河市と檜葉町を結ぶ交流も続いていた。会場では「ナラノハのうた」が流され、振り付けを担当したサキティーこと加藤紗希さんが踊りなどを披露した。会場のみならずノリがよく大いに盛り上がった。歌や踊りが苦手な私にとっては会場で振る舞われた檜葉町名物のすいとんが忘れられない。おいしくて二杯もお代わりしてしまった。

山本朋史(やまもと・ともふみ)
元週刊朝日記者
工藤隆太郎(くどう・りゅうたろう)
フリーの写真家



古河東ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF
KOGA-EAST

「ようこそ！」すみれ会が歓迎します。センターの高橋采子さんは、手前中央。(右下) 夫婦で会員の江口達司さん・紀久江さん。(左下) 親子でロータリー。松本幸子会員とローターアクターの絵理香さん。(下) クラブで制作した古河英語カルタ

初はロータリア
われました。当
ように何度も言
ラブに入会する
だった夫からク
「私は会員
副会長の江口
紀久江さんは言
う。」



懇親会で。手前中央が山崎清司さん



から数多くの表彰を受けている。国際大会ツアーは山崎さんが企画して、旅行の手配までパソコンですという。

た。

海外で開かれるロータ

です」

二人をはじめ子どもを衛星クラブに入会させて

いる女性会員が目立つ。女性が先頭に立って活動

する

と男性会員も一生懸命に頑張る。クラブの雰

囲気が和やかになったという。女子力全開！

翌三〇日は山崎さんと高橋さん

が古河周辺の名所を案内してくれ

た。高橋さんの車で渡良瀬遊水池

に。古河東RCと栃木の小山南RC

Cが協力してガイドマップなどを

作った。この辺りは県境が入り組

んでいる。高橋さんの車のナビが

「栃木県に入りました」「群馬県に

入りました」「茨城県に入りました

」と数キロ走る間に二十数回も

知らせしてくれた。しまいに笑っ

てしまうほど繰り返した。

渡良瀬遊水池はラムサール条約

に登録されていて、チョウゲンボ

ウなど珍しい鳥や虫がたくさん生息している。野

鳥を観察するウオッチングタワーに登った。地上

四階建てくらいの高さがある。エレベーターは

ない。上り慣れているのか、着物姿の高橋さんは

スタスタと上がって行く。息を切らせながら後を

追った。見下ろすと葦原が一面に広がりハート形

の谷中湖があった。備え付けの望遠鏡をのぞく。

湿地帯にワシがいる。古河は歴史だけでなく自然

にも恵まれた町だった。

次に古河公方公園。公園内には一八世紀前半に

建てられた古い民家が移築されている。趣のある

建物だ。時代劇ドラマのロケにも使われる。高橋

さんが、

「西郷隆盛が主人公の来年のNHK大河ドラマ

『西郷どん』もここで少しロケをしたんです。ス

タッフが泊まりに来られていました」

庭の清掃をしている人が「ロケでは二つの民家

を使って撮ったようです」と教えてくれた。

古河歴史博物館に隣接する鷹見泉石記念館は美

渡良瀬遊水池(上)と古河公方公園内に移築された民家

2017 VOL.65 NO.11

THE ROTARY-NO-TOMO

66

11

THE ROTARY-NO-TOMO

2017 VOL.65 NO.11

例会風景。右下は、佐谷道浩会長と大高滋幹事

いただいた。当日は、午前六時ころ北朝鮮からミサイルが発射されJアラートが作動したとテレビで放送、一部運転を見合わせた列車もあった。古河でも早朝、けたたましい警報が流れ、その音で飛び起きたという会員が何人もいた。

例会場は古河商工会議所三階の会議室。テーブルが整然と並び、教室のような雰囲気だ。昼食は出前のカレーライスとサラダ。佐谷道浩会長がわざわざ席まで運んでくださったので恐縮した。佐谷会長は法律事務所所長さんである。古河に弁護士が一人しかいなかった時に開業、今は浦和から毎日通っている。

古河東RCのニュースといえば、昨年一二月に全国で七番目となる衛星クラブ（古河東ゆきはなロータリー衛星クラブ）が発足したこと。その議長が海老沼敏亨さんだ。衛星クラブ会員は一〇人。

二〇〇四〇代の若手ばかり。古河東RCは毎週火曜日の昼に例会を行うが、衛星クラブは現役サラリーマンが多いため例会は月に二回、夜七時から行っている。



海老沼敏亨議長



久野茂会員

親クラブから経済的な援助も受け、会費は半額以下。これまでに一六回の例会を開いた。会員が二〇人を超すと新しいロータリークラブに発展させることもできるそうだが、多くが二世会員で、時期を見て古河東RCに移ることを考えている人も多い。古河地区には一〇代から入ることができるローターアクトクラブもあり、助走段階のローターアクトを経て衛星クラブ会員になっている人も多い。

衛星クラブを創るにあたっては苦労もあつたようだ。代表世話人の久野茂会員がさまざまな形でアドバイスをしたという。海老沼議長は野木神社の神主である海老沼亮パスト会長の息子。現在は古河市役所に勤める公務員。卓話でクラブを守り育てる道を探る気持ちを語った。

「今は親クラブ会員の平均年齢が

六〇代になっている。事業継承をうまく行いながらゆつくりと世代交代していきたい。いきなりロータリーに入るより、その受け皿としての衛星クラブで交流を重ねて、先輩方の知恵を借りながら少しずつ勉強していきたい」

センターさんに続け すみれ会の結束力

会場が目立ったのは女性会員の姿だ。華やかに満ちていた。六一人の会員（うち衛星クラブは一〇人）のうち二人（うち衛星クラブは三人）が女性。女性の比率がとにかく高い。昨年九月には女性会員で作る「すみれ会」が誕生。会長の高橋采子さんはホテル割烹・山水のおかみで茨城女将の会の会長でもある。女性会員からはAKB48に倣ったものが、

「センターさん」

と呼ばれる。何をやるにもクラブの中心、たいした貫禄だ。高橋さんは言う。

「知人から誘われて古河東に入ることを決めました。当時は女性会員は私ともう一人だけ。居心地が悪かった。でも、入ったら阿波踊りと同じです。踊らにや損ソン。そのうちにのめり込むようになりました。これだけ女性が増えたのは、ここ数年です」

「すみれは高貴な紫色で小さな花ですが、生命力が強く繁殖力が旺盛。私たちは結束力が強く、誰かの掛け声ひとつですぐに集まるんです」高橋さんが古河東RCの会長の時、東日本大震災が起きた。当時のガバナリーが山崎清司さん。古河に被害がなかったわけではないが、二人はなによりも福島など東北の被災者支援の先頭に立つ

歴史と自然に囲まれた町で ロータリーを家族で楽しむ

文・山本朋史 写真・工藤隆太郎

ロータリーアクトクラブから衛星クラブ
そして、ロータリークラブへ

茨城県の南西に位置し埼玉県と栃木県、群馬
県に隣接している古河市。室町時代には鎌倉に
あった関東管領が下総古河に移り古河公方として



クラブを 訪ねて



THE ROTARY CLUB OF KOGA-EAST
古河東ロータリークラブ
第 2820 地区 (茨城県)

一三〇年余りを統
治、江戸時代は宿
場町としても栄え
た歴史の町であ
る。古河で育った
直木賞作家・永井
路子さんから数年
前にこの地の話を
伺う機会があつ
て、かねてから訪
ねてみたいと思っ
ていた。

新宿駅からJR
湘南新宿ラインで

一時間、上野駅からもJR宇都宮線で一時間で到
着する。いまや通勤圏だ。古河駅近くにはタワー
マンションも建っている。

古河東ロータリークラブ(RC)の幹事の太高
滋さんから八月二九日の例会で衛星クラブ議長が
卓話をするので聞かれたらどうですか、と連絡を

例会場の前で。いつも元気で明るい古河東RCの仲間たち



を基盤とする多面的研究体制の構築と発達期脳障害の病態解明の推進」という報告書（平成二一（二五年度）をまとめることができました。億単位の研究費ですが、これをいただき五年間にわたり進めていった結果を、報告書にまとめたのです。

大学そのものが 地域とともに発展を

二〇〇七年、宮崎大学医学部長を務めた時には、地域医療学講座、あるいは東九州メディカルバレー構想など、研究体制をつくることに注力しました。一〇年、医学部附属病院長になってからは、大学の救命救急センターを開所しました。同時に、ドクターヘリやドクターカーといったものも宮崎大学で動かせるようにしました。

大学がドクターヘリを持ち、ドクターカーを運営することはなかなか問題が多く、やめた方がいい、という意見もあったのですが、周産期の医療体制として、私には経験があったものですから、何とか頑張ればきつといいけると思い、かなり強引に実働させました。

結果として、このドクターヘリはほとんど毎日飛んでいます。年間五〇〇回ぐらいの要請があります。宮崎県の救急医療体制は、これもあって、良くなっていると思います。鹿児島県の場合は、市立病院にドクターヘリとドクターカーがあります。いずれにしろ、南九州の両県は周産期医療も救急医療も、全国に比べたらそれなりの体制ができていて、良い成績が上げられています。

二〇一五年から、宮崎大学学長に就任しました。宮崎大学のスローガンは「世界を視野に地域から

始めよう」です。これは地域資源創成学部の新設や留学生の受け入れの他、口蹄疫や、鳥インフルエンザへの対応など、地域との関係を非常に濃く出しながら進めています。

先に、国立大学法人を評価する委員会で行われるヒアリングで発言したり、個人的には奮闘しているつもりです。今後、大学そのものが地域とともに発展していけるようになれば、と思っているところです。

実は、大学長になった時は、国からの予算がどんどん厳しくなるといふ状況が差し迫ってきていた頃でもありました。学生に対する支援とか、地域に対する貢献のために、宮崎大学の基金をつくりたい、と考え、大学内の制度を少し整理しました。国からお金をもらうことを待っているばかりでは、教育も研究も進まないことが目に見えてきましたので、制度改革を積極的に始めています。

さて、私には財団奨学生の経験から学んだ、心に思う言葉が二つあります。

一つは、俳人の山口誓子（一九〇一―一九四）の「学問のさびしさに堪へ炭をつぐ」です。医学博士号の学位授与式の際、代表の人がおっしゃったのがこの句でした。

この句の示すことは、深々と更ける夜中に、書物をひもといていて、ふと気がつく炭が少なくなり、寒さが増してきたので、炭を持ってきてついで。こういう生活ができる、こんな幸せなことはない。そのためにはいろいろな周りの方たちのサポートがあり、支えがあり、そのおかげだということを考えなさい、という句なのだそうです。

この句に触れた時、私はまさに財団奨学生とし

て、ロータリーから生涯、多岐にわたり影響を受けていることに気づきました。財団奨学生としてアメリカに行かせていただいた、南カリフォルニア大学で勉強し、帰国して鹿児島市立病院、それから鹿児島大学農学部獣医学科、そして宮崎医科大学ですと、留学中に学んだことを続けることができました。研究をしたり、それを糧にいろいろなことができているということは、まさに、奨学生として南カリフォルニア大学で経験したことが基盤だと思っています。

もう一つは「Stay in Academics」です。留学できたからこそ出会えた、私の先生、キリガン先生のお師匠さんのヘンドリックス先生からいただいた言葉で、「学問から逃げるな。学問の世界にずっといなさいよ」ということです。

実は、「勉強をいつまでもしようがないかな。それよりも実務かな」と思っていた頃に直接、じかにこの言葉をいただいたので、私には重く響きました。

ロータリアンの皆さまに支えていただいて、留学から帰ってきて、自分の職業を通して、地域に奉仕をする人生を歩んでいます。

私の場合、産婦人科医師として、元気なお産が行われ、立派な赤ちゃんが生まれるように地域に貢献していくことで、職業奉仕を進めていきたいと思っています。

私の考えを受け入れてくれる若い人たちもたくさんいますので、その人たちが、私が学んできたこの周産期医療を通して、元気に頑張ってくれているのを大変うれしく思っています。

（ホスト 指宿RC）

ようにしました。昔から、医者教育というのはマンツーマンが一般的でした。そうすると、人間ですから、上司と部下によって差がでてしまいます。ローテーションする人たちもグループにしました。

このように試行錯誤しながら、産科新生児医療、特に生まれてくる赤ちゃんの状態が大夫か判断でき、異常があつたら、その赤ちゃんを安定化させることのできる技術を持った医者を宮崎で育てていきました。

一九九八年、周産期医療のできる医師を県下の病院に配置することができました。

さらに県内、全てのセンター、病院の担当者たちを年に二回集め、残念なケース、新生児が亡くなつてしまった、生まれてはきたけれど脳障害が残ってしまった、そういう事例を一例ずつ、カルテを見ながらディスカッションすることを始めました。周産期症例検討会です。小児科、眼科、異なる分野の専門医も加えて検討しました。

医者だけで検討していてもだめですから、助産師、看護師などにも年に一回、集まってもらい「これだけは絶対見逃さないでください」「これだけはちゃんと検査してください」ということを、毎年繰り返し伝えました。その時の医療の先端のことではなく、してはならないこと、絶対しなければならぬ基礎的なことを伝えました。最初は九〇人集まるかな、くらいの規模でした。一五、六年ほど続けていますが、現在では二九〇人ほどの集まりになっています。

必ず赤ちゃんを助けなければならない、お腹の中で死んでしまう赤ちゃんを少なくするんだ、ということを繰り返し言うことで、助産師、看護師

の中に、もしうちの病院でそんなことが起きたら池ノ上教授がうるさいぞ……という雰囲気をつくつていこうと一生懸命進めました。

そうこうするうちに、宮崎の周産期死亡率、生まれてくる赤ちゃんたちの死亡率がドーンと低くなりました。全国で一番。ちよつと気を緩めるとこの順位は下がるのですが、日本でトップ三ぐらいには毎年入る、というレベルの地域医療体制が構築できました。これもさまざまな分野の人たちがチームで動いているおかげです。

次の課題として、地域で起こった問題点を分析していきました。すると、分娩中のアクシデント、低酸素障害は減ってきているものの、既に受精の段階で問題がある子の症例がなかなか減らないということが分かりました。遺伝子、染色体の問題、あるいは酵素異常があるといったような、今の医学ではまだ、どうしてもそこには追いつけないという赤ちゃんの事例が減らないということが分かったのです。

恐らく、今後の遺伝子治療などの進歩、発展によつて、この分野にも手が付けられるようになると思います。現時点では何とかできるような症例は、減らすことはできています。こういう分娩中の問題というのを少なくとも一生懸命対応していけば、きちつと減らすことはできるというデータを出すことができました。

このように、周産期医療をしっかりと整備していけば、救命率が良くなり、赤ちゃんが助かるばかりでなく、その質も良くなって脳障害が残つてしまふお子さんが減っていくということを、初めて、宮崎県で示すことができました。

もう一つは、分娩の時の感染症絡み、われわれの場合だと、子宮内感染などです。お産が感染の事故と一緒になつていた時、やはり脳障害が起きることが多かつたのです。そこに対しても、積極的に医学的介入をしていくことに取り組みました。

また、「宮崎県独自の周産期医療ネットワーク



池ノ上 克

■ 国立大学法人 宮崎大学長

一九四六年 鹿児島県生まれ。七〇年 鹿児島大学医学部卒業後、(社保)三島病院外科、国立長崎中央病院小児科、鹿児島市立病院産婦人科。七三―七四年度 ロータリー財団奨学生として、南カリフォルニア大学医学部産婦人科周産期医学部門に留学。八〇年 カリフォルニア大学アーバイン校産婦人科に留学。九〇年 鹿児島市立病院産婦人科部長、同周産期医療センター所長。九一年 宮崎医科大学医学部産婦人科教授。九六年 宮崎医科大学医学部附属病院周産母子センター部長併任。二〇〇〇年 宮崎医科大学医学部附属病院副院長。〇三年 宮崎大学医学部附属病院副院長。〇七年 国立大学法人宮崎大学医学部長。一〇年 国立大学法人宮崎大学理事(病院担当)・医学部附属病院長。一四年 宮崎市郡医師会病院特別参与。一五年 国立大学法人宮崎大学長。現在に至る。

器を駆使するなどして、しっかり妊婦と胎児を管理していたのです。

一方、そういったことを支えるための基礎実験、動物実験も盛んに行われていました。赤毛ザルの赤ちゃんを使って、胎児生理学の研究をしていた先生もいて、学問的にはこの先生から、私はとても影響を受けています。

当時、スリランカから来て勉強していたファイザル・ウアファン医師は後にカリフォルニア大学アーバイン校の小児科の主任教授になるのですが、ちょうど私もその頃は宮崎医科大学産婦人科の教授になっていましたので、二人で話し合い、カリフォルニア大学医学部と宮崎医科大学との間で交流協定を結ぼうと企みました。結局、それがうまく具合に進み、今、宮崎大学医学部とカリフォルニア大学アーバイン校医学部との間では、交流協定ができています。

五つ子ちゃんと出会う

留学を終え、私は外西先生の待つ鹿児島市立病院に戻りました。

帰国して一カ月半ぐらいたった時、お腹^{なか}の大きい妊婦さんが来られました。当時、はやり始めた超音波検査を試みると、胎児の頭がなんと四個。一週間後、もう一個増えていて……一度に五人の赤ちゃんが生まれてくる、ということが分かり、皆で打ち合わせをしたり、ディスカッションして準備しました。

そうです、あの「山下さんちの五つ子ちゃん」だったのです。その時、鹿児島市立病院の産婦人

科として、私が五つ子の母親・山下紀子さんと五番目の智子ちゃんの担当医になりました。

この子たちは今、皆立派な社会人で女の子たちはもうお母さんです。産婦人科医というものは、自分の担当した赤ちゃんがこのように元気に育つて、その次の世代にまでバトンタッチをしてくれれば「まあちゃんとできたかな」と思うわけです。そして、この子たちのお父さん、お母さんもそういうふうにしてもらえたいと思います。

私は日々の病院の仕事をしながら、若い人たちにこのフィールドに引きつけていくためにはどうすればよいか、と考えました。そこで、動物を使った実験を行いました。これは、アメリカにいた時に教わった技術です。

例えば、ヤギを使ってお腹の中の胎児に、心電図電極、血管カテーテルなどを付け、さまざまな生体情報を記録しました。主として鹿児島大学農学部獣医学科の学生と進めていったのですが、同学科の先生が妊娠中のヤギを熊本から入手し、私たちが実験に使えるようなルートを構築してくださいました。こういうことは、獣医の先生でないとなかなかできないことなので、そういうサポートを受けて、家畜病院を使わせてもらい実験を行いました。

そういうするうちに、日本産婦人科学会のシンポジウムで発表する機会が回ってきました。ここで発表するということは、その分野の研究者として、一応学会で認められるというような、いわば登竜門でしょうか。

でも、私は、発表なんてとんでもない、と思っていました。すると、例の外西先生が「これはおまえのためにあるようなテーマではないか」と。

その時のテーマが「胎児の発育と成熟」だったのです。「これ出せ、出せ」と言われまして。もう慌ててデータを出した結果、うまい具合に発表者に選ばれたのです。

内容は、ヒトの赤ちゃんは、最初は心臓、血管系、それから呼吸器系、そして脳……と各パーツが一遍に成熟、発達するのではなく、少しずつ各パーツごとに時間差があって生育していく、ということでした。

その後、縁あって一九九一年に、宮崎医科大学に赴任しました。大学の産婦人科病棟から見える会社の女子陸上部が当時、実業団駅伝で優勝しました。「同じこの町で、毎日一生懸命走っている人が日本一になるなら、反対側のこっちの病棟の中で、毎日一生懸命診療をしているわれわれも日本一になれるはず。よし、目指せ、日本一」というのを医局の若い人たちに言いました。

そうしたら、「宮崎が一番になることはないでしょう」というようなことを、皆言うわけです。「やろう。やるぞ」と言い続けましたら、何となく皆、付いてきてくれました。

しかし、生まれてきた赤ちゃんに異常があったら、小児科の先生とか小児外科の先生などと言っても、すぐに来てくれるとは限りません。では、自分たちで整えようということになり、学内で産科・婦人科・新生児をローテーションしながらトレーニングしました。

また、自分たちの足りないところは、先行している病院や、しっかりした指導者のいる病院に若い人たちを送り、外部でどんどん研修をさせて育てました。

方式は、マンツーマンではなくグループで行う



産婦人科で回診。常に現場で、若い人へ学んだことを伝えていく 写真提供：池ノ上 克

のです」と言ったら、そのテーマが面白いということ、財団奨学生に選んでいただきました。カリフォルニアで、私の身元を引き受けていただいたのは、ハンチントンパークRCでした。そのクラブの会員のフレッド和田さんが、私の身元引受人になって面倒を見てくださいました。和田さんはフレッドファーマーズマーケットという大きな農場を経営し、農産物を販売する仕事をしており、すぐいお金持ちだというのは私にはよく分かっていませんでした。

後に、和田さんに関する本を目にしますと、祖国を熱く思っていた男で、一九六四年の東京オリンピック決定に至る南米票を、全部自分で集めたという逸話がありました。この方のお宅に行くと、世界規模の話がいっぱい出てくるのです。和田さんというロータリアンを通して、いろいろな国の話や世界観のようなものを、私は訪ねるたびに教わりました。

私が留学したのは南カリフォルニア大学のウイメンズホスピタルです。ここで行われる分娩は当時一万三〇〇〇〜一万四〇〇〇件と言われていました。すなわちその分だけ、研究のためのデータが出てくるということになります。お世話になった先生方は、世界トップクラスの産科学、周産期医学の専門家でした。

デスクをいただき勉強していましたが、「アメリカって胎児をこんなに一生懸命考えているのか」ということをつくづく思い知らされました。この当時、日本では「赤ちゃんは生まれてくるまで分からない」という風潮で、生まれてきて元気だったら、ああよかった、というような感じでした。しかし、アメリカでは生まれる前から医療機

ロータリー財団奨学生、その後

ロータリアンの皆さまに支えていただいた留学から帰ってきて、自分の職業を通して、地域に奉仕をする人生を歩んでいます。私の場合、産婦人科医師として、元気なお産が行われ、立派な赤ちゃんが生まれるように地域に貢献していくことで、職業奉仕を進めていきたいと思っています。

国立大学法人 宮崎大学長 **池ノ上 克**
Tsuyomu Ikenoue

財団奨学生って

その後どうなっているんだ？

私は一九七三―七四年度、鹿児島西ロータリークラブ（RC）から推薦を受けたロータリー財団奨学生です。当時、私は医者になって三年目でした。それから今日までずっと仕事上のこと、あるいは自身のプライベートな生活も、かなりの部分をロータリアンの影響を受けながら過ごしてきました。

私のような元奨学生が恐らく、全国にいろいろな立場で活躍をしていると思いますので、その中の一つの例として、個人の、具体的な一事例として、お聞きいただければと思います。

鹿児島大学医学部を卒業して医者になった私は、鹿児島市立病院で産婦人科の研修を始めました。そこで当時の昭和四五―四六年前ごろの鹿児島で生まれる赤ちゃん、これから生まれてこようとする赤ちゃんたちが、次々に亡くなってしまうことに衝撃を受けました。

それ以前に小児科で研修を受けていた医療セン

ターでは助かっているような赤ちゃんたちが、なぜか鹿児島では、結構亡くなっていたのです。まだ若かった私は、当時の産婦人科部長・外西寿彦先生に「こんなに赤ちゃんが亡くなっているんですか」と聞いてしまいました。

返事は「いや、いかなのだ。けどやる医者がいないんだよ。赤ちゃんを助けるために、おまえやるか」と言われまして「ああ、そうですか。じゃあ、やります」とは言ったものの、どこで勉強していいか分からない。いろいろ調べてみたら、どうやら、生まれてくる前の赤ちゃんを、生まれた後の赤ちゃんをひっくるめて対象とする「周産期医学」というものがあるということが分かりました。これを勉強すれば、鹿児島の赤ちゃんの状況は良くなるんじゃないか、という考えに至りました。

ところが、当時の日本の大学を調べてみても、その分野を積極的に進めている大学が見当たらないのです。それで、外西先生が調べられて、南方リフォルニア大学が世界で一番進んでいるらしい、そこに行つて勉強してこい、ということになりました。

でも、行つてこいと言われても、お金はどうするのですか、となります。相談したら、外西先生は当時、鹿児島西RCの会員で「ここにアプローチしろ。奨学金がもらえるかもしれない」と。

奨学金の面接試験には、一〇人ぐらいのロータリアンがおられました。後に一九八二―八三年度国際ロータリー会長をされた、中津RCの向笠廣次さんや外国人の牧師さんもおられました。

「何でこのロータリー財団奨学金が必要なのですか」という話になって「周産期医学をやりたい

11 月はロータリー財団月間です
11 月 5 日～11 日は世界インターアクト週間です

THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリー財団奨学生、その後

◆国立大学法人 宮崎大学長 池ノ上 克

4
73

シリーズ クラブを訪ねて

歴史と自然に囲まれた町でロータリーを家族で楽しむ

9
68

古河東 RC・第 2820 地区

文・山本朋史 写真・工藤隆太郎

友愛の広場

13
64

全会員寄付達成へ感謝の気持ち

伊勢崎 関 徹也

ロータリーフェローズ 2650 始動!

奈良 RAC 吉岡 毅

常に問題意識を育む

仙台 大島達治

「職業奉仕」考

丸亀 横田龍男

ロータリーにおける付度

札幌 青木功喜

クラブにエイジング・プログラム委員会あり

川崎大師 野澤隆幸

浦川哲男一座公演 白波五人男

東京東大和 虎井廣志

違いを感じたフィレンツェの例会

桐生西 野村 滋

合言葉は ENJOY ROTARY

高崎シンフォニー 豊泉君代

花嫁の恩師として参加

雲仙 原田 徹

安部豊任会員一〇一歳誕生お祝い記念例会

甲府北 小林聡一郎

◆わがまちの味

卓話の泉

20
57

HACCP による衛生管理

糸井 利幸

健康食品は大丈夫?

甲子園 勝部 芳樹

私の一冊

20
57

千葉中央 増田 裕 広島西南 佐藤 二郎

ロータリー 俳優

◆長谷川 權 選

22
55

ロータリー 歌壇

◆馬場あき子 選

22
55

ロータリー 柳壇

◆てじま晩秋 選

22
55

ロータリー・アット・ワーク

24
53

日仏青少年国際交流プロジェクト

IN 大船渡

大船渡ロータリークラブ

〈写真〉斜里/京都西 RAC/広島西南

東京日本橋 RC・RAC/鹿児島東/浦和南

宇都宮さつき/和歌山城南/佐久/芦屋/羽島

福岡東南/中津/弘前南高校 RAC

弘前東 RC/甲斐の郷/新潟南

中学三年生に地元紙を一年間寄贈

白河

外国籍の子どもたちの夏の宿題を支援して

焼津南

親子将棋教室を開催

平塚北

いみず子ども食堂

新湊中央

植林ボランティアに参加して

七戸

日本三奇橋・猿橋歓迎看板の塗り替え

大月

米山奨学生と海岸清掃で交流

第二七八〇地区

バリ島の小学校にトイレと手洗い場を設置

大阪船場

「郡山の民話」こども語り部公演

郡山東

子どもたちの笑顔を取り戻すために

あすか

つなげよう未来へ かたらずか劇団を支援

鳥羽

◆内外よろず案内

声

8 月号の感想

34
43

表紙 横組み 野中正視 (日本イラストレーター協会)

縦組み 高桑幸次

表紙題字 加藤光峰

表紙レイアウト 箕牧 彰

◆本誌中の RC はロータリークラブ、RI は国際ロータリーの略です。

◆横組みの目次は、反対側の表紙を開いた 4〜5 ページにあります。

◆本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp (本誌の内容・ご投稿)

経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp (購読・注文)

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

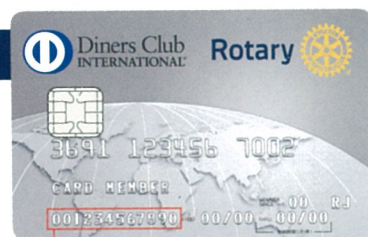


贅沢なひとときが、 社会貢献に。 ロータリー ダイナースクラブカード



ロータリークラブ会員様だけがご加入いただける待望の個人向けカードが登場。

世界初の奉仕クラブ団体「ロータリークラブ」と、世界初のクレジットカード「ダイナースクラブ」が連携して誕生した「超我の奉仕」を叶える一枚。カードご利用金額の0.3%相当をロータリーに還元、ご利用のたびにロータリーの活動を支援できます。もちろん、通常のダイナースクラブカード同様、ご利用限度額に一律の制限はありません。ロータリークラブ会員様の活動も、日常も、価値あるサービスでお応えします。



ロータリー会員IDが刻印されます。
年会費 本会員: 22,000円(税抜)
家族会員: 5,000円(税抜)

世界で活躍する会員様に便利で上質なサービスの一例

■ 空港ラウンジご利用無料

国内/海外600ヵ所以上の空港ラウンジを会員様ご本人は、無料でご利用いただけます。ご出発前のひとときを快適にお過ごしください。



■ 最高1億円の旅行保険

国内/海外を問わず、最高1億円の傷害死亡・後遺傷害保険金をはじめ、充実の補償をご用意。安心してご旅行にお出かけください。



■ 手荷物宅配サービス

海外からのご帰国の際に、スーツケース等のお荷物1個を対象空港からご指定の場所までお届けするので、スマートに移動いただけます。



Information

ロータリー ダイナースクラブ コーポレートカードのご案内

奉仕活動にかかる経費処理を各地区やクラブ口座で一元管理できるとも便利なカードです。詳細はウェブサイトをご覧ください。

お問い合わせ・詳細はこちら

0120-041-962

受付時間: 平日10:00~20:00 土・日・祝10:00~18:00

www.diners.co.jp/ja/rd/rotary

THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友

11

2017
NOVEMBER
VOL.65 NO.11



SPEECH

ロータリー財団奨学生、その後

池ノ上 克

クラブを訪ねて
古河東ロータリークラブ

Rotary

